



Title	天鹽演習林生態調査：第一報 天鹽第二演習林ニ於ケル山火跡地ノ群落生態學的調査
Author(s)	舘脇, 操; 岩間, 龜三郎
Citation	北海道帝國大學農學部 演習林研究報告, 9(1), 29-136
Issue Date	1934-02
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/20637">http://hdl.handle.net/2115/20637</a>
Type	bulletin (article)
File Information	9(1)_P29-136.pdf



[Instructions for use](#)

# 天鹽演習林生態調査

## 第一報

### 天鹽第二演習林ニ於ケル山火 跡地ノ群落生態學的調査

館 協 操  
岩 間 龜 三 郎

Report on the Ecological Survey  
of the Teshio Experimental Forest, Hokkaido,

#### I.

The Plant Succession of the Forest after the Fires  
in the Teshio Second Experimental Forest

By

Misao Tatewaki and Kamesaburo Iwama

#### 目 次

緒 論	30
第一章 間寒別川沿岸ノ林相ト山火歴史	32
第一節 間寒別川沿岸ノ第一次林相	32
第二節 天鹽第二演習林ニ於ケル山火歴史	34
第三節 山火跡地ノ一般植物景觀	39
第二章 標準區劃地調査	46
第一節 標準區劃地調査ニツキテ	46
第二節 標準區劃地	47
1. 第一標準區劃地	47
2. 第二標準區劃地	56

3. 第三標準區劃地	62
4. 第四標準區劃地	64
5. 第五標準區劃地	70
6. 第六標準區劃地	76
7. 第七標準區劃地	84
8. 第八標準區劃地	90
9. 第九標準區劃地	94
10. 第十標準區劃地	98
11. 第十一標準區劃地	104
植生連續ニ對スル一考察	110
第三章 山火跡地特殊植物ノ分布	111
1. 山火跡地特殊植物ノ二次林内ニ於ケル分布	111
2. 山火跡地特殊植物ノ地理的分布	112
第四章 山火跡地ニ於ケル植物目錄	114
参考文献	132
Résumé	135
圖 版	

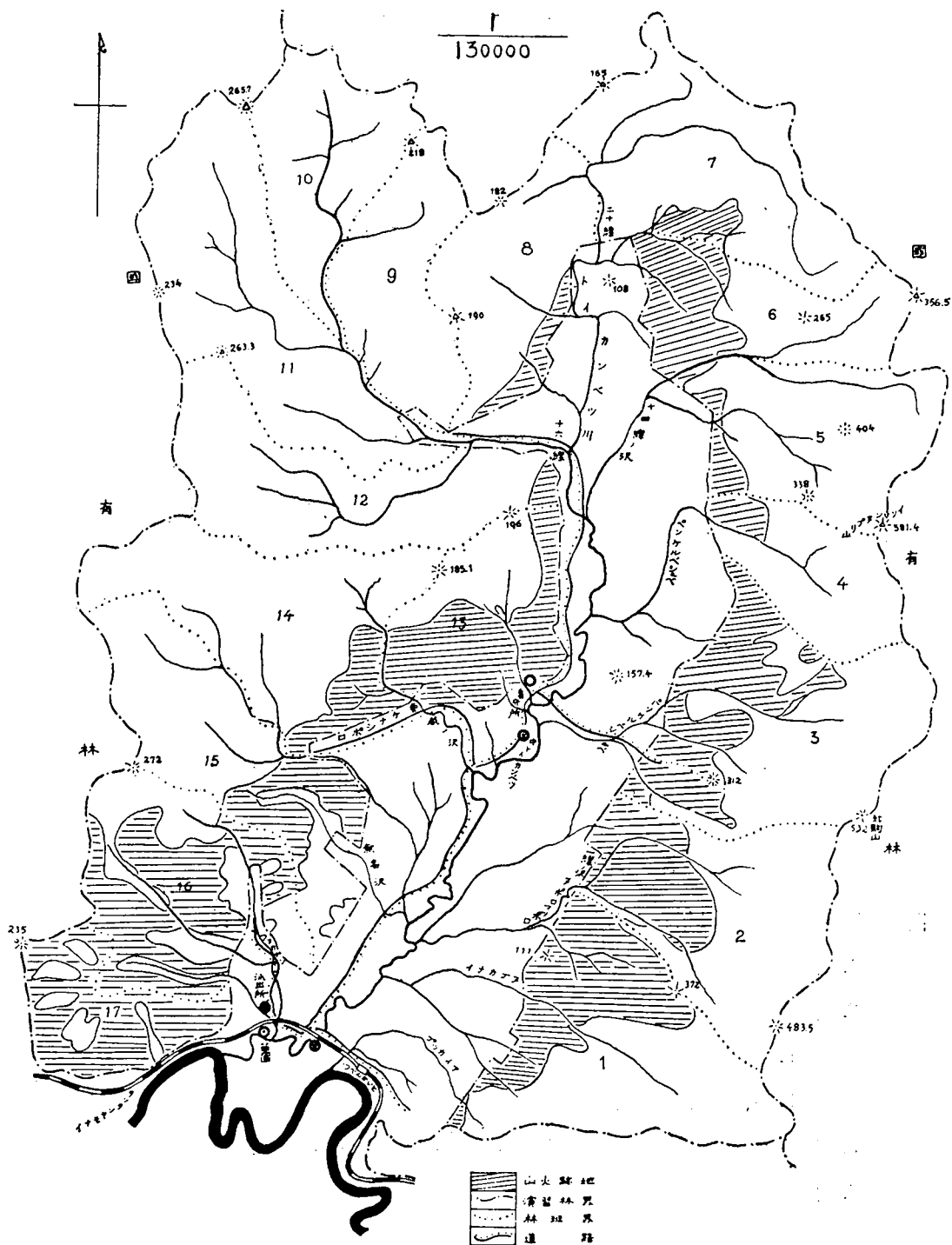
本報ハ印刷ノ都合上、天鹽演習林生態調査第二報ノ後、公刊セラル。

## 緒 言

近時生態學ノ進歩ニツレテ漸次森林生態學ノ展開ヲ見ルニ致レリ。本道ニ於テモ亦之ガ進展ノ趨勢ヲ見ルモ未ダ學術的報告極メテ少ナシ。然モ最近本邦北部ニ於ケル山火ハ林地ニ多大ノ被害ヲ與ヘ、一方之ヲ科學的ニ探究スルノ必要起リ來レリ。茲ニ於テ著者等ハ天鹽第二演習林ニ於ケル山火跡地ノ生態的研究ヲ企圖シ、1930年研究調査ニ從事セリ。

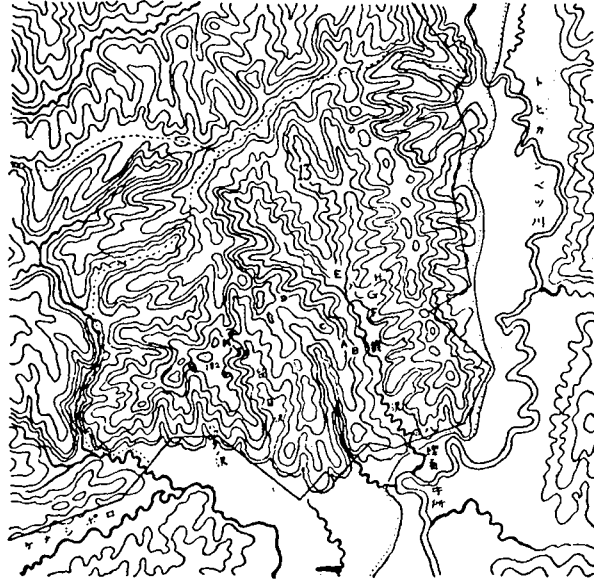
著者等ハ演習林長新島博士ノ多大ナル御助力、宮部博士、伊藤博士ノ御助言、佐藤博士ノ本報並ニ第二報刊行ニ際スル御配慮ニ深甚ナル謝意ヲ表シ、實施調査ニ當リ種々ノ便宜ト盡力ヲ與ヘラレシ齋藤助教授及北大天鹽演習林各位ニ感謝ノ意ヲ表ス。

天鹽第二演習林略圖



第十三林班  
標準區劃地位置圖

1  
70000



## 第一章 問寒別川沿岸ノ林相ト山火歴史

### 第一節 問寒別川沿岸ノ第一次林相

問寒別川沿岸ノ第一次林相ハソノ地勢位置ニヨリ次ノ如ク大別スルコトヲ得。

1. 河畔樹林=揚柳林=ながばやなぎ-きぬやなぎ林
2. 低地濕原樹林
  - a. あかえぞまつ林
  - b. やちはんのき林
3. 溪畔(又ハ溪側)樹林=みづなら、にれ、とどまつ林
4. 山地樹林
  - a. あかえぞまつ林
  - b. とどまつ、えぞまつ、いたや林

## 1. 河畔樹林

河畔＝於テハ柳屬植物優勢＝シテながばやなぎ、きぬやなぎヲソノ代表トシ、時トシテしろやなぎ、たちやなぎヲ混ジ、ソノ他屢々どろのき、やちだも、けやまはんのき等ヲ混生ス。下草ノ主ナルモノハきたよし、いはのがりやす、殊＝肥沃ナル土壤＝ハはんごんさう、えぞよもぎ等生ジ、ソノ他一般＝えぞのおほばせんきう、おほぶき、えぞあぶらがや、えぞかさすげ等アリ。

## 2. 低地濕原樹林

### a. あかえぞまつ林

此ノ濕原樹林ハ濕原トシテノ最後ノ安定型＝シテ同時＝中性樹林ヘノ林相ヲ示スモノナリ。而シテ此ノあかえぞまつ林ハわたすげ濕原若シクハみづごけ 濕原ト關係アルモノニシテ林下ニハ屢々是等濕原トノ共通要素ヲ生ズ。例ヘバわたすげ、ほろむいいちご、こけもも、つるこけもも等ヲ生ズルガ如シ。

### b. やちはんのき林

やちはんのき林ハ蘆沼野＝關係アルモノニシテ所謂下位泥炭ノ最後ノ樹林トシテ考察スベキモノナリ。あかえぞまつ林ヨリモ一層流畔＝沿フテ生ズルヲ常トス。下層ノ主ナルモノハきたよし又ハいはのがりやす、時＝是等下生要素ハおにしもつけ、はんごんさう等＝ヨリ置換セラル。

## 3. 溪畔樹林

溪畔樹林ハ肥沃ナル溪畔＝生ズル樹林＝シテ殊＝土地平坦ナル場合＝ハ潤葉樹一般＝優勢ヲ示ス。ソノ主ナルモノハみづなら、にれ、けやまはんのきナルモ、混淆樹トシテやちだも、ほほのき、うだいかんば、だげかんば、えぞやまさくら、ななかまど、せんのき、おひよう、とどまつ等アリ。樹下ハ笹類最モ優勢＝シテ、處＝ヨリテハはんごんさう、おにしもつけノ移シク生ズル處アリ。

## 4. 山地樹林

### a. あかえぞまつ林

本林ハ間寒別川東岸ヌボロマツボロ、ヌブカナイ上流地方＝發達ス。此ノ一齊林ハ基底蛇紋岩＝基因ス。樹下ハ概ネ笹類＝ヨリテ占メラルルモ、此ノあかえぞまつ地帯＝沿ヒ殊＝崩壊地附近ニハ特殊ノ植物ヲ生ズルアリ。例ヘバ、りしりびやくしん、はひまつ、ちしまざくら等ノ下降ヲ見、合セテひろはのへびのぼらヲ生ズルガ如キ之ナリ。崩壊斜面＝沿フテハえぞのたかねにがな、てしほこざくら、てしほさう、えぞのみやまささ、しろうまあさづき、てしほかうぞりな等ヲ生ズ。

### b. とどまつ—えぞまつ—いたや林

本林ハ間寒別川西岸山地一般ノ第三紀第四紀層＝發達セル樹林ナリ。主ナルモノハとどまつ、えぞまつ、いたや、べにいたや、だげかんばナルモ、ソノ他、ほほのき、こしあぶら、しろくざら、

(34)

あづきなし、みづなら、ななかまど等ヲ混淆ス。下草ノ主ナルモノハ笹類ニシテ、樹下ニハあかみのいぬつけ、こえうらくつつじ、つるしきみ、はひいぬつけ、つるつけ等ヲ生ジ、又おほまひづるまろ、しらねわらび、ならゐしだ等ヲ生ズ。

## 第二節 天鹽第二演習林ニ於ケル山火歴史

本演習林ハ森林火災ニ依リ被害ヲウケシコト甚シク、山火跡地全面積ノ25%即チ5575町歩ニ亘ル。シカモ、ソノ大部分ハ二回以上ノ被害地ナリ。山火ノ年度ニ關シテハ詳細ナル記録ヲ缺クモ地元住民ノ説ヲ參考トシテ山火跡地ノ樹齡ヨリ推定スルニ次ノ如シ。

即チ明治四十四年(1911)ニ大山火アリ。ソノ後モ山火ヲ見ザル年稀ニシテ就中大正十三年(1924)同十四年(1925)及十五年(1926)等ノ山火ハ比較的大ナルモノナリ。大正十五年(1926)以後ニ於ケル山火ノ年度並ニソノ被害程度ニ關シテハ天鹽第二演習林派出所ニ於ケル山火被害調書アリ。

今コレヲ見ルニ：一

大正十五年(1926)度

### 第一回

發火時日 同年六月三日

鎮火時日 同年六月五日

發火場所 問寒別基線三號原田某地内

發火原因 流送人夫ノ過失ナリトノ説及開墾火入ヨリノ過失ナリトノ説

被害面積 250町歩

防火出動總人員 220名

### 第二回

1. 發火時日 同年六月七日

鎮火時日 同年六月十二日

發火場所 雄信内驛構内及タンタシヤモナイ造林地

發火原因 薪切人夫ノ過失ナリトノ説及造林地拵ノタメ火入セルヨリノ過失トノ説

被害面積 2995町歩内演習林被害面積2330町歩

2. 發火時日 同年六月九日

鎮火時日 同年六月十二日

發火場所 問寒別基線三號加藤某附近及ヌブカナイ鈴木某借地内

發火原因 問寒別基線三號加藤某附近ノ發火ハ不明ナルモ、ヌブカナイ鈴木某借地内

ノ發火ハ開墾火入ノ過失ナリ

被害面積 私有林被害面積545町歩未開地被害面積120町歩

防火出動總人員 以上ノ1及ビ2ヲ合計シテ605名

第二回ノ被害地ハ概シテ明治四十四年(1911)、大正十三年(1924)ノ山火跡地ニシテ笹類密生シ、ソノ間樺類ノ稚樹アルノミニシテ面積ノ割合ニ被害程度極メテ少ナシ。

昭和二年(1927)度

第一回

1. 發火時日 同年五月十八日午前

鎮火時日 同年五月十八日午後

發火場所 タングシヤモナイ

發火原因 鐵道沿線ヨリノ發火ニシテ機關車ヨリノ發火ニアラズヤトノ説及沿線通行人ノ煙草ノ吸殻ニアラズヤトノ説

被害面積 30町歩第十七林班内ニシテ前年度ノ山火跡地ナルヲ以テ被害ナシ

2. 發火時日 同年五月十八日午前

鎮火時日 同年五月十八日午後

發火場所 問寒別アイカツブ

發火原因 開墾火入ヨリノ失火

被害面積 民有地十町歩、延燒區域擴大ニ至ラズシテ鎮火セル故被害少ナシ

防火出動總人員 以上1及2ヲ合計シテ150名

第二回

發火時日 同年六月二十三日

鎮火時日 同年六月二十七日

發火場所 上問寒別十二線ノ澤

發火原因 魚釣或ハ砂金採集者ノ失火ニアラズヤトノ説

被害面積 第四林班約100町歩民有地約800町歩、第四林班ハ明治四十四年(1911)ノ山火跡地ニシテ、ソノ材積針潤ニテ500石内外ナリ

防火出動總人員 210名

第三回

發火時日 同年六月三十日

鎮火時日 同年七月三日



(36)

發火場所 間寒別ヌプロマツボロ澤流域

發火原因 開墾火入ノ失火、及通行人ノ煙草ノ吸殻ニアラズヤトノ説

被害面積 國有未開地及民有地200町歩

演習林被害ナシ

防火出動總人員 52名

昭和三年(1928)度 不明

昭和四年(1929)度

第一回

發火時日 同年五月三十一日

鎮火時日 同年六月九日

發火場所 間寒別十六線ノ澤、羽坂某所有地内

發火原因 開墾地ノ火入ヨリノ失火

第二回

發火時日 同年六月一日

鎮火時日 同年六月九日

發火場所 間寒別市街、豊田某未墾地内

無名澤原田某ノ農耕地内

雄信内七線ノ澤及安牛農耕原野

發火原因 開墾火入ヨリノ失火及農耕地附近ノ火入ヨリノ失火

被害面積 第九第十第十一第十二林班ヲ除キ其ノ他ノ全林班ニ及ビ被害ヲ蒙リソノ被害面

積並ニ燒損木毎木調査表ヲアグレバ別表ノ如シ

防火出動總人員 260名

以上山火發生ハ五月下旬ヨリ六月上旬ノ比較的降水量少ナキ季節ニ於テ最モ多ク殊ニ乾燥シ易キ南面又ハ西面ニ於テ容易ニ發生ス。カノ昭和四年(1929)度ノ稀有ノ大山火ノ如キハ多クハ西又ハ南面ノ舊山火跡地ノ乾燥地ニシテ、笹類繁茂シ甚ダ延燒シ易キ状態ニアリシヲ以テナリ。而シテ山火發生ノ原因ハ主トシテ人爲的ノモノニシテ其ノ大部分ハ開墾地ノ火入ニ起因スルモノナリ。

## 山火跡地調査表

昭和四年六月調査 (単位町)

林班番號及面積		山火跡地面積			山火跡地
番 號	面 積	舊火山跡地	新火山跡地	合 計	%
1	1453.3310	145.0000	245.3310	390.3310	26
2	1981.3310	376.6620	530.6620	907.3310	46
3	1925.3310	513.3310	157.3310	670.6620	35
4	808.0000	110.6620	15.3310	126.0000	16
5	1213.3310	38.3310	74.6620	113.0000	93
6	1010.6620	255.0000	101.3310	356.3310	35
7	1632.0000	56.6620	125.3310	182.0000	11
8	1077.3310	36.6620	66.6620	103.3310	96
9	986.6620				
10	986.6620				
11	1752.0000				
12	1445.6620	16.6620		16.6620	11
13	1018.6620	553.3310	106.6620	660.0000	65
14	1709.3310	205.0000	50.6620	255.6620	15
15	1474.6620	366.6620	50.6620	417.3310	28
16	1418.6620	458.3310	336.0000	794.3310	56
17	706.0000	496.6620	85.3310	582.0000	77
計	22599.6200	3628.9580	1945.9580	5574.9160	25

備考 1. 面積ハ昭和四年迄ニ火災ニカカリシ全面積ニシテ中ニハ舊山火跡地ノ再燃、新規延焼ノ個所及立木地、未立木地ノ總テヲ含ム。

2. 林班面積ヨリ新舊火災跡地ノ合計面積ヲ控除シタル殘面積ハ山火ノ被害ヲウケザル面積ナリ。

## 昭和四年度焼損木毎木調査表

林 班	地 名	樹 種	本 數	材 積 (石)
1	アイカツブ、ヌブカナイ支流	えぞまつ	2065	5358.00
		とどまつ	7340	7631.40
		雜木	235	1195.60
計			9640	14185.00

林 班	地 名	樹 種	本 数	材 積 (石)
2 計	× プ カ ナ イ 澤	え ぞ ま つ	2176	5481.90
		と ど ま つ	3306	3443.90
		雑 木	193	1076.50
			5675	10002.30
2 計	泥 川	え ぞ ま つ	4295	9968.10
		と ど ま つ	8687	8256.50
		雑 木	684	2650.60
			13666	20875.20
2 計	× ホ ロ マ ツ ホ ロ 澤	え ぞ ま つ	9774	27616.60
		と ど ま つ	6100	6230.70
		雑 木	748	1223.70
			16622	35071.00
2 計	一 線 ノ 澤	え ぞ ま つ	391	1917.10
		と ど ま つ	238	227.80
		雑 木	35	215.40
			664	2360.30
3 計	東 八 線 澤	え ぞ ま つ	4711	17760.70
		と ど ま つ	2195	2610.00
		雑 木	169	717.10
			7075	21087.80
4 計	十 二 線 ノ 澤	え ぞ ま つ	2198	6982.20
		と ど ま つ	1409	1483.60
		雑 木	6	24.10
			3613	8489.90
6 計	十 四 線 ノ 澤	え ぞ ま つ	103	322.00
		と ど ま つ	270	545.90
		雑 木	12	98.80
			385	966.70
7 計	八 ツ 目 ノ 澤	え ぞ ま つ	1554	3365.20
		と ど ま つ	1575	2034.90
		雑 木	46	258.00
			3175	5658.10
8 計	十 六 線 ノ 澤	え ぞ ま つ	36	143.30
		と ど ま つ	283	463.10
		雑 木	22	123.30
			341	729.70

林 班	地 名	樹 種	本 数	材 積 (石)
13	西八線ノ澤、七線ノ澤、留目ノ澤、山本ノ澤、村瀬ノ澤	え ぞ ま つ	1347	3621.60
		と ど ま つ	4703	4698.90
		雑	280	479.50
		計	6330	8800.00
15	無 名 澤	え ぞ ま つ	886	2201.90
		と ど ま つ	3996	5056.30
		雑	80	430.00
		計	4962	7688.20
16	× カ ナ ン 澤	え ぞ ま つ	1945	9284.00
		と ど ま つ	7401	13002.00
		雑	74	414.00
		計	9420	22700.00
17	雑 信 内	え ぞ ま つ	1674	7236.80
		と ど ま つ	6874	10521.70
		雑	271	1382.50
		計	8819	19141.00
17	タ ン タ シ ヤ モ ナ イ 澤	え ぞ ま つ	76	404.60
		と ど ま つ	287	466.20
		雑	21	106.50
		計	384	977.30
17	× カ ナ ン 事 務 所 裏 澤	え ぞ ま つ	154	526.90
		と ど ま つ	416	685.90
		雑	290	931.20
		計	860	2144.00

但シえぞまつニハあかえぞまつヲ含ミ、雑木ニハなら、せんのき、しなのき、かんば類等ヲ含ム。

### 第三節 山火跡地ノ一般植物景觀

#### 1. 一線ノ澤附近

一線ノ澤附近ハ間寒別川ノ東岸ニ位シ、元來あかえぞまつ比較的多ク、とどまつソノ間ニ混淆セル林相ナリシモ、屢々ノ山火ニ依リ附近ノ一帯ハ無立木地トナリ、僅カニ山腹溪畔ニだけかんば、いたや、みづなら等ノ殘立木アルノミナリ。此ノ一線ノ澤附近ハ舊山火跡地ニシテ、更ニ1929年ノ大山火ノタメ、ソノ被害殊ニ甚シク、從ツテ笹類ノヨク繁茂スル所ナリ。稚樹ノ發生割合僅少ナリ。

一般ニ東南斜面ハ西北斜面ニ比シ山火ニヨル被害甚シク、從ツテ笹類優勢トナル。西北斜面ニア

(40)

リテハウだいかんば、だけかんば、しころ等ノ稚樹多ク發生シ、ばつこやなぎ、ほほのき、みづなら、ななかまど等之ニ次ギ處々ニ點生ス。ばつこやなぎハ山背山腹ニ多ク、ソノ萌芽ニヨリ發生セルモノハ生長良好ニシテ高サ1.0—1.5米ニ達ス。樺類モ萌芽ニヨルモノハ良好ナル生長ヲナシ約0.5—1.0米ノ高サヲ有ス。山腹ノ凹地ニハはんごんさう、えぞあざみ生ジ、むしかり、のりのき、はひいぬつけ、はなひりのき等各地到ル所ニ散在ス。更ニ笹類ノ少ナキ箇所ニアリテハたらのき、えぞいちご等ノ群落ヲナセルヲ見ル。やなぎらんハ間寒別ノ西岸即チ西八線附近ニ比シソノ數少ナキモ各所ニ散生ス。今主ナル種類ヲアグレバ次ノ如シ。

草本性植物並ニ羊齒類トシテ：—

えぞあざみ、	* (ごぜんたちばな)、	かうぞりな、	やまにかな、
よつばひよどりばな、	やなぎらん、	ひめむかしよもぎ、	いはのがりやす、
わらび、	たちまんねんすぎ、		

灌木並ニ喬木稚樹トシテ：—

うだいかんば、	しらかんば、	だけかんば、	ななかまど、
けやまはんのき、	やまうるし、	せんのみ、	ばつこやなぎ、
みづなら、	ほほのき、	ひろはのきはだ、	むしかり、
たらのき、	えぞにはとこ、	のりのき、	(はなひりのき)、
(はひいぬつけ)、	えぞいちご、		

蔓莖類トシテ：—

いはがらみ、	つるあぢさゐ、	つたうるし、	やまぶどう、
--------	---------	--------	--------

## 2. ヌプロマツボロ 附近

此ノ附近モ一線ノ澤附近ト同様舊山火跡地ニシテ更ニ1929年ノ山火ノ爲メ被害ヲ受ケタル處ナリ。從テ笹類ノ叢生セル處多ク、たらのき、えぞいちごノ群落ヲナセル所モ亦多シ。

一般ニ西北ニ面セル傾斜地ハ1929年ノ一回ノ山火被害ヲウケシ處多ク然モ微弱ナル地表火ヲウケシ處ニアリテハ腐植土ハ灰化セズシテソノ層厚ク殘存ス。カカル箇所ニ於テハ山麓附近ニななかまどノ稚樹多ク發生シ、殊ニヌプロマツボロ川支流ノ山麓ニ於テハ單純ナル群落ヲ形成セリ。山腹山火後ニ於テハだけかんば、うだいかんば、ほほのき、やまうるし等生ジ易ク、しらかんばハななかまどニ比スルニ耐火生活力強シ。更ニ殊ニ地表火ヲウケシモノノ被害ノ程度微弱ニシテ且ツ風倒腐朽木ノアル附近ニ於テハごぜんたちばな、おほまひづるさう、ししがしら等アリ。腐朽木上ニハ稀ニあかえぞ、とどまつノ稚樹發生ス。むしかり、はなひりのき、はひいぬつけ、やまぶどう等ノ山腹

\* ( ) 内ノモノハ殘存シ發生セルモノナリ。

附近ニ生ゼルハ最モ普通ナルモノナリ。

更ニ東南斜面數回ノ山火被害ヲウケシ跡地ニハ笹類最モ多ク、えぞいちご、よつばひよどりばな、わらび等處々に群生シ、ばつこやなぎ、のりのき、たらのき等モ亦多ク生ゼルヲ認ム。

今兩斜面ヲ通ジテソノ主ナル種類ヲアグレバ次ノ如シ。

草本性植物並ニ羊齒類トシテ：一

おにのげし、	のげし、	やまははこ、	えぞやまあざみ、
(ししがしら)、	わらび、	(ごぜんたちばな)、	(おほまひづるさう)、
(くるまゆり)、	やなぎらん。		

灌木並ニ喬木稚樹トシテ：一

けやまはんのき、	みづなら、	べにいたや、	しらかんば、
だけかんば、	ばつこやなぎ、	ななかまど、	ほほのき、
やまうるし、	うだいかんば、	(こえうらくつつじ)、	(まるばしもつけ)、
のりのき、	むしかり、	(はひいぬつけ)、	(はなひりのき)、
みやまがますみ、	おほたかねばら。		

蕨莖類トシテ：一

やまぶだう、	いはがらみ、	つたうるし、	てうせんどみし。
--------	--------	--------	----------

### 3. ケナシボロ 附近

ケナシボロハ間寒別川ノ西岸ニ位シ、間寒別川ノ支流ケナシボロ川流域一帯ニシテ、更ニ要藏ノ澤及バツタノ澤等ノ小支流ヲ含ム。此ノ附近ハ明治四十四年(1911)以來數回ノ山火被害ヲ蒙リシ所ニシテ、殊ニ東南斜面ニ於テソノ被害甚シ。要藏ノ澤及バツタノ澤附近ハ、1911年、1913年、1926年、更ニ1929年ノ前後四回ノ山火跡地ナリ。從ツテ山地荒廢シ、とどまつ、みづなら、いたや、樺類等ノ燒失木殘立シ、殆ト無立木地帯ニシテ僅ニソノ被害ヲ免レシ溪畔ニ於テハけやまはんのき、山腹ニ於テハいたや、みづなら等ノ生木殘存スルニ止ル。笹類密生スルモ、數回ニ亘ル山火ノ爲メ縮少シ、却ツテわらび、えぞいちご多量ニ生ジ、處々ニ群落ヲナス所アリ。笹類ノ數少ナキ附近ニ於テハたらのき、よつばひよどりばな、ひめむかしよもぎ、のげし多ク、低地ニハはんごんさうヲ生ズ。

山麓附近ニハしらかんばノ稚樹發生スルモノソノ數少ク、ばつこやなぎハ山背山腹至ル處ニ散生シ、本區域内山火跡地ノ最モ普通ナル樹種トナル。

又えぞいちご群落中ニハほほのき、えぞにはとこ等ノ稚樹生育スルコトアリ。

更ニケナシボロ川上流附近ハ1924年、1928年、1929年ノ三回ノ山火跡地ニシテ、前述ノ要藏ノ澤、

バツタノ澤ニ比スルニソノ被害ノ程度輕ク、笹類叢生ノ地多ク、やまぶだう、みやままたたび等ノ植物ソノ間ヲ蔓延ス。土地肥沃ナル低地附近ハ草本植物ノ生育良好ニシテ丈餘ニ達セルはんごんさうノ大群落ヲナセル處アリ。山地山腹ニハだけかんば、うだいかんば、しころ、みづなら、ばつこやなぎ、やまうるし、のりのき等生ジ、笹類ノ少ナキ處ニ於テハよつばひよどりばな、やなぎらん等群落ヲナシ又たらのき群生ス。此附近モ東南斜面ハ山火ノ被害殊ニ甚シク從ツテ北西斜面ニ多ク稚樹ノ發生スルヲ認ム。被害ヲ免レシ山腹ニハけやまはんのき、いたや、みづなら等ノ殘立木アルノミナリ。

今ケナシボロ附近一帯ヲ通ジ觀察セシ主ナル種類ヲアグレバ次ノ如シ。

草本並ニ羊齒類トシテ：—

よつばひよどりばな、	やなぎらん、	はんごんさう、	ひめむかしよもぎ、
のげし、	わらび、	かうぞりな、	うど、
(みみかうもり)、	きつりふね、	あかざ。	

液木並ニ喬木稚樹類トシテ：—

しらかんば、	だけかんば、	うだいかんば、	ひろはのきはだ、
みづなら、	やまうるし、	ばつこやなぎ、	いたや、
やちだも、	たらのき、	のりのき、	えぞいちご。

莖草類トシテ：—

やまぶだう、	みやままたたび、	いはがらみ、	つるあちさる、
つたうるし。			

#### 4. 八線ノ澤附近

八線ノ澤ハ、間寒別川ノ西岸、即チ八線ノ澤流域一帯ナリ。此附近モ舊山火跡地ニ更ニ1929年ノ山火被害ヲ蒙リシ處ナルモ概シテ1929年度ノ被害ヲウケシ處多シ。

此ノ附近一帯ハ潤過混淆林ノ擇伐跡地ヲ山火ニ襲ハレシモノニシテ、ソノ被害ノ程度ハ山腹附近ニ於テハ地表火ナルモ、低地及流畔附近ニアリテハ微弱ナル地表火又ハ樹冠火ニ止マル。

被害ヲ免レシ殘存木ノ内、山腹附近ニハみづなら、うだいかんば、いたや、べにいたや、ななかまど等アリ。低地ニハみづなら、しらかんば、いたや、べにいたや、ななかまど、あかだも、やちだも、けやまはんのき等アリテ、ソノ間とどまつ、あかえぞまつ等散點ス。更ニ流畔附近ニハながばやなぎアリ。

一般ヲ通ジテ見ルニ笹類ハソノ繁茂旺盛ニシテ、殊ニ殘存木林地適度ノ陽向ノ下層ハ屢々全ク之ニ依リ獨占セラル。又一般ニ稚樹ハ樺類最多ニシテみづなら、しころ、ばつこやなぎ、ほほのき、

せんのき、いたや、べにいたや、こしあぶら、ななかまど、やまうるし、のりのき、たらのき等ヲ生ジ、えぞいちご、むしかり、はなひりのき、はひいぬつけ等モ亦各地ニ生ズ。

草本及羊齒類中やなぎらん、よつばひよどりばな、のげし、わらび等ハ山腹附近ニ最モ多ク、之ニ反シ凹地及流畔附近ニハはんごんさう、かうぞりな、やまにがな、えぞあざみ、えぞせうま、うらげよぶすまさう等生ジ、特ニ笹類ト共ニはんごんさうノ夥シク生ズル所アリ。又部落近キ路邊又ハ燒跡林内歩道ニハかもがや、まからすむぎ、きんえのころ、はこべ、しろつめくさ、のげし、かうぞりな等生ズ。おほまひづるさう、ならぬしだ等ハ樹冠火ノアリシ附近ニ多ク認メラル。又つたうるし、いはがらみ、つるあぢさゐ等ノ莖莖類ハ各地ニ生ズ。

今西八線附近ニ於ケル主ナル種類ヲ擧グレバ次ノ如シ。

草本並ニ羊齒類トシテ：一

よつばひよどりばな、	やなぎらん、	はんごんさう、	ひめむかしよもぎ、
のげし、	えぞあざみ、	えぞやまあざみ、	かうぞりな、
やまにがな、	わらび、	うど、	ごまな、
(みみかうもり)、	うらげよぶすまさう、	かもがや、	おにのげし。

灌木並ニ喬木稚樹類トシテ：一

しらかんば、	だけかんば、	うだいかんば、	みづなら、
ひろはのきはだ、	いたや、	べにいたや、	ななかまど、
せんのき、	ほほのき、	ばつこやなぎ、	たらのき、
やまうるし、	みづき、	けやまはんのき、	しろざくら、
やまくは、	のりのき、	(つるしきみ)、	(えぞゆづりは)。

蔓莖類トシテ：一

てうせんどみし、	やまぶだう、	つたうるし、	みやままたたび、
いはがらみ、	つるあぢさゐ。		

## 5. 八線西山附近

ココニ八線西山附近ト稱スルハ八線ノ澤ノ南方ニ續ク山地山腹一帯ノ總稱ナリ。此附近モ1911年以來前後四回ニ亘ル山火ヲウケ、ソノ被害ノ程度最モ甚シク、處々ニ裸出地又ハ山崩アリ。今八線西山附近一般ヲ通シ之ヲ山腹及ソノ窪地、山背、山稜附近、山稜裸出地及山崩附近ニ大別シ植物生育状態ヲ列記センニ次ノ如シ。

山腹及ソノ窪地附近

山腹及ソノ窪地附近ニ於テハ稚樹ノ發生比較的少ナクばつこやなぎ、うだいかんば、やまうるし、



(44)

せんのき、えぞにはとこ、のりのき等主ナルモノニシテ、しころ、たらのき、えぞいちご等之ニ次グ。草本トシテハよつばひよどりばな最モ多ク、はんごんさう、うらげよぶすまさう、おほいたどり、おにしもつけ、うど等生ジ、やまぶだう等ノ莖莖類モ亦各地ニ蔓延ス。笹類ハ山地附近ニ比シソノ數少ナク且ツ數回ノ山火ノタメ短縮セルモノナリ。

山背山稜附近

此ノ附近ハ位置並ニ山火被害程度ニヨリ稚樹ノ發生状態ヲ異ニスルモ一般ヲ通ジばつこやなぎ、うだいかんば、だげかんば、せんのき、みづなら、たらのき、やまうるし、えぞにはとこ、のりのき等生ジ、山稜ニ多キハだげかんば、ばつこやなぎ、たらのき、みづなら、えぞにはとこ、のりのき等ナルモ、殊ニ多キハだげかんば、ばつこやなぎ、たらのきニシテ、みづなら之ニ次グ。草本及羊齒類ニアリテハよつばひよどりばな、わらび、やなぎらん、うど、かうぞりな、ひめむかしよもぎ、のげし等ヲ生ジ、莖莖類ニハいはがらみ、やまぶだう等アリ。笹類ハ相當繁茂スルモ其ノ分布一様ナラス。

山稜裸出地附近

裸出地ハ山稜山背ニ多ク、殊ニ峯通りニ於テ之ヲ見ル。裸出地附近ハ稚樹ノ發生少ナク、且ソノ種類モ亦極メテ僅少ナリ。小面積ノ裸出地ニアリテハ屢々蘚苔ノミヲ以テ被覆セラレシ所アリ。一般ニ稚樹ハばつこやなぎニシテ、屢々えぞいちご、時ニほほのき、だげかんば、うだいかんば等生ズ。草本及羊齒類ニアリテハひめむかしよもぎ、のげし、わらび、やなぎらん等多ク、又よつばひよどりばな、かうぞりな、やまははこ、のぼろぎく、はんごんさう、おほぶき、時ニたんぼぼ類等生ズ。

山崩附近

山崩ハ山背山腹ノ急傾斜地ニ多ク、殊ニ八線西山附近ニ於テハ東南斜面ニ屢々之ヲ見ル。喬木稚樹並ニ灌木トシテハけやまはんのき、ばつこやなぎ、うだいかんば、だげかんば、みづなら、しころ、のりのき等主ナルモノナリ。草本トシテハやまははこ、あきのきりんさう、かうぞりな、いはのがりやす、よつばひよどりばな、やまぶきしやうま、おほぶき等アリ。溪側斜面ニハおほいたどり生ズ。

今八線西山附近一帯ニ發生セル主ナル種類ヲ總合シテアグレバ次ノ如シ。

草本及羊齒類トシテ：一

わらび、	よつばひよどりばな、	やなぎらん、	のげし、
おにのげし、	はんごんさう、	おほいたどり、	うらげよぶすまさう、
ひめむかしよもぎ、	えぞよもぎ、	かうぞりな、	ごまな、

やまぶきしやうま、 いはのがりやす、 あきのきりんさう、 やまははこ、  
うど、 のぼろぎく。

灌木並 = 喬木稚樹類トシテ：—

だけかんば、 うだいかんば、 ひろはのきはだ、 せんのみ、  
ほほのみ、 ばつこやなぎ、 けやまはんのみ、 みづなら、  
のりのき、 たらのみ、 えぞいちご。

蔓莖類トシテ：—

つたうるし、 いはがらみ、 やまぶだう。

## 6. 留目ノ澤附近

留目ノ澤ハ八線ノ澤トバツクノ澤トノ稍々中間ニ位シ、西北ニ入りコミタル小澤ナリ。留目ノ澤ノ東南側山腹附近ハ一帯ニ四回ノ山火跡地ニシテ、ソノ反對側即チ西北斜面ハ大正十五年(1926)、昭和四年(1929)ノ二回ノ山火跡地ナリ。留目ノ澤附近一帯ニ残存セル稚樹ハ、うだいかんば、だけかんば、ななかまど、みづなら、いたや、べにいたや、ほほのみ等ソノ主ナルモノニシテ、溪底地附近ニハながばやなぎ、けやまはんのみ等アリ。笹類ハ低地流畔附近以外ノ兩斜面ノ山背、山腹附近ニ密生ス。

留目ノ澤ノ東南側山腹附近ニ於ケル稚樹ノ發生並ニソノ他ノ植物生育状態ハ、八線西山附近ノ山腹ト全ク同様ナリ。西北斜面ニアリテハ、うだいかんば最モ多ク、しころ、べにいたや、ほほのみ、ばつこやなぎ、せんのみ、ソノ他えぞにはとこ、むしかり、はなひりのき、えぞいちご等ヲ生ズ。草本及羊齒類ニアリテハ、やなぎらん、よつばひよどりばな、はんごんさう、かうぞりな、ひめむかしよもぎ、おほぶき、ししがしら、しらねわらび等生ジ、いはがらみ、つたうるし、てうせんごみし等ノ蔓莖類モ亦所々ニ發生ス。

低地流畔附近ニ於テハいはのがりやす、おにしもつけ、おほいたどり等群落ヲナシ、えぞよもぎ、はんごんさう、おほぶき等混生ス。今留目ノ澤附近ニ於ケル主ナル種類ヲアグレバ次ノ如シ。

草本及羊齒類トシテ：—

やなぎらん、 よつばひよどりばな、 はんごんさう、 かうぞりな、  
ひめむかしよもぎ、 えぞよもぎ、 いはのがりやす、 おにしもつけ、  
おほいたどり、 おほぶき。

灌木並 = 喬木稚樹類トシテ：—

うだいかんば、 だけかんば、 しらかんば、 いたや、  
べにいたや、 ひろはのきはだ、 ほほのみ、 ばつこやなぎ、

(46)

せんのき、 (はひいぬつけ)、	たらのき、 むしかり、	のりのき、 えぞいちご。	(はなひりのき)、
--------------------	----------------	-----------------	-----------

蕁荖類トシテ：—

やまぶだう、 つたうるし。	てうせんどみし、	いはがらみ、	つるあぢさゐ、
------------------	----------	--------	---------

## 第二章 標準區劃地調査

### 第一節 標準區劃地調査ニ就キテ

著者等ハ林内第十三林班ニ於テ山火跡地ノ代表トナルベキ標準區劃地十一箇所ヲ探定シ昭和五年(1930)七月八月九月及十月ニ於テ調査ヲ行ヘリ。

#### 第一標準區劃地(地圖上ノA點)

本標準地ハ一回ノ山火擇伐跡地ニ於ケル山背ノ植生状態ノ研究

#### 第二標準區劃地(地圖上ノB點)

第一標準區劃地ト同一

#### 第三標準區劃地(地圖上ノC點)

本標準地ハ山稜ニ於ケル四回ノ山火跡地植生状態ノ研究

#### 第四標準區劃地(地圖上ノD點)

本標準地ハ二回ノ山火被害甚シキ山背ト一回ノ山火被害僅少ナル斜面トノ接觸地點ニ於ケル植生状態ノ比較研究

#### 第五標準區劃地(地圖上ノE點)

本標準地ハ山火後六年ノ山腹林地ニ於ケル二次林構成状態ノ研究

#### 第六標準區劃地(地圖上ノF點)

本標準地ハ山麓低地ノ比較的殘存木ヲ有スル一回ノ微弱ナル山火跡地ニ於ケル植生状態研究

#### 第七標準區劃地(地圖上ノG點)

本標準地ハ一回ノ微弱ナル山火後伐採木ノ枝條、木片ヲ搔散セル山麓地帯ニ於ケル植生状態ノ研究

#### 第八標準區劃地(地圖上ノH點)

本標準地ハ山背陽向傾斜地ニ於ケル一回ノ山火跡地植生状態ノ研究

## 第九標準區劃地(地圖上ノI點)

本標準地ハ山腹窪地ニ於ケル二回ノ山火跡地植生狀態ノ研究

## 第十標準區劃地(地圖上ノJ點)

第九標準區劃地ト同一

## 第十一標準區劃地(地圖上ノK點)

本標準地ハ山背斜面ニ於ケル山火被害少ナキ採伐跡地ノ更新狀態ノ研究

## 第二節 標準區劃地

## 1. 第一標準區劃地

## 位置及地況

八線看守所ヲ去ル北方約600米ノ地點ヨリ稍々西南方ニ當ル山背地帯ニシテ地圖上ノA點ナリ。此ノ附近ハ東南ニ面シ約9度ノ傾斜ヲナシ山背ノ幅約100米内外ナリ。

土性\* ハ埴質壤土ヨリ成リ上層ハ黒褐色ニシテ礫ヲ含マザルモ下層ハ赤褐色ニシテ5.8%ノ礫ヲ含有ス。腐植土ハソノ厚サ8—9種ナリ。

## 林 況

往時採伐ヲ行ヘル針潤混淆林ナリシモ1929年ノ一回ノ山火ヲ蒙リ同年更ニ燒損殘存木ヲ採伐セリ。從ツテ標準地ノ周圍ニハ生存喬木僅少ニシテ幼木ヨリナル第二次林相ヲ形成ス。

(別圖第一第二標準區劃地附近ニ於ケル主要樹木位置圖參照—50頁)

標準地附近ニ殘存セル主ナル喬木ニハだけかんば、いたや、ななかまど、みづなら、けやまはんのき、とどまつ、えぞまつ等アリ。標準地及ソノ附近一帯ハ笹類密生スルモ處々ニたらのきノ小群落ヲナス所アリ。喬木稚樹トシテハ、だけかんば、うだいかんば、しらかんば、ばつこやなぎ、しころ、みづなら、せんのみ、ほほのみ、稀ニななかまど等アリ。のりのき、むしかり、はひいぬつげ、えぞいちご等又生ジ、草本羊齒トシテハわらび、やなぎらん、よつばひよどりばな、はんごんさう、やまにがな等アリ。莖莖類ニハいはがらみ、つるあぢさゐ、やまぶだう、つたうるし、てうせんどみし等アリ。

## 區 劃 地

本標準區劃地ハ100平方米ニシテ區劃地内ニハ笹類比較的多ク且ツ腐朽木一本横ハル。Fig. A (52頁)ハ本區劃地内ニ於ケル主要木本ノ位置ヲ圖示セルモノナリ。更ニ又數量ヲ以テ各種植物ノ分布狀態ヲ表示センニ第一表ニ於ケルガ如シ。

\* 土性調査ハ農學會調査報告ニ基ヅキ土壤ノ分類及命名ヲ行ヘリ。

(48)

A. 主要木本=ツキテ

區劃地内=於テハ喬木母樹ト見ルベキモノ割合ニ少ナキモ胸高直徑3種以上15種ノモノニ就キテ見ル=ソノ主ナルモノハばつこやなぎ6本、だけかんば5本、ほほのき2本、たらのき2本ヲ數フル=過ギズ。是等ノ樹種ハ擇伐後發生シ、二次的幼林ヲ構成セシモ1929年ノ山火被害ノタメ殆ト全部燒損枯死セルモノナリ。而シテソノ後繼樹ハ燒損木ノ根部ヨリ萌芽ニヨリ發生シソノ生長頗ル良好ナリ。更ニ主ナル木本稚樹=ツキノ本數ヲアグレバ次ノ如シ。

種名	本數	種名	本數
だけかんば	57	みつなら	12
うだいかんば	2	ばつこやなぎ	40
ひろほのきはだ	12	ななかまど	1
せんのき	17	けやまほんのき	1
ほほのき	29	たらのき	489
やまうるし	26		

是等ノ中たらのきは最多ニシテソノ本數489本ヲ示シ本區劃地内=於ケル代表的樹種ナリ。たらのきは次ギ、だけかんばノ57本、ばつこやなぎ40本、ほほのき29本、やまうるし26本等ハ比較的優勢ナリ。

一般ニ萌芽ニヨルだけかんば、ばつこやなぎ等ハ既ニソノ樹高1米以上ニ達シ、且ソノ稚樹ノ數量ニ於テモ比較的多キヲ示セリ。是ニ因ツテ本標準地ヲ考察スレバ、だけかんば、ばつこやなぎ主木トナリ、第二次林構成ノ初期相ヲ示ス。たらのきはソノ數多キモ多クハ群落遷移初期相ノ初ニアラハレ林型上ヨリ見レバ中層ニ屬ス。

B. 灌木(低小喬木ヲモ含ミ以下之ニ準ズ)並ニ下草=ツキテ

本標準區劃地内=於ケル主ナル灌木並ニ下草ノ數量ヲ示サンニ次ノ如シ。

種名	本數	種名	本數
えぞにほとこのりのき	1	わらび	45
むしかり	48	のげし	24
はなひりのき	106	やなぎらん	20
はひいぬつけ	24	やまにがな	9
えぞいちご	17	ひめむかしよもぎ	6
ささ	500	おにしもつけ	6
よつばひよどりばな	3154	かうぞりな	4
	90	はんごんさう	3

以上之ヲ總括シテ見ルニささソノ數3154本ノ最大數ヲ示ス。而シテえぞいちご 500 本ニシテ本區劃地ノ主要ナル第二位ヲ占ム。更ニむしかり 106 本、のりのき 48 本、はなひりのき 24 本等ヲ數フ。此ノ優勢ナル割合ハ擇伐後鬱閉ノ疎開ニ依ル適度ナル陽向並ニ立地的關係ニヨリ之等灌木ノ繁茂盛ニナリ、一部ハ山火跡ナホソノ被害ヲ免レシ殘根ヨリ萌芽セシタメナリ。下草トシテハ概シテ陽向性植物多クソノ中よつばひよどりばなハ表示セル如ク最モ多ク、之ニ次ギわらび 45 本、のげし 24 本、やなぎらん 20 本ヲ數フ。はんどんさう、おにしもつけ等ハソノ數少ナク且ツ本區劃地中窪地ニ於テ認メタリ。

### C. 蔓莖類ニツキテ

蔓莖類ノ本標準區劃地内ニ於ケル分布ハ次ノ如シ。

\*いはがらみ 47    みやままたたび 37    つたうるし 11    やまぶだう 1

是等蔓莖類中いはがらみ 47 本、みやままたたび 37 本ハ著シキモイヅレモ幼少ニシテ林地ノ一部ヲ被覆スルニ止マル。



第二標準區劃地（一回山火跡地）

ねまがりだけ及おくやまざさノ叢生

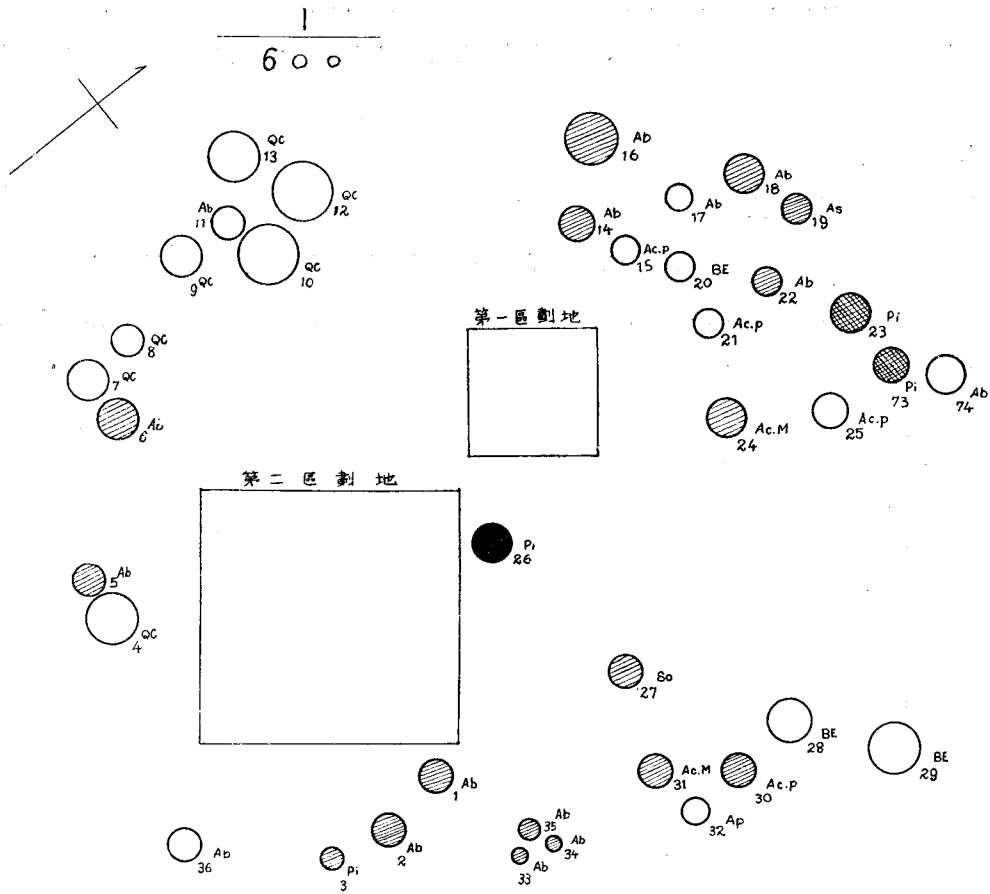
（1930年8月30日撮影）

56 頁 參照

\* 本表中ニいはがらみトアルハつるあぢさゐナモ含ム。之幼植物ニ於テ區別シ難キコトアルヲ以テナリ。

第一、第二標準區劃地

附近ノ主要樹木位置圖



Ab	とびまつ	Pi	えぞまつ
QC	みつなら	Ac.M	べにいたや
Ac.p	いたや	So	なにかまど
As	こしあぶら	BE	だけかんば

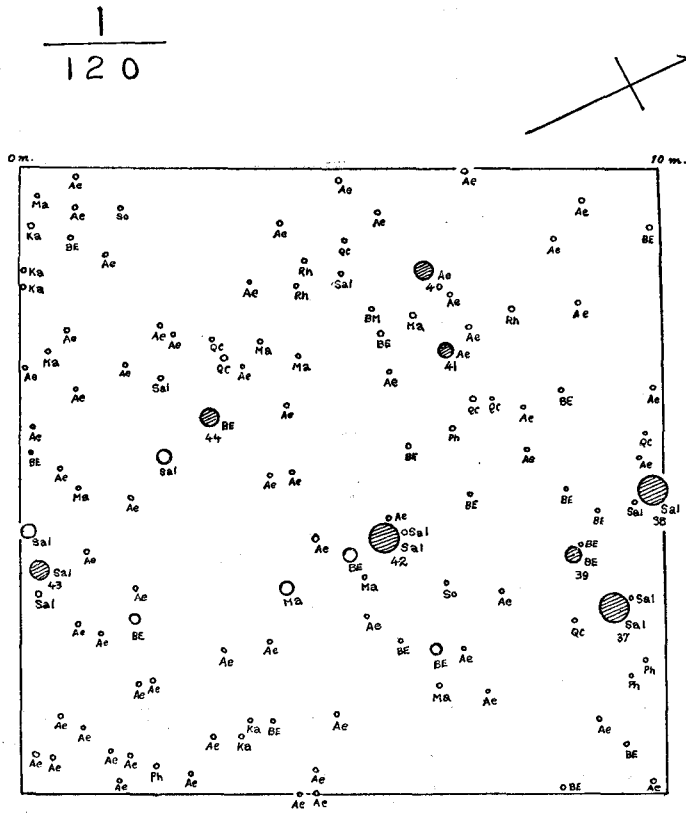
○	生木
◐	枯損木
◑	伐痕
●	黒焼木

50頁圖版調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (纏)

番 號	樹 種	略 符	胸 高 又 ハ 伐 採 高 直 徑	伐 採 高	備 考
1	と ど ま つ	Ab	27		枯損木
2	同	〃	30		同
3	え ぞ ま つ	Pi	20		同
4	み づ な ら	Qc	65		
5	と ど ま つ	Ab	30		枯損木
6	同	〃	30		同
7	み づ な ら	Qc	30		
8	同	〃	25		
9	同	〃	44		
10	同	〃	75		
11	と ど ま つ	Ab	23		
12	み づ な ら	Qc	70		
13	同	〃	60		
14	と ど ま つ	Ab	30		枯損木
15	い た や	Ac. p	27		
16	と ど ま つ	Ab	50		枯損木
17	同	〃	25		
18	同	〃	34		枯損木
19	こ し あ ぶ ら	As	19		同
20	だ け か ん ば	BE	25		
21	い た や	Ac. p	20		
22	と ど ま つ	Ab	20		枯損木
23	え ぞ ま つ	Pi	35	100	伐採木
24	べ に い た や	Ac. M	35		枯損木
25	い た や	Ac. p	32		
26	え ぞ ま つ	Pi	48		黒焼木
27	な な か ま ど	So	21		枯損木
28	だ け か ん ば	BE	41		
29	同	〃	45		
30	い た や	Ac. p	28		枯損木
31	べ に い た や	Ac. M	28		同
32	と ど ま つ	Ab	19		
33	同	〃	5		枯損木
34	同	〃	6		同
35	同	〃	4		同
36	同	〃	25		
73	え ぞ ま つ	Pi	30	100	伐採木
74	と ど ま つ	Ab	40		



Fig. A



● 枯樹木

- |         |            |          |
|---------|------------|----------|
| Ae たらのみ | BE だけかんば   | So なにかまど |
| Ka せんのみ | BM うだいかんば  | Ph じところ  |
| Ma ほのみ  | Sal ばっこやなぎ | Rh やまうらじ |

第一標準區劃地調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (種)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高直徑	伐 採 高	備 考
37	ばつこやなぎ	Sal	10		枯損木
38	同	〃	8		同
39	だけかんば	BE	6		同
40	たらのき	Ae	3		同
41	同	〃	3		同
42	ばつこやなぎ	Sal	11		同
43	同	〃	3		同
44	だけかんば	BE	3		同



八線西山附近ノ四回山火跡地

(1930年10月19日撮影)

(本表中ニハ胸高直徑3糎以上ノ喬木ヲ除ク。以下之ニ準ズ)

類	種名	Q (4m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	だけかんば	—	1	5	—	—	2	—	3	—	—	—	4
	うだいかんば	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひろはのきはだ	—	—	3	1	3	—	—	—	1	1	1	—
	せんのき	—	—	13	—	2	—	—	2	—	—	—	—
	ほほのき	—	1	2	—	—	2	1	1	2	1	5	1
	やまうるし	—	8	—	—	3	—	—	—	—	—	3	—
	みづなら	1	—	—	—	—	—	4	—	—	2	—	—
	ばつこやなぎ	2	11	—	—	—	2	7	2	5	—	—	—
	ななかまど	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
本	げやまほんのき	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	たらのき	18	17	22	18	22	18	15	18	17	5	28	18
灌 木、 笹	えぞにはとこ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	のりのき	1	—	—	—	2	—	8	5	5	7	—	2
	むしかり	7	—	15	2	3	8	—	3	12	5	1	6
	つるしきみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	はひいぬつげ	—	—	1	—	4	—	—	6	—	—	—	—
	はなひりのき	—	2	—	—	—	2	3	1	—	—	—	—
	えぞいちご	11	11	14	13	27	11	9	24	23	16	7	24
さ	108	132	123	126	107	162	137	153	150	115	185	126	
草 木、 羊 齒	わらび	4	—	—	11	2	10	—	1	—	—	—	—
	よつばひよどりばな	9	1	3	1	4	1	—	2	1	—	—	12
	のげ	1	—	—	9	—	—	1	—	—	—	—	—
	おにしもつけ	4	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひめむかしよもぎ	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1
	えぞやまあざみ	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	やなぎらん	4	—	2	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	かうぞりな	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	はんごんさ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	おほぶき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蔓 莖	えぞあざみな	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	やまにがな	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	こしらすげ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蔓 莖	みやままたた	—	3	—	—	—	—	2	—	7	—	—	—
	やまぶだう	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	いはがらみ	—	—	—	—	—	—	5	—	8	—	8	8
	つたうるし	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	2

S=Summe, D=Deckungsgrad, K=Konstanz.

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
—	1	3	10	5	5	7	2	1	6	—	—	2	57	2	3
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	+	1
—	2	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	14	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	2	1
—	4	—	1	5	1	—	—	—	—	1	1	—	29	2	3
—	—	1	—	—	—	1	6	—	—	—	1	—	23	2	2
—	1	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	12	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	5	5	—	40	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
39	20	12	32	17	23	15	21	12	18	21	33	10	489	5	5
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	8	—	—	—	—	4	—	2	2	2	48	2	3
—	—	8	—	1	2	—	6	—	7	20	—	—	106	2	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	1	—	—	2	—	2	1	—	—	—	—	17	1	2
—	—	—	—	—	—	—	1	3	3	2	2	5	24	1	2
23	31	18	49	10	25	44	6	32	18	19	13	22	500	5	5
124	154	92	131	127	97	121	86	117	132	111	135	103	3154	5	5
—	—	—	1	—	7	—	—	8	—	1	—	—	45	2	2
1	6	5	4	2	2	4	6	4	9	7	1	5	90	3	4
—	—	—	—	—	—	6	1	2	3	—	—	1	24	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1	1
—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	6	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
1	—	4	—	1	3	—	—	—	—	—	—	3	20	1	2
—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	3	—	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	9	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	+	1
—	—	7	—	1	—	—	3	2	5	2	5	—	37	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	6	4	—	1	4	1	1	—	1	—	—	—	47	2	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	3	—	11	1	1

2. 第二標準區劃地 (49頁寫眞参照)

位置及地況

八線ノ澤ノ南方山背地帯即チ第一標準區劃地ヨリ東方約10米ノ地點ニシテ地圖上ノB點ナリ。B點附近ニ於ケル地況ハ全く第一標準地ト同ナルモ本標準區劃地ハ稍々南面陽向地ニシテ土地比較的乾燥セリ。傾斜ノ度合一樣ナラズ。區劃地ノ北東半ハ東南ニ約十五度ノ傾斜ヲナスモ南西半ハ南ニ約35度ノ急傾斜ヲナス。地表ニ厚サ約6—7種ノ腐植土ヲ有ス。

林況

本標準地及ソノ附近ノ林況ハ第一標準地附近ト大差ナキモ區劃地ノ南方稍々緩斜面附近ニハとどまつ、稀ニえぞまつ等ノ燒失枯損木殘存シ、一般ニ區劃地ノ周圍疎開シ、母樹ト見ルベキ喬木殆トナシ。林地ニハ笹類密生シ、ばつこやなぎ、しらかんば、だけかんば、みづなら、やまうるし等ノ萌芽發生シ、ソノヨク生長セルモノハ樹高1米乃至2米ニ達ス。喬木稚樹トシテハだけかんば、しらかんば、ばつこやなぎ、うだいかんば、しころ、やまうるし、みづなら、せんのき、ほほのき、たらのき、灌木トシテのりのき、むしかり、みやまがますみ、つるしきみ、はなひりのき等アリ。草本羊齒ニハわらび、よつばひよどりばな、ひめむかしよもぎ、えぞやまあざみ、蔓莖類トシテハつたうるし、いはがらみ等アリ。又笹類比較的少ナキ箇所ニハたらのき、えぞいちご、わらび等處々ニ群落ス。

區劃地

本標準區劃地ハ400平方米ニシテ、區劃地内ニハえぞまつ、みづならノ老大木ノ倒木各々一本ツツ横ハリ、又伐採高直徑41種ノえぞまつノ伐根一本アリ。本區劃地内ニ於ケル主要木本ノ位置ヲ圖示センニ Fig. B (58頁)ノ如シ。更ニ又各種植物ニツキノ數量ヲ表示センニ第二表ニ於ケルガ如シ。

A. 主要木本ニツキテ

胸高直徑3種以上ノ樹種ノ本數ハ次ノ如シ。

種名	本數	種名	本數
とどまつ	7	たらのき	3
ばつこやなぎ	5	しらかんば	1
だけかんば	3	せんのき	1
やまうるし	3		

上表中とどまつ16種、25種2本、及だけかんばノ25種1本ヲ除ク外ハ、ソノ胸高直徑3種乃至7種ノ幼木ニシテイヅレモ燒損木ナリ。之即チ擇伐後是等ノ幼木主トナリ固有ノ林型ヲ構成セントスル過程ニアリシモ、1929年ノ山火被害ノタメ全ク燒損枯死シ、とどまつヲ除ク他ノ樹種ハ萌芽ニヨリ

ソノ後繼樹ヲ殘存セルノ状態ナリ。

更ニ木本稚樹ニツキテソノ數量ヲ示サンニ次ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
だ げ か ん ば	92	ひ ろ は の き は だ	73
し ら か ん ば	3	や ま う る し	45
う だ い か ん ば	2	み づ な ら	56
ほ ほ の き	43	べ に い た や	4
せ ん の き	86	し ろ ざ く ら	7
ば つ こ や な ぎ	127	た ら の き	828
こ し あ ぶ ら	6		

之ヲ總合シテ見ルニたらのき最多ニシテ優勢ノ地位ヲ占メソノ本數 828 本ナリ。之ニ次ギ主ナルモノハばつこやなぎ127本、だけかんば92本、せんのみき86本、しころ73本、みづなら56本、ほほのみき43本、やまうるし45本ナリ。本區劃地ニ於テハたらのき數量多キモ、ばつこやなぎ、だけかんば比較的多ク主木トナリ、ソノ生態的構成全ク第一標準區劃地ト同一ニシテ、之ニせんのみき、しころ、みづなら、ほほのみき等ヲ混生スル第二次雜林ヲ構成スベキ初期ノ階程ニアル状態ヲ考察シ得ベシ。

#### B. 灌木並ニ下草ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル灌木並ニ下草ノ數量ハ次ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
え ぞ い ち こ	1813	あ きのきりんさう	11
は な ひ り の き	305	や な ぎ ら ん	364
む し か り	116	た ち ま ん ね ん す ぎ	98
は ひ い ぬ つ げ	84	よ つ ば ひ よ ど り ば な	54
つ る し き み	35	ひ め む か し よ も ぎ	42
の り の き	9	か う ぞ り な	41
え ぞ に は と こ	7	え ぞ や ま あ ざ み	30
み や ま が ま ず み	3	う	20
わ ら び	798	の げ し	37
や ま は へ こ	15	え ぞ あ ざ み	15
し し が し ら	11	は ん ご ん さ う	10

以上灌木ノ中えぞいちごハ1813本ノ最大數ヲ示シ、之ニ次ギはなひりのき305本、むしかり116本、はひいぬつけ84本ヲ數フ。下草中わらびノ798本、やなぎらんノ364本ハ主ナルモノニシテ、たちまんねんすぎ98本、よつばひよどりばな54本、ひめむかしよもぎ42本、かうぞりな41本、のげし37本、えぞやまあざみ30本等之ニ次グ。ししがしらノ11本及はんごんさうノ10本ハ本區劃地中比較的蔭地ニ於テ認メタルモ、他ハイヅレモ陽向性植物ニシテ山火跡地ニ生ジ易キ種類ナリ。

(58)

一般=是等灌木及下草ノ喬木稚樹=比シ比較的大ナル數ヲ示スハ擇伐後日尙淺ク幼樹ノ未ダ林型ヲ構成シ得ザル間=山火=襲ハレソノ被害大ナリシヲ示スモノナリ。

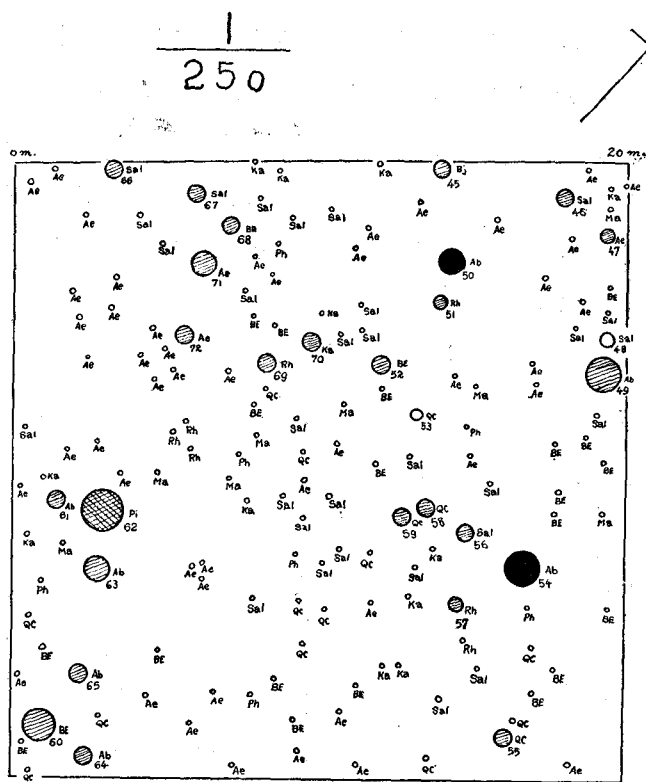
C. 蔓莖類=ツキテ

蔓莖類ノ本區劃地内=於ケル分布ハ次ノ如シ。

いはがらみ 58 つたうるし 45 またたび 49 やまぶだう 5

是等蔓莖類中いはがらみ58本、またたび49本、つたうるし45本等ハソノ主ナルモノナルモイヅレモ幼少ナリ。

Fig. B



枯樹木    
  伐根    
  黒燒木

Ab	とびまつ	Pi	えぞまつ	BE	だけかんば
Sal	ばつこやなぎ	Ph	しころ	Bj	しらかんば
Ae	たらのき	Ka	せんのき	QC	みづなう
Rh	やまうるし	Ma	ほとのき		

第二標準區劃地調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (種)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高直徑	伐 採 高	備 考
45	しらかんば	Bj	3		枯損木
46	ばつこやなぎ	Sal	7		同
47	たらのき	Ae	3		同
48	ばつこやなぎ	Sal	7		同
49	とどまつ	Ab	30		同
50	同	〃	25		黒焼木
51	やまうるし	Rh	3		枯損木
52	だけかんば	BE	3		同
53	みつなら	Qc	3		同
54	とどまつ	Ab	35		黒焼木
55	みつなら	Qc	3		枯損木
56	ばつこやなぎ	Sal	5		同
57	やまうるし	Rh	3		同
58	みつなら	Qc	5		同
59	同	〃	4		同
60	だけかんば	BE	25		同
61	とどまつ	Ab	5		同
62	えぞまつ	Pi	41	120	伐採木
63	とどまつ	Ab	16		枯損木
64	同	〃	4		同
65	同	〃	3		同
66	ばつこやなぎ	Sal	3		同
67	同	〃	3		同
68	だけかんば	BE	3		同
69	やまうるし	Rh	3		同
70	せんのき	Ka	3		同
71	たらのき	Ae	4		同
72	同	〃	3		同



類 種 名		Q (16m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	だ げ かん げ	3	4	—	2	5	3	3	5	1	1	4	5
	う だ い かん げ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	し ら かん げ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	や ま う る し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひ ろ は の き ば だ	2	5	—	5	2	—	—	2	3	15	2	—
	み づ な ら き	4	2	—	2	6	6	4	4	9	4	5	1
	ほ ほ の き	—	—	—	1	4	5	2	—	1	2	—	—
	べ に い た や	—	1	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	せ ん の き	—	—	—	1	3	15	—	5	1	2	—	—
	げ つ こ や な ぎ	—	—	—	2	—	4	18	2	11	5	—	—
	こ し あ ぶ ら き	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	け や ま は ん の き	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	し ろ さ く ら き	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	た ら の き	26	54	13	9	15	25	23	32	27	6	7	5
木、 灌	え ぞ に は と こ	—	2	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	の り の き	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	む し か り	17	18	3	11	8	3	3	12	5	1	7	1
	は な ひ り の き	18	6	14	12	40	17	28	37	7	16	11	16
	み や ま が ま づ み	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—
	は ひ い ぬ つ げ	5	1	4	9	3	1	—	—	2	2	3	3
	え ぞ い ち こ み	92	141	46	62	129	69	153	80	54	51	28	32
	つ る し き	18	5	—	3	5	—	—	—	1	1	1	—
	* さ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	草	や な ぎ ら ん	11	9	8	19	22	20	8	7	27	23	11
え ぞ あ ざ み		—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
え ぞ や ま あ ざ み		6	14	5	—	—	4	1	—	—	—	—	—
か う ぞ り な う		1	—	—	—	—	1	—	—	—	4	1	1
は ん ご ん さ う		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
の げ し		2	1	—	1	1	—	1	1	1	—	—	2
う げ ど		1	—	3	—	—	1	—	—	—	3	—	1
よ つ ば ひ よ ど り ば な		5	3	2	1	—	—	—	—	—	—	7	8
ひ め む か し よ も ぎ		3	3	2	7	2	1	1	2	1	1	—	—
あ き の き り ん さ う		1	—	1	—	—	2	1	—	—	—	—	—
た ち ま ん ね ん す ぎ		24	19	2	14	11	—	—	—	—	—	—	—
し し が し ら		—	8	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—
わ ら び		—	—	—	—	—	—	—	—	14	49	13	11
や ま は は こ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
蔓 莖	や ま ぶ だ う	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	い は が ら み	15	7	1	5	—	—	4	—	1	—	1	7
	つ た う る し	7	2	4	1	—	2	2	1	3	2	3	6
	み や ま た た び	—	—	—	—	1	3	—	5	2	4	—	1

\* ささハ 1m<sup>2</sup>ニ平均約45本ナリ。

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
2	—	3	2	7	15	6	8	—	10	1	2	—	92	2	5
—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	6	—	—	—	—	4	2	6	6	10	11	45	1	2
—	—	—	—	1	4	5	5	2	10	4	3	3	73	1	4
—	4	1	—	—	1	—	—	—	—	1	1	1	56	2	4
4	—	1	1	2	4	1	3	2	—	—	—	6	39	1	3
—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4	1	1
9	1	5	3	—	—	8	10	2	9	8	—	4	86	2	4
9	18	—	3	—	6	7	22	4	9	5	2	—	127	2	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
3	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	7	1	1
6	44	19	8	23	60	51	72	69	52	78	66	38	828	4	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	7	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	9	1	1
2	—	—	—	—	1	—	3	—	3	6	8	4	116	2	4
21	9	5	2	4	1	—	6	—	11	7	14	3	305	2	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
8	9	2	8	1	6	8	1	1	1	1	4	1	84	1	5
40	9	22	17	46	94	92	40	63	64	93	149	147	1813	4	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5
10	22	20	13	4	4	26	20	7	7	26	13	19	364	2	5
—	—	1	—	—	—	—	1	3	3	5	—	—	15	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	1	1
1	—	6	3	4	1	1	1	5	5	4	2	—	41	1	4
3	—	—	—	—	—	1	2	—	1	1	1	—	10	1	2
2	—	2	5	10	3	—	3	—	1	—	—	1	37	1	4
—	2	2	—	3	—	—	1	—	4	—	—	—	21	1	2
6	—	2	—	—	1	1	—	3	10	5	—	—	54	1	3
—	—	4	—	3	1	6	1	—	3	1	—	—	42	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	4	—	11	1	2
1	5	9	4	—	—	—	—	—	2	1	—	6	98	1	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	1	1
27	64	139	128	126	92	90	30	—	2	—	13	—	798	3	3
—	—	8	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	1	1
—	—	—	—	—	1	—	—	—	4	—	—	—	5	1	1
—	1	3	—	—	1	—	3	6	—	—	—	3	58	1	3
—	1	2	—	2	1	—	—	1	4	—	—	1	45	1	4
—	4	7	6	—	—	—	8	5	2	—	1	—	49	1	3

### 3. 第三標準區劃地

#### 位置及地況

八線西山附近ト稱スル 箇所即チ第一第二標準區劃地ニ續ク陽向山稜地ニシテ海拔約100米地圖上ノC點ナリ。C點附近ハ西南ニ面シ傾斜約10度ヲ有シ、土性ハ埴質壤土ニシテ腐植土ナク表土ハ黒色ニシテソノ厚サ約3種ナリ。

#### 林 況

本標準區劃地並ニソノ附近ハ1911年、1914年、1926年、1929年ノ前後四回ニ亙ル 山火跡地ニシテ全ク林地荒廢シ無立木地帯ナリ。殊ニ山稜附近ニ於テハソノ被害甚シ。

往時ハ潤過混淆林ナリシモノノ如ク、本標準地ノ周圍約20米附近ニハ直徑40種以上ノだけかんば11本アリ。ソノ他えぞまつ、とどまつ、みづなら等ノ燒損木各處ニ散在ス。稚樹トシテハばつこやなぎノ外、稀ニほほのきアルノミナリ。笹類ハ數回ノ山火被害ノタメ、ソノ發生割合ニ少ナシ。えぞいちご、ひめむかしよもぎ、やなぎらん、のげし等ヨク繁茂シ、下方ノ溪側ニ沿フテハはんごんさう、うど等生ズ。

#### 區 劃 地

Fig. C (63頁) ハ25平方米ノ標準區劃地ニシテ主要木本ノ位置圖ヲ示セルモノナリ。區劃地内ニハとどまつノ燒失枯損木2本、腐朽根1株アリ。更ニ又各種植物ノ分布ヲ數的ニ表示センニ第三表ニ於ケルガ如シ。

#### A. 主要木本ニツキテ

本標準區劃地内ニ生ズルハ樹高1米内外ニ達セルばつこやなぎノミニシテソノ本數44本ヲ數フ。之本區劃地附近ハ四回ノ山火ノタメソノ被害甚シク全ク原林樹種ヲ失ヒシタメナリ。而シテ唯ばつこやなぎニ依リテ新ニ第二次林ヲ構成セントスル初期ノ状態ヲ示ス。

#### B. 灌木竝ニ下草ニツキテ

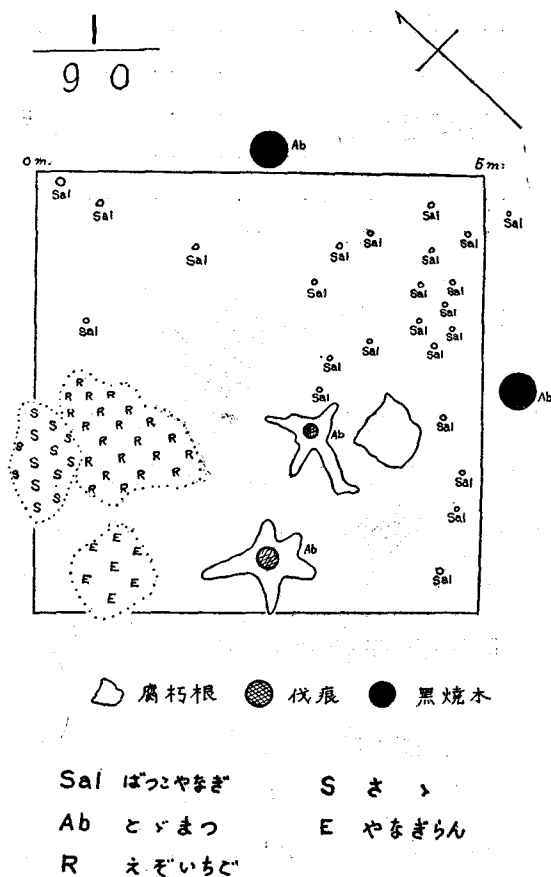
本區劃地内ニ於ケル主ナル灌木竝ニ下草ノ本數次ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
さ さ	161	や な ぎ ら ん	56
え ぞ い ち ご	136	お に の げ し	25
ひめむかしよもぎ	190	た ん ぼ ぼ 類	14
はんごんさう	183	か う ぞ り な	6
の げ し	148		

本表中ひめむかしよもぎ190本、はんごんさう183本、えぞいちご136本、のげし148本等ハ本區劃地ノ主要ナル種類ナリ。此ノ中はんごんさうヲ除クノ外ハ概ネ陽向性且ツ多種子植物ニシテ山火跡地ニ於ケル代表的種類ナリ。はんごんさうハイヅレモ幼少ナルモノニシテ未ダ開花期ニ至ラズ。ソノ被覆ノ度合ハ他ノ種ニ比シ割合ニ僅少ナリ。笹類ハ1米ニ達セズ。ソノ本數161本ニシテ本標準地附近トシテハ比較ノ少ナシ。

以上總合シテ見ルニ灌木並ニ下草ニ比シ木本ノ數少ナキハ如何ニ山火ノ被害甚シカリシカヲ明ニ立證セルモノニシテ、且ツ之ガ第二次林構成ニ遷移スベキ最モ初期ノ階程ト推察シ得ベキモ、周圍ノ立地ノ關係ヨリ考察スレバソレガ構成ニ稍々不利ノ状態ニアルヲ考慮セザル可カラズ。

Fig. C



類 種 名		Q (1m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木本	ばつこやなぎ	—	—	—	1	6	—	—	1	—	1	—	—
灌木、 笹	えぞいちご さ	20 32	49 45	10 5	— 8	— 3	21 —	26 8	9 —	— —	— 2	1 1	— 1
草      本	ひめむかしよもぎ	1	—	7	12	12	5	3	5	10	—	4	7
	のげし	1	—	2	5	6	4	1	3	3	—	2	9
	はんごんさう	—	—	5	14	13	4	2	6	13	4	5	10
	たんぼほ類	1	—	—	1	1	1	1	4	—	—	1	—
	やなぎらん	5	—	2	2	7	3	2	1	2	1	—	5
	おほぶき	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	かうぞりな	—	1	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—
	おにのげし	—	—	—	—	—	—	—	2	3	—	—	—
きつりふね	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
う	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

#### 4. 第四標準區劃地

##### 位置及地況

第三標準區劃地ヨリ東北方約600米ノ山稜地帯ニシテ海拔約140米地圖上ノD點ナリ。本標準區劃地ハ殘存木極メテ多キ上部傾斜地ト山火被害著シキ山背トノ接觸地點ニ引ケル長サ10米、巾2米ノ„ベルトトランセクト”ニシテ、ソノ東南斜面即チ山火被害ノ著シキ山背ハ東南向約23度ノ傾斜地ナリ。土性ハ赤褐色ノ砂土ニシテ腐植土ナク厚サ約3種ノ帶黑色ノ表土ヲ有ス。西北斜面即チ上部傾斜地ハ西北向約30度ノ急傾斜地ニシテ土性ハ全ク東南斜面ト同一ナルモ一面ニ腐植土被ヒ、ソノ厚サ5—6種ナリ。

##### 林 況

西北側、上部傾斜地附近即チ被害少ナキ斜面ハ概ネ潤葉樹ノ殘存木ナルモ若干ノ針葉樹ヲ混生ス。潤葉樹種トシテハみづなら、いたや、せんのき、しなのき、あづきなし、みやまはんのき、ななかまど等アリ。混生針葉樹ハ主トシテとどまつニシテ稀ニおんこヲ混ズ。樹下ニハむしかり、のりのき、こえうらく、みやまがますみ、つるつげ、つるしきみ、みやますみれ、ししがしら、つばめおもと等生ジ、はんごんさう等ヲ混生ス。稚樹トシテハななかまど最多ニシテうだいかんば、ばつこ

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
—	1	—	—	—	4	4	3	1	3	3	13	3	44	2	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	136	3	2
—	—	—	16	—	1	—	—	—	—	15	24	—	161	4	3
9	6	6	5	7	14	14	8	12	15	7	8	13	190	5	5
6	6	1	5	2	8	8	14	17	12	14	16	3	148	4	5
7	11	7	5	2	10	10	15	4	5	7	10	14	183	3	5
1	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	14	1	2
—	5	—	2	1	8	4	1	1	4	—	—	—	56	3	4
—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	6	1	1
—	1	1	1	—	2	1	—	—	—	—	—	14	25	2	2
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	1	1

やなぎ、みづなら、たらのき等之ニ次グ。之等ノ稚樹ハイヅレモノノ樹齡4—5年生ノモノニシテ1926年ノ山火後發生セルモノナリ。笹類ハねまがりニシテソノ數割合ニ少ナシ。

東南側、山背附近即チ山火被害ノ著シキ斜面ハ第三標準地附近ト同様前後四回ノ山火被害地ナリ。從ツテ稚樹ノ發生少ナク小溪ノ源ニ向ヘル窪地ニ生ズル主ナルモノヲアグレバせんのみ、たらのき、えぞにはとこ、やまうるし、えぞいちご等アリ。草本トシテハよつばひよどりばな最モ多ク、はんごんさう、うど等之ニ次ギ、やまぶだう等ノ蕁草類モ亦生ズ。

#### 區劃地

本標準區劃地内及ソノ附近ノ主ナル木本ノ位置ヲ圖示センニ Fig. D ノ如シ。(67頁) 圖中A側ハ山火被害ノ甚シキ山背ニシテB側ハ被害ノ程度僅少ナル殘存木多キ斜面ナリ。更ニ又此ノ兩區劃地内ニ於ケル植生状態ヲ數量ヲ以テ表示センニ第四表ノ如シ。今是等A B兩區劃地ヲ比較シテ見ルニ次ノ如シ。

#### A. 主要木本ニツキテ

A側ニ於テハとどまつノ伐根2、黒燒木1本アリ。喬木ト見ルベキモノ1本モナク僅ニやまうるし1本、うだいかんば1本ノ稚樹ヲ數フルニ過ギズ。之ニ反シテB側ニ於テハとどまつノ伐根3、え

ぞまつノ焼損木1本アリ。稚樹ノ數量ハ次ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
やまうるし	28	ななかまど	4
うだいかんば	6	ばつこやなぎ	2
せんのき	4	みづなら	2

表中やまうるし28本ハ最モ著シキモイヅレモ幼少ニシテ樹齡1年乃至2年生ノモノナリ。之ニ次ギうだいかんば6本、せんのき4本、ななかまど4本等ハソノ主ナルモノナリ。而シテB側ニ於ケル是等幼木中うだいかんば、ななかまど、ばつこやなぎ、みづなら等ハイヅレモソノ樹高70種乃至110種ニ達シ、ソノ樹齡4—5年生ノモノナリ。

B. 灌木並ニ下草ニツキテ

A、B兩區劃地内ニ於ケル主ナル灌木並ニ下草ノ分布ハ次ノ如シ。

種 名	本 數		種 名	本 數	
	A	B		A	B
さ さ	241	117	かうぞりな	—	20
えぞいちご	91	86	ひめむかしよもぎ	7	4
はなひりのき	6	36	たちまんねんすぎ	6	20
はひいぬつけ	—	13	の げ し	4	1
むしかり	—	7	つばめおもと	—	7
のりのき	—	1	みやますみれ	—	10
おほまひづるさう	25	103	やまぶきしやうま	—	10
はんごんさう	30	11	やまにがな	—	13
やなぎらん	23	8			

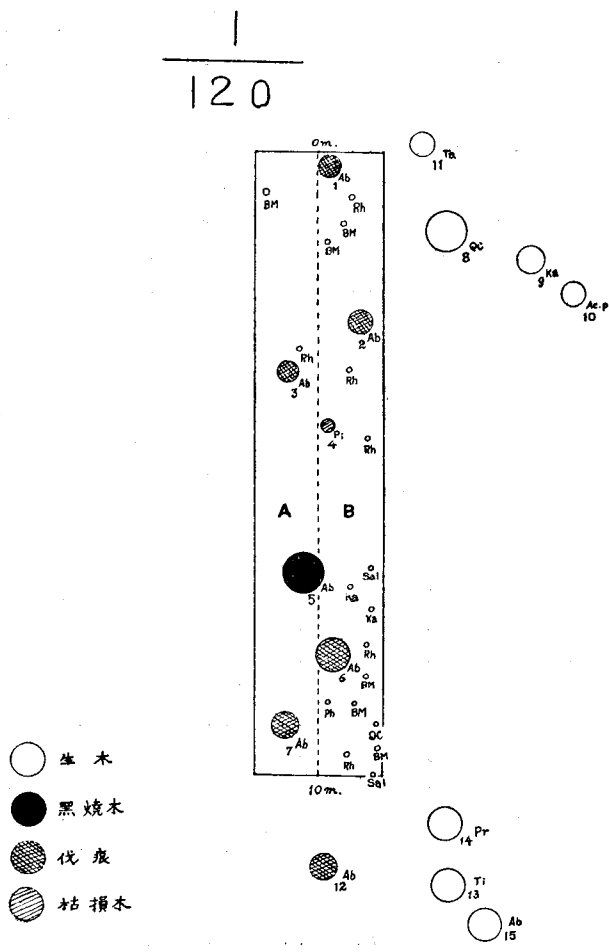
以上總括シテ見ルニ灌木ニアリテハB側はなひりのき36本、はひいぬつけ13本、むしかり7本ニ對シ、A側はなひりのき6本ニシテ他ヲ缺クモ、えぞいちごハB側ノ86本ニ對シA側91本ヲ示セリ。而モB側ノえぞいちごノ原生ハA側ノ方ニ寄レリ。笹類ハA、B兩區劃地トモ著シキモ、A側、241本、B側117本ニシテ、A側ニ於テ遙ニソノ數大ナリ。ソノ他A側ニ於テハやなぎらん、はんごんさう、のげし、ひめむかしよもぎ等イヅレモB側ノソレ等ヨリ優勢ナリ。えぞいちご、やなぎらん、はんごんさう、ひめむかしよもぎ、のげし等ハ總テ山火後ソノ跡地ニ速ニ移動シ且ツ生ジ易キヲ明ニ立證セルモノナリ。之ニ反シB側ニ於テ、おほまひづるさう、たちまんねんすぎ、やまにがな、やまぶきしやうま、つばめおもと、みやますみれ等ノ比較的陰性ヲ好ム植物ノ多キハ殘存木ニ

依り林地被蔭セラルルヲ以テナリ。

C. 蔓莖類ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル蔓莖類ノ主ナルモノハいはがらみ、つたうるしニシテ兩種トモA側ニ於テハ之ヲ缺キ腐植土ヲ有スルB側ニ於テノミ認メタリ。而シテソノ數ハいはがらみ45本、つたうるし25本ナリ。

Fig. D







表

		B												
D	K	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	S	D	K
-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	1	-	6	2	2
-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	4	1	1
+	1	5	3	2	2	2	1	5	-	3	5	28	2	4
-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4	1	1
-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	+	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	+	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	+	1
-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	7	1	1
1	1	2	-	2	3	2	6	21	-	-	-	36	2	2
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	±	1
-	-	1	-	5	-	-	-	1	2	4	-	13	1	2
4	5	7	8	3	20	13	5	2	8	7	13	86	4	5
5	5	11	10	10	13	9	12	18	12	14	8	117	5	5
1	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4	+	1
-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2	+	1
-	-	-	2	-	1	3	-	-	-	-	-	6	1	1
2	2	-	-	-	6	4	-	-	-	1	-	11	1	1
-	-	3	1	4	4	2	-	-	-	-	5	19	2	2
-	-	2	-	1	-	-	-	-	3	1	-	7	1	1
2	3	-	-	-	-	1	2	-	-	1	-	8	1	1
1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	1	+	1
1	1	-	-	-	-	-	-	7	5	-	6	20	2	1
1	1	12	15	16	-	5	-	20	21	4	10	103	2	4
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	1	1
-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	2	7	1	1
-	-	5	-	-	-	-	-	-	2	1	2	10	1	1
-	-	2	6	1	-	-	-	-	1	-	-	10	1	1
-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1
-	-	7	3	2	2	4	-	2	-	-	-	20	2	2
-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1
-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	+	1
-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	+	1
-	-	-	2	2	-	-	3	-	-	-	-	7	+	1
-	-	-	-	-	-	2	10	1	-	-	-	13	1	1
-	-	-	1	7	2	-	2	7	3	3	-	25	2	3
-	-	5	-	-	-	3	2	9	8	13	5	45	2	3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	+	1

67頁圖版調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (種)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高直徑	伐 採 高	備 考
1	とどまつ	Ab	10	100	伐採木
2	同	〃	24	110	同
3	同	〃	15	100	同
4	えぞまつ	Pi	8	—	枯損木
5	とどまつ	Ab	50	—	黒焼木
6	同	〃	27	100	伐採木
7	同	〃	23	100	同
8	みづなら	Qc	45	—	
9	せんのき	Ka	30	—	
10	いたや	Ac. p	20	—	
11	おんこ	Ta	15	—	
12	とどまつ	Ab	21	120	伐採木
13	しなのき	Ti	27	—	
14	しろざくら	Pr	20	—	
15	とどまつ	Ab	27	—	

## 5. 第五標準區劃地

## 位置及地況

八線ノ澤沿、二俣ヨリ北方約50米ノ地點即チ南北ニ走レル稜ノ南向緩斜地、地圖上ノE點ナリ。本地點附近ハ南西ニ約10度ノ傾斜ヲナシ土性ハ上部暗黒色ノ砂質壤土、下部ハ淡黄色ノ砂土ニシテイヅレモ礫及角礫ヲ含マズ。腐植土ハ附近一帯ニ地表ヲ被ヒソノ厚サ約6糎内外ナリ。

## 林 況

本標準區劃地並ニソノ附近ハ嘗テ針濶混淆林ナリシモ山火ノ被害ト伐採トニヨリ全く往時ノ林型ヲ失ヒ純然タル第二次林型ヲ呈ス。地元住民ノ言ニヨレバ1924年山火ノ被害ヲ受ケ、同年殘存木ヲ擇伐又ハ皆伐セリト言フ。標準地ノ上部山稜附近ニ於テハみづなら、うだいかんば、だけかんば、ばつこやなぎ等ノ稚樹ヨク發生スルモ母樹ト見ルベキ喬木殆トナク、ソノ東方約70米附近ハ山火ノ入ラザリシ處ニシテ、あかえぞまつ、とどまつ、みづなら、ななかまど、いたや、べにいたや等ノ針濶混淆林ヲナス。又區劃地ノ下方即チ西南面ノ低地附近ハ比較的濕潤地ニシテ、けやまはんのき多ク、みづなら、しらかんば、だけかんば等生ジ、稀ニとどまつ、えぞまつ等混生ス。一般ニ標準地ノ周圍、山火ノ害ヲ蒙リシ附近ニハ殘存木少ナク、樹下ニハねまがりだけ密生シ、えぞにはとこ、のりのき、むしかり、えぞいちご等多ク生ズ。やなぎらん、えぞあざみ等陽光地附近ニ多ク、之ニ

反シ低地附近ニハみみかうもり、かさすげ等ヨク繁茂ス。

### 區劃地

本標準區劃地ハ100平方米ニシテ區劃地内ニハ末口直徑各々39種、46種ノあかえぞまつノ伐採木2本横ハル。今區劃地内ノ主要木本ニツキテ圖示センニ Fig. E (73頁) ノ如シ。更ニ又各種植物ノ分布状態ヲ數量ニテ表示センニ第五表ニ於ケルガ如シ。

#### A. 主要木本ニツキテ

本標準地ハ山火後六年ノ林地ニシテ區劃地内ニハ胸高直徑14種ノあかえぞまつノ焼損木及11種ノばつこやなきノ枯損木各々1本ヅツアリ。今主要木本ノ本數ヲアグレバ下表ノ如シ。

種名	本數	種名	本數
ひろはのきはだ	137	みづなら	9
しらかんば	60	いたや	5
ばつこやなき	28	とどまつ	2
だけかんば	24	ほほのき	1
うだいかんば	9	たらのき	13

表中しころハ最多ニシテ137本ニ達シ之ニ次ギしらかんば60本、ばつこやなき28本、だけかんば24本等ハ比較的優勢ナリ。是等ノ中、しころハ本區劃地内ニ於テハ優占種ナルモ、未ダ幼少ニシテ笹類ソノ他ノ樹種ニ依ツテ被壓セラルルノ状態ニアリ。更ニ樹高ヨリ觀察スレバしらかんば、ばつこやなき、だけかんば等ハソノ生長最モ良好ニシテ最高2米40種ニ達セルモノアリ。然モソノ數量ニ於テモ比較的優勢ナル點ヨリ考察スレバ、しらかんば、ばつこやなき、だけかんば等ヲ混生スル純然タル二次幼林ヲ構成スルモノナリ。而シテココニ注意スベキハとどまつ2本ノ稚樹ニシテ一ハ腐朽木上ニ他ハ笹類割合少ナキ箇所ニ生ゼリ。而シテソノ樹高各々7種、樹齡2年生幼木ナリ。之恐ラクとどまつヲ混生スル潤葉樹林ニ赴ク第一歩ヲ指示スルモノナラン。

#### B. 灌木並ニ下草ニツキテ

本標準區劃地内ニ於ケル主ナル灌木並ニ下草ノ數量ハ下表ノ如シ。

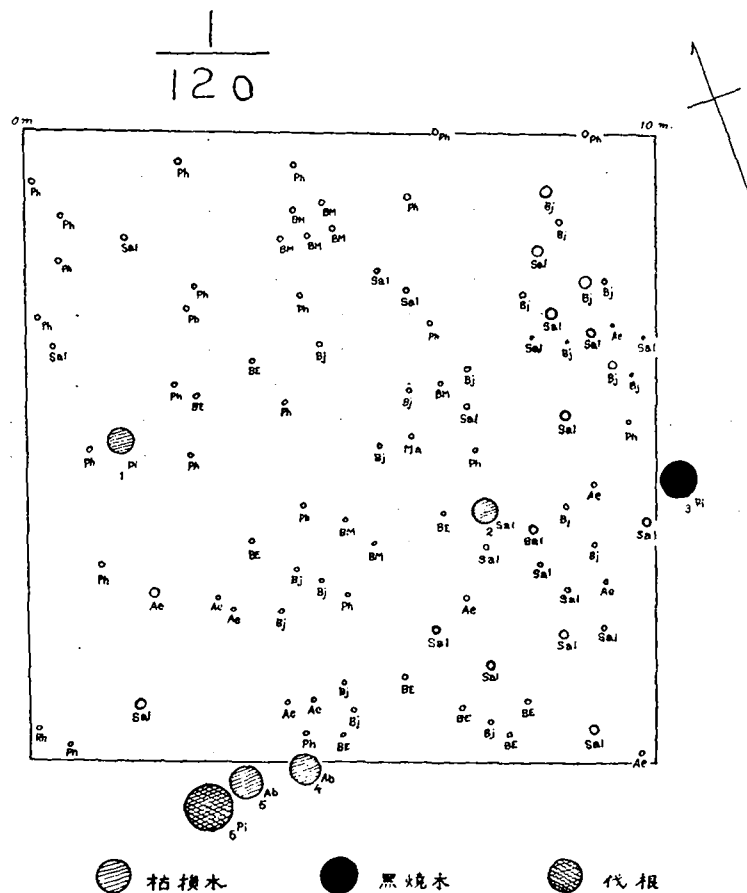
種 名	本 数	種 名	本 数
さ さ	2572	えぞつりばな	4
えぞいちご	755	えぞかさすげ	881
むしかり	156	ひめいちげ	181
のりのき	52	よつばひよどりばな	82
えぞにほとこ	43	おほまひづるさう	67
はなひりのき	38	やなぎらん	38
はひいぬつけ	38	みみかうもり	27
つるしきみ	10	はんごんさう	16
おほばすのき	5	わらび	5

上表ノ灌木中えぞいちご755本ハ最多ニシテ本區劃地内ノ代表的種類ナリ。之ニ次ギむしかり156本ハ比較的優勢ナルモ、イヅレモ幼少ニシテ笹類竝ニ木本類ノ下壓ノモトニアリ、僅ニソノ生育ヲ保持スル状態ニアリ。はなひりのきハ本標準區劃地中稍々乾燥陽向地ニ於テノミ分布シ、はひいぬつけト共ニソノ數多キニ比シ極メテ矮少ナリ。笹ハ下草中最モ主要ナル位置ヲ占メ、區劃地内一様ニ分布セリ。更ニ下草ノ主ナルモノハかさすげ(?)881本、ひめいちげ181本、よつばひよどりばな82本、おほまひづるさう67本、やなぎらん38本等ナリ。かさすげ(?)ハ最多ノ數ヲ示スモ濕潤地ニ於テ小群落ヲナスノミ。やなぎらん、わらび等ノ他ノ種ニ比シ比較的少ナキハ山火後土地稍々陰濕地ナルト笹ヲ伴ヘル第二次林ノ構成トニ起因スルモノニシテ陰性植物優勢トナリ漸次陰性ヘノ遷移ヲ起スモノナリ。

### C. 莖莖類ニツキテ

莖莖類中本區劃地内ニ於ケル主要ナルモノハ、つたうるし164本、いはがらみ160本、やまぶだう3本ヲ數フルモソノ數ニ比シイヅレモ幼少ニシテ地表ヲ蔓延スルニ過ギズ。

Fig. E



Ph じころ      Ab とどまつ      Bj しらかんば  
 Sal ばつこやなぎ      Pi えぞまつ      BM うだいかんば  
 Ae たるのま      BE だけかんば      Ma ほいのま

上圖調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (釐)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高	直 徑	伐 採 高	備 考
1	えぞまつ	Pi	14	—	—	枯損木
2	ばつこやなぎ	Sal	11	—	—	同
3	えぞまつ	Pi	20	—	—	黒焼木
4	とどまつ	Ab	14	—	—	枯損木
5	同	〃	20	—	—	同
6	えぞまつ	Pi	65	—	100	伐採木

類	種名	Q (4m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	しらかんば	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	4	2
	だけかんば	—	—	—	—	—	—	1	—	3	1	—	—
	うだいかんば	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひろはのきはだ	5	6	4	13	2	2	12	8	6	6	4	6
	みづな	—	—	—	—	2	—	1	2	—	1	—	—
	ほほのき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	いたや	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	げつこやなぎ	—	1	1	—	1	—	1	1	—	—	1	—
本	たらのき	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	3	—
	とどまつ	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
灌木、笹	えぞにはとこ	4	1	5	7	—	1	3	4	3	—	1	—
	のりのき	—	—	—	—	8	—	11	—	5	—	—	—
	むしかり	—	19	—	2	—	8	2	1	10	8	14	4
	はなひりのき	—	—	—	2	2	—	8	5	1	6	—	6
	おほばすのき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	はひいぬつげ	—	—	—	—	1	1	—	—	1	3	2	—
	えぞつりばな	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	つるしきみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	えぞいちご	45	36	54	24	31	44	16	29	22	24	30	24
	さ	54	129	90	70	108	96	103	75	192	178	129	156
草、羊齒	よつびよどりばな	—	3	—	—	—	—	—	3	1	—	—	—
	わらび	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	かさすげ	51	28	42	37	5	11	3	20	—	—	36	—
	はんごんさう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	みみかうもり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	かうぞり	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	—	—
	かうぞり	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	やなぎらん	1	2	—	—	2	1	2	5	2	3	—	4
	えぞあざみ	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	えぞやまあざみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひめいちげ	—	12	3	7	7	3	15	7	15	5	29	20
	おほみづるさう	—	1	—	1	6	1	6	3	1	2	7	1
	たんぼほ類	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
ひめむかしよもぎ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
やまはは	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
蔓、莖	いはがらみ	2	11	6	1	6	—	10	8	4	6	11	9
	やまぶだう	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
	つたうるし	—	10	1	7	11	9	9	2	8	9	8	17
	みやままたた	—	—	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
3	6	2	—	1	10	—	6	3	3	2	4	13	60	4	3
3	—	—	1	1	2	1	—	1	6	3	—	1	24	2	3
4	2	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	9	1	1
3	7	3	2	5	8	6	9	5	2	2	1	10	137	2	5
—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	—	9	1	2
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	5	1	1
—	—	1	2	—	2	2	1	5	3	1	4	1	28	2	4
—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	2	1	13	1	2
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
1	—	4	—	1	2	3	1	—	—	—	—	2	43	1	4
—	—	—	2	—	1	5	—	4	4	1	7	4	52	2	3
15	8	3	9	9	9	9	5	9	4	5	1	2	156	2	5
—	4	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	38	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	1
—	2	1	2	4	5	2	—	1	—	4	—	9	38	1	3
—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	2	—	4	—	—	—	—	—	—	1	10	1	1
44	21	77	33	30	33	31	36	4	9	12	21	25	755	3	5
124	159	65	155	104	107	99	63	65	51	85	48	67	2572	5	5
2	—	—	—	—	—	4	17	6	16	17	2	11	82	2	3
—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	5	1	1
29	—	16	23	6	61	40	89	63	57	84	150	30	881	3	5
1	—	—	—	1	—	3	—	2	—	4	1	4	16	1	1
—	—	—	—	—	1	—	—	14	—	8	4	—	27	1	1
1	—	2	1	—	—	1	—	1	1	1	—	—	12	1	2
1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	1	—	—	—	3	—	—	2	—	10	38	1	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2	1	1
7	12	4	17	—	—	13	1	1	—	3	—	—	181	1	4
1	10	—	6	4	11	6	—	—	—	—	—	—	67	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	+	1
—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	1	4	1	1
15	8	3	14	9	20	11	—	3	—	1	—	2	160	1	5
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
16	9	4	18	8	6	4	2	—	2	—	4	—	164	1	5
—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	3	—	9	1	2



### 6. 第六標準區劃地

#### 位置及地況

八線ノ澤即チ八線看守所ヲ去ル北方約1000米ノ地點ニシテ地圖上ノF點ナリ。而シテ本標準區劃地ハ農耕豫定地ノ一部ニ屬シ土地全ク平坦ニシテ礫又ハ角礫ヲ含マザル暗黑色ノ砂質壤土ヨリ成ル。腐植土ハ5—6糎ノ厚サヲ有シ一面ニ地表ヲ包被ス。

#### \* 林 況

本標準地並ニソノ附近ハ、1929年一回ノ微弱ナル山火跡地ニシテ、更ニ同年殘存セル燒損枯損木ヲ擇伐セン處ニシテ鬱閉比較的疎開セリ。ソノ被害ノ程度モ極メテ僅少ニシテ樹冠火又ハ微弱ナル地表火ニ止マル。此ノ附近ニ於ケル喬木殘存木ニアリテハ潤葉樹主ナルモノニシテ、ソノ中みづなら最モ多クいたや、べにいたや、だけかんば等之ニ次ギ、時ニほほのき、こしあぶら等生ズ。とどまつ、えぞまつノ針葉樹ハ是等潤葉樹ノ間ニ處々ニ混生セリ。更ニ低地又ハ濕潤地附近ニ於テハけやまはんのき、やちだも、あかだも等生ゼリ。林下ハ笹類最モ優勢ニシテ全ク之ニ依ツテ獨占セラレ、一見他ノ樹種發生ヲ阻害セル状態ナリ。笹類比較的少ナキ箇所ニ於テハだけかんば、みづなら、ほほのき、せんのき、いたや等ノ稚樹發生シ、稀ニ腐朽木上又ハ樹莖ニ於テとどまつノ生ゼルヲ見ル。草本類ノ發生モ亦少ナク、ソノ主ナルモノハはんどんさう、みみかうもり、えぞしやうま等ナリ。

#### 區 劃 地

本標準區劃地ハ20米平方ニシテ區劃地内ニ於ケル主要木本ノ位置ヲ示サンニ Fig. F (80頁) ノ如シ。更ニ又各種植物ニツキソノ數量ヲ以テ分布状態ヲ表示センニ第六表ニ於ケルガ如シ。

#### A. 主要木本ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル胸高直徑3糎以上ノ喬木ハ別圖 (Fig. F) ニ附シテ示セルモココニ總括シテ示サンニ次ノ如シ。

樹 種 名	本 數	樹 種 名	本 數
と ど ま つ	17	お ん こ	2
み づ な ら	11	べ に い た や	1
こ し あ ぶ ら	3	だ け か ん ば	1

是等ノ中とどまつ7本、みづなら1本、こしあぶら2本、おんこ2本ハ枯損木ナリ。更ニ伐採木トシテハとどまつ8本、みづなら4本、おんこ1本、せんのき1本ノ伐痕アリ。又喬木稚樹ニツキソノ本數ヲ表示セバ次ノ如シ。

\* 別圖78頁第六標準區劃地附近ニ於ケル主要樹木位置圖参照。

種名	本数	種名	本数
せんのき	510	いたや	12
だけかんば	434	べにいたや	12
ひろはのきはだ	305	ばつこやなぎ	6
みづき	142	ななかまど	4
みづなら	111	たらのき	2
とどまつ	45	えぞまつ	1
ほほのき	38	やまぐは	1
こしあぶら	16		

上表=示セル如ク數的=之ヲ見ルニ、せんのき510本ハ最多ニシテ、之=次ギだけかんば434本、しころ305本、みづき142本、みづなら111本等比較的優勢ナリ。然レドモ是等ノ稚樹ハイヅレモ幼少ニシテ殊=せんのき、みづき=於テハ總テ芽生状態ノモノナリ。とどまつ45本ノ割合=多キハ本標準地ノ被害ノ程度僅少ナル結果ニシテソノ樹高15種乃至17種ノモノ3本、他ハ總テ3種乃至10種ノモノノミナリ。えぞまつノ1本ハソノ樹高25種ニシテ前記ノとどまつ3本ト共=山火ノ被害ヲ免レシモノナリ。

一般=本區劃地=於テ喬木稚樹ノ發生良好ナルハ微弱ナル山火ノ却ツテ埋藏種子=刺戟ヲ與ヘ、ソノ發芽ヲ促進セシメシモノト推察シ得ベシ。而シテ前記ノ數量ト殘存林型トヨリ本標準地ヲ考察スレバ將來是等とどまつ、みづなら、だけかんば等主木トナリ漸次針濶混淆林型ヘ遷移シ得ル可能性ヲ有スルモノト推斷シ得ベク又殊=山地溪畔ノ林型推移ヲ考察スルコトヲ得ベシ。

#### B. 灌木並=下草=ツキテ

本區劃地内=於ケル主ナル灌木並=下草ノ本數ヲアグレバ下表ノ如シ。

種名	本数	種名	本数
むしかり	93	えぞあざみ	21
つるしきみ	24	えぞしやうま	15
えぞつりばな	16	やなぎらん	13
えぞにほとこ	11	ならぬしだ	17
えぞいちご	6	ほんごんさう	8
*きき	5033	のげし	6
おほまひつるさう	315	よつばひよどりばな	5
ひめいちげ	66	みみかうもり	4
かうぞりな	24		

\* 之ハ $\frac{1}{2} \times (20m)^2$ ノ本數ナリ。

(78)

前表ニ示セル如クさハソノ數極メテ多ク、之ヲ除外シテ考察スルニ灌木ハイヅレモ幼少ニシテ、むしかり93本、つるしきみ24本、えぞつりばな16本等ヲ數フ。下草ニアリテハおほまひづるさう315本、ひめいちげ66本ヲ除ク外ハ、比較的ソノ數少ナク、殊ニ陽向性植物ニ於テハ概シテ僅少ナリ。之本區劃地ハ被害ノ程度微弱ナルト殘存木ニヨリ未ダ鬱閉ヲ保持セルトニ起因スルモノナリ。

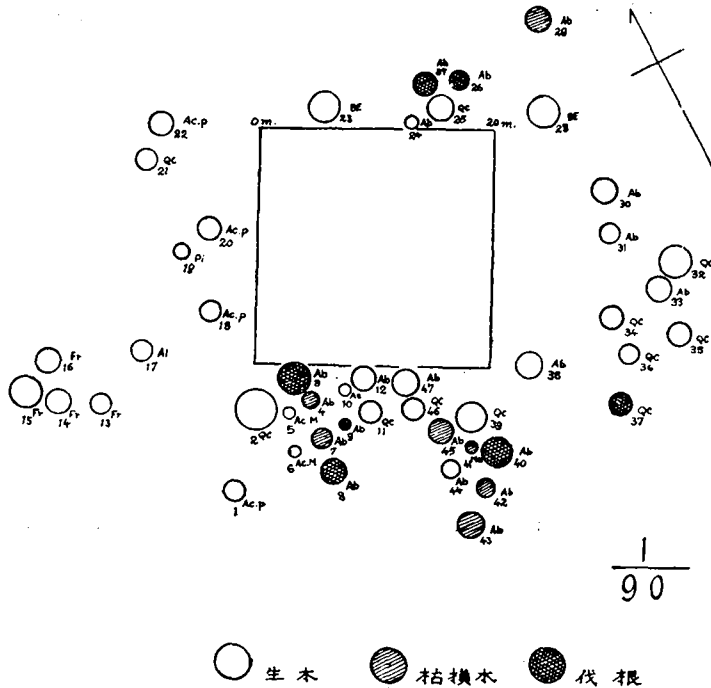
C. 蔓莖類ニツキテ

蔓莖類ノ本標準區劃地ニ於ケル分布ハ次ノ如シ。

つたうるし 620    いはがらみ 357    やまぶだう 11

是等蔓莖類中やまぶだうノ11本ヲ除ク他ノ兩種ハ最モ優勢ヲ極メ1米内外ニ伸長シ區劃地内各地ニ蔓延シソノ被覆ノ度合モ亦大ナリ。

第六標準區劃地附近ノ主要樹木位置圖

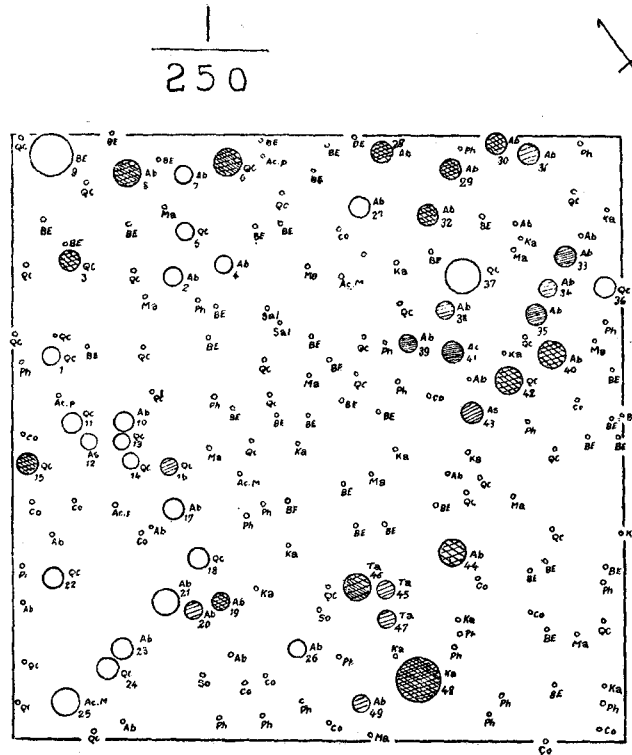


- |      |       |    |         |    |       |
|------|-------|----|---------|----|-------|
| Ab   | とらまつ  | Fr | やちだも    | BE | だけかんば |
| Ac.p | いたや   | Al | けやまはんのみ | AS | こしあぶら |
| Ac.M | べにいたや | Pi | えぞまつ    |    |       |
| QC   | みづなら  | Ma | ほよのみ    |    |       |

78頁圖版調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (種)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高	直 徑	伐 採 高	備 考
1	い た や	Ac. p	9			
2	み づ な	Qc	66			
3	と ど ま	Ab	55		100	伐採木
4		〃	3			枯損木
5	べ に 同 た や	Ac. M	7			
6		〃	5			
7	と ど ま つ	Ab	10			枯損木
8		〃	15		100	伐採木
9		〃	7		100	同
10	こ し あ ぶ ら	As	4			
11	み し づ な ら	Qc	14			
12	と ど ち ま だ つ も	Ab	19			
13		Fr	15			
14		〃	17			
15		〃	26			
16		〃	19			
17	け や ま ん の き	Al	9			
18	い え ぞ た ま つ や	Ac. p	8			
19		Pi	14			
20	い み づ た な や ら	Ac. p	40			
21		Qc	26			
22	い だ け た か 人 ば	Ac. p	15			
23		BE	45			
24	と み と づ ど ま な ま つ ら	Ab	12			
25		Qc	55			
26		Ab	10		100	伐採木
27		〃	19		100	同 (圖37)
28	だ け と 同 か 人 ば	BE	40			
29		Ab	15			枯損木
30		〃	42			
31	と み と づ ど ま な ま つ ら	〃	15			
32		Qc	47			
33		Ab	16			
34		Qc	25			
35		〃	20			
36		〃	20			
37		〃	12		100	伐採木
38	と み と づ ど ま な ま つ ら	Ab	43			
39		Qc	51			
40		Ab	45		100	伐採木
41		Ma	8			枯損木
42		Ab	13			同
43		〃	7			同
44		〃	3			
45		〃	24			枯損木
46	み づ な ら	Qc	37			
47	と ど ま	Ab	38			

Fig. F



○ 生木      ◐ 枯損木      ● 伐根

Ab とどまつ      Ac.M べにいたや      Ta おんこ  
 Pi えぞまつ      Ma ほりのき      BE だけかんば  
 As こしあぶら      Sal ばっこやなぎ      Co みづき  
 Ac.p いたや      So ないかまど      Ph しころ  
 Qc みづなら      Ka せんのみ

第六標準區劃地調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (糶)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高 直徑	伐 採 高	備 考
1	みづなら	Qc	17		
2	とどまつ	Ab	3		
3	みづなら	Qc	20	30	伐採木
4	とどまつ	Ab	3		
5	みづなら	Qc	16		
6	同	〃	44	70	伐採木

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高直徑	伐 採 高	備 考
7	と ど ま つ	Ab	6		
8	同	〃	15	90	伐採木
9	だ け か ん げ	BE	52		
10	と ど ま つ	Ab	8		
11	み づ な ら	Qc	12		
12	こ し あ ぶ	As	13		
13	み づ な ら	Qc	13		
14	同	〃	14		
15	同	〃	13	100	伐採木
16	同	〃	7		枯損木
17	と ど ま つ	Ab	17		
18	み づ な ら	Qc	21		
19	と ど ま つ	Ab	10	100	伐採木
20	同	〃	3		枯損木
21	同	〃	10		
22	み づ な ら	Qc	17		
23	と ど ま つ	Ab	6		
24	み づ な ら	Qc	7		
25	に い た や	Ac. M	7		
26	と ど ま つ	Ab	16		
27	同	〃	10		
28	同	〃	4	100	伐採木
29	同	〃	14	70	同
30	同	〃	8	100	同
31	同	〃	4		枯損木
32	同	〃	4	100	伐採木
33	同	〃	7		枯損木
34	同	〃	3		同
35	同	〃	9		同
36	み づ な ら	Qc	10		
37	同	〃	46		
38	と ど ま つ	Ab	9		枯損木
39	同	〃	4		同
40	同	〃	27	150	伐採木
41	こ し あ ぶ ら	As	14		枯損木
42	み づ な ら	Qc	51	100	伐採木
43	こ し あ ぶ ら	As	10		枯損木
44	と ど ま つ	Ab	35	100	伐採木
45	お ん こ	Ta	7		枯損木
46	同	〃	16	150	伐採木
47	同	〃	6		枯損木
48	せ ん の き	Ka	45	100	伐採木
49	と ど ま つ	Ab	14		枯損木

類	種名	Q (16m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	とどま	—	—	1	1	—	—	1	1	—	9	3	3
	えぞ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	だげか	60	44	22	21	5	9	21	34	7	1	3	2
	ひろは	2	7	6	9	8	5	16	11	10	2	6	4
	みづな	1	7	2	4	3	4	5	7	4	3	10	5
	ほほの	3	1	1	3	2	1	2	—	1	1	—	1
	い	—	3	1	—	2	1	—	—	—	2	—	1
	べに	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	3
	せんの	—	—	6	6	8	7	14	11	7	2	5	—
	みづ	2	5	—	2	2	—	11	5	7	10	11	3
	ばつこ	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	な	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1
こ	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	
や	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
た	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	
灌木、 笹	えぞ	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	のり	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	つる	—	—	—	4	—	—	1	—	—	9	5	4
	えぞ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	はひ	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	むし	—	—	—	—	—	—	3	28	4	15	17	2
草 本、 羊 齒	えぞ	1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	なぎ	6	3	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	ぞあ	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ごま	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2	1
	えぞ	—	2	1	2	—	—	2	—	—	—	—	—
	か	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	の	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	み	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
	う	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	よ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひ	—	—	—	21	—	—	—	—	28	—	1	—
な	—	—	—	—	—	—	—	1	2	6	—	7	
お	—	—	—	—	—	—	—	27	5	37	86	77	
蔓 莖	やま	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	いは	—	2	—	2	2	3	13	26	23	63	42	46
	つた	3	21	22	24	11	33	38	26	34	63	30	81

\* さきハ $\frac{1}{2}$  × (20m)<sup>2</sup> = 5033本アリ。

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
3	3	1	6	5	4	—	—	—	1	2	—	1	45	1	4
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
—	15	1	8	14	40	46	14	17	19	8	7	16	434	4	5
4	11	8	19	16	19	6	6	17	43	22	36	31	324	3	5
3	1	5	1	7	2	4	9	5	3	6	3	7	111	2	5
—	3	—	1	—	—	—	4	—	4	—	2	8	38	1	4
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	12	1	2
2	—	1	2	—	1	—	2	—	1	—	1	—	17	1	4
8	6	7	4	5	4	15	78	98	81	62	43	33	510	2	5
10	7	2	4	7	4	2	5	11	5	9	8	10	142	1	5
—	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—	6	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	1	—	7	4	1	—	—	—	1	—	—	—	16	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	3	2	—	—	—	—	2	—	—	2	11	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	24	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	10	—	16	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	93	1	2
—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	6	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5
—	—	—	3	5	—	—	—	—	—	—	—	2	13	1	1
—	1	—	—	1	1	4	—	2	2	—	—	—	21	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
2	1	1	1	—	—	1	2	—	1	1	—	—	15	1	3
1	—	—	—	3	4	4	1	—	2	—	1	1	24	1	3
2	—	—	—	1	1	2	—	—	—	—	—	—	8	1	1
—	—	—	—	2	1	—	2	—	—	1	—	—	6	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	1	1
—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	3	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	5	1	1
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	16	—	—	—	—	—	—	—	—	66	1	1
—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	17	1	1
12	—	—	—	—	—	—	—	—	2	11	19	20	315	2	3
—	—	1	—	—	3	—	—	—	3	1	—	—	11	1	1
30	2	11	24	9	—	5	4	—	2	17	15	16	357	3	5
36	12	27	28	20	6	—	6	2	5	24	29	39	620	4	5



### 7. 第七標準區劃地

#### 位置及地況

八線ノ澤、第六標準區劃地ノ北方約10米ノ山麓地點ニシテ地圖上ノG點ナリ。G點附近ハ八線ノ澤ノ東側山麓稍々平坦ナル陽向地帯ニシテ土性ハ第六標準區劃地ト同一ナルモ腐植土ノ上部ハ一面ニ伐採木ノ枝條並ニ小木片ヲ以テ被覆サル。

#### 林 況

本標準區劃地並ニソノ附近ハ第六標準區劃地ト同様1929年度一回ノ山火跡地ヲ更ニ同年擇伐ヲ行ヒシヲ以テ、殘存木比較的少ナク鬱閉極メテ疎開セリ。標準地ノ北方約20米ノ附近ハ山火ノ被害ナキ山腹地帯ニツツキ、みづなら、ななかまど、しなのき、いたや、べにいたや、とどまつ、えぞまつ等ノ潤葉樹多キ針潤混淆林ヲ形成シ、ソノ東方山腹附近ハ山火被害ヲウケシ地ニシテ、べにいたや等ノ生木稀ニ殘存スルノミナリ。更ニ標準地ノ西南方ニシテ多少濕潤地ナル附近ニハやちだも生ジ、稍々乾燥セル低地ニハだけかんば、みづなら等生ジ、えぞまつ稀ニ混在セリ。周圍ノ樹下ニハ笹類密生シ、のりのき、むしかり、えぞにはとこ、はひいぬつけ、つるしきみ、いはがらみ、えぞいちご等生ジ、だけかんば、うだいかんば、せんのかき、こしあぶら、やまうるし、みづなら、いたや、ばつこやなぎ等ノ稚樹又ヨク發生セリ。

#### 區 劃 地

本標準區劃地内ハ笹類割合ニ少ナク不完全ニ燒失セル笹程殘存シ、且ツ伐採木ニヨル枝條並ニ小木片散在シ腐朽木1本横ハル。Fig. G (86頁) ハ25平方米ノ標準區劃地及ソノ周圍ニ於ケル主要木本ノ位置ヲ圖示セルモノニシテ更ニ各種植物ノ分布ヲ數量ニテ表示センニ第七表ニ於ケルガ如シ。

#### A. 主要木本ニツキテ

本區劃地内木本ハイヅレモ稚樹ノミナリ。今ソノ本數ヲアグレバ次ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
だ け かんば	93	ほ ぼ の き	10
う だ い かんば	43	み ゅ き	5
み ゅ な ら	13	べ に いた や	3
や ま う る し	12	と ど ま つ	2

上表中だけかんば93本、うだいかんば43本ハ最モ多ク、本區劃地内ノ優勢種ト見做シウベシ。之ニ次グハみづなら13本、やまうるし12本、ほほのき10本等ナリ。然モだけかんば、うだいかんばハソノ生長良好ニシテ樹高41種ニ達セルモノアリ。

一般ニ本標準地ニ於テ稚樹ノ發生良好ナルハ被害ノ程度僅少ナルニヨルハ勿論ナルモ、更ニ又伐採木ノ枝條並ニ小木片ニヨリ地表ヲ掩護サレシニ影響スルコト大ナルタメナリ。而シテ是等主要幼少木ニ依リ未ダ二次林構成ニ至ラザルモ、立地的關係ヲ考慮シ、且ツ本表ヨリ考察スルニだけかんばん、うだいかんば、みづなら等混生シ第二次第一階程ヲ構成スルモノト考察ス。

#### B. 灌木並ニ下草ニツキテ

本區劃地内ノ主要ナル灌木並ニ下草ノ本數次ノ如シ

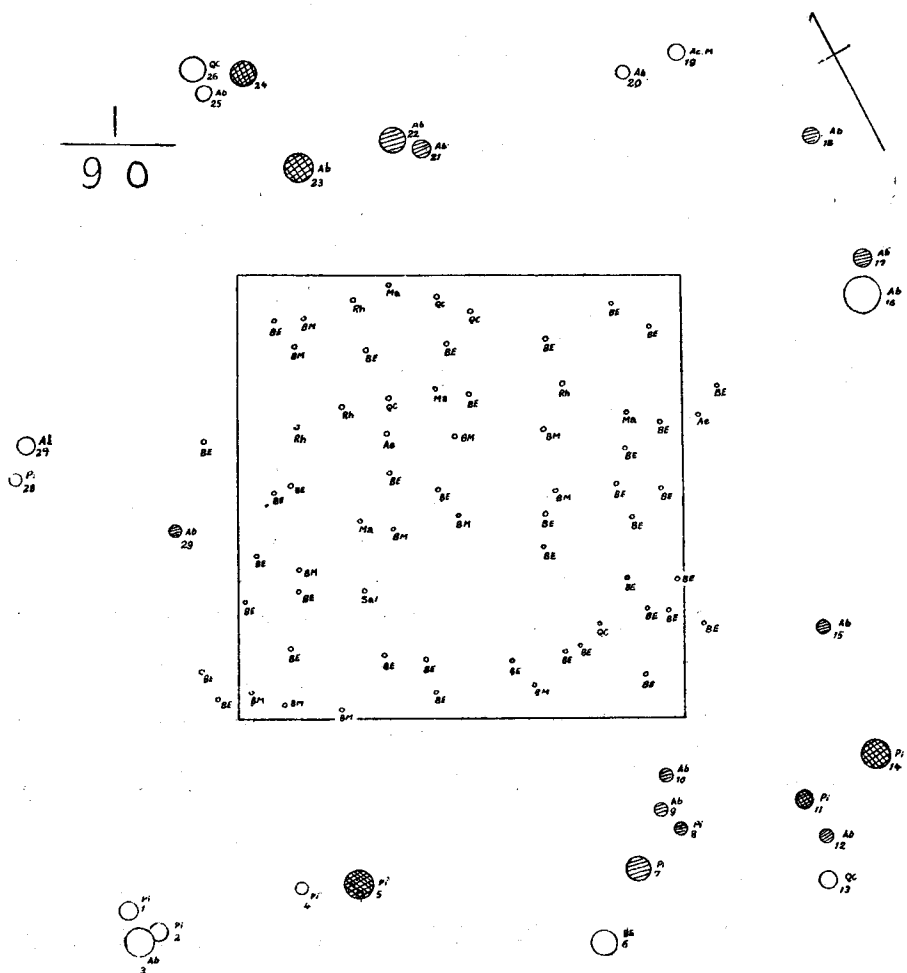
種名	本數	種別	本數
えぞいちご	55	やなぎらん	30
のりのき	13	ひめいちげ	17
えぞにはとこ	10	はんごんさう	13
むしかり	10	おほまひづるさう	13
つるしきみ	3	ならぬしだ	10
はひいぬつけ	2	うど	6
さき	317	のげし	4

僅ハ本區劃地内ニ於テハソノ附近ニ比シ割合ニ少ナキモ上表ニ示セル如クソノ本數317本ノ最大數ニ達シ依然トシテソノ代表種ナルヲ指示セリ。えぞいちごノ55本モ亦之ニ次グ代表的優勢種ニシテえぞいちごヲ除ク他ノ灌木類ハ比較的ソノ數少ナシ。更ニ下草ノ主ナルモノハやなぎらん30本、ひめいちげ17本、はんごんさう13本等ヲ數フ。概シテ本標準區劃地内ノ下草ハやなぎらん、のげし等ヲ除ク外ハ大抵蔭地性植物ナリ。

#### C. 蔓草類ニツキテ

蔓草類中ソノ主ナルモノハいはがらみ13本、つたうるし12本、みやままたたび12本ヲ數フルモ未ダ幼少ナルモノノミナリ。

Fig. G



○ 生 木      ⊗ 伐 根      ⊚ 枯 損 木

- |     |        |      |        |    |      |
|-----|--------|------|--------|----|------|
| BE  | だけかんば  | BM   | うだいかんば | Ab | とじまつ |
| QC  | みづなら   | Rh   | やまうるじ  | Pi | えぞまつ |
| Ma  | ほくのき   | Ae   | たらのき   |    |      |
| Sal | ばっこやなぎ | Ac.M | べにいたや  |    |      |

86頁圖版調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (續)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高直徑	伐 採 高	備 考
1	えぞまつ	Pi	20		
2	同	〃	28		
3	とどまつ	Ab	32		
4	えぞまつ	Pi	3		
5	同	〃	22	120	伐採木
6	だげかんば	BE	12		
7	えぞまつ	Pi	21		枯損木
8	同	〃	4		同
9	とどまつ	Ab	4		同
10	同	〃	7		同
11	えぞまつ	Pi	8	100	伐採木
12	とどまつ	Ab	12		枯損木
13	みづなら	Qc	17		
14	えぞまつ	Pi	16	100	伐採木
15	とどまつ	Ab	6		枯損木
16	同	〃	49	100	伐採木
17	同	〃	16		枯損木
18	同	〃	13		同
19	べにいたや	Ac. M	15		
20	とどまつ	Ab	9		
21	同	〃	16		枯損木
22	同	〃	31		同
23	同	〃	42	100	伐採木
24	同	〃	36	100	同
25	同	〃	19		
26	みづなら	Qc	34		
27	けやまはんのき	Al	13		
28	えぞまつ	Pi	4		
29	とどまつ	Ab	5		枯損木

類 種 名		Q (1m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	だ け かん ば	1	13	3	4	4	6	15	2	4	2	3	1
	う だ い かん ば	—	—	—	—	—	1	—	6	2	1	3	1
	み づ な ら	1	1	—	—	1	—	1	—	—	—	2	—
	ほ ほ の き	—	1	—	1	—	2	—	—	—	—	—	1
	や ま う る し き	—	—	—	1	—	2	—	1	1	—	—	—
	み づ き	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	べ に い た や	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	せ ん の き	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	た ら の き	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ば つ こ や な	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
と ど ま つ	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
灌 木、 笹	え ぞ に ほ と こ り	—	—	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	む し か り	2	—	—	1	—	3	—	—	—	—	1	—
	の り の き	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	1	3
	つ る し き み	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	は ひ い ぬ つ げ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	え ぞ い ち こ さ	—	2	3	—	1	1	7	7	1	2	3	10
さ	5	30	18	12	31	16	11	17	11	13	11	8	
草 本、 羊 齒	の げ し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	ほ ん ご ん さ う	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2	—
	う ど	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	や な ぎ ら ん	—	—	—	—	—	1	2	—	1	—	1	—
	か う ぞ り な	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	う ら げ ふ ぶ す ま さ う	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
	ひ め い ち げ	—	—	—	—	—	12	—	2	—	—	3	—
	や ま に が な	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	ふ つ ば ひ よ ど り ば な	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	な ら め し だ	—	—	—	—	—	—	3	1	—	—	—	4
お ほ ま ひ づ る さ う	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	—	
え ぞ し や う ま	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	
蔓 莖	い は が ら み	3	—	—	—	—	5	—	—	—	—	1	1
	つ た う る し	3	1	—	—	—	1	1	—	1	—	—	—
	ま た た び	—	—	—	—	—	1	4	6	—	—	1	—

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
3	4	—	5	1	3	2	1	8	3	1	3	1	93	4	5
6	1	2	2	1	1	1	5	6	1	—	1	2	43	3	4
—	—	6	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	13	2	2
1	1	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	10	2	2
—	1	—	—	—	1	1	3	—	—	—	1	—	12	2	1
—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	5	1	1
—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	1	3	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	+	1
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	1	2	2	1	—	—	10	2	2
—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	10	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	13	2	1
—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	+	1
15	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	55	3	3
7	7	4	16	15	13	4	11	19	8	17	7	6	317	5	5
—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	4	+	1
—	1	1	—	2	1	3	—	—	—	—	—	1	13	2	2
—	—	—	—	1	—	2	—	—	3	—	—	—	6	1	1
—	1	—	—	—	1	4	5	1	1	1	1	10	30	2	3
—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	+	1
—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	10	1	1
—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	13	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	+	1
—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	13	2	2
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	12	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	1	1

## 8. 第八標準區劃地

## 位置及地況

八線ノ澤、東側山腹即チ第六標準區劃地ヨリ東方約65米海拔約100米ノ地點ニシテ地圖上ノH點ナリ。本標準區劃地ハ東南ニ面セル陽向急斜地ニシテ約35度ノ傾斜ヲ有シ、地表火ニヨリ附近ニ裸出地ヲ出現セル箇所アルモ、本區劃地内ハ腐植土ノ層比較的厚ク約10種内外ナリ。土性ハ淡褐色ノ坩質壤土ヲ呈セリ。

## 林況

標準地附近ハとどまつ多キ針潤混淆林ナリシモ、1929年一回ノ山火ト同年ニ於ケル擇伐ノ結果鬱閉破壊且ツ陽光ノ直射ニヨリ土地比較的乾燥セリ。附近ニ於ケル殘存喬木樹種ノ主ナルモノハとどまつニシテ、えぞまつ、みづなら、いたや、ほほのき、だけかんば、ななかまど、こしあぶら等混淆セリ。林下ニハ笹類最多キモ、あかみのいぬつけヨク生ジ、こえうらく、えぞゆづりは、つるつけ、つるしきみ、はひいぬつけ、はなひりのき等ノ灌木アリ。山火ノ被害概シテ大ナリシ山頂部ノ笹類少ナキ箇所ニ於テハ、ばつこやなぎ、だけかんば、うだいかんば、みづなら、いたや、やまうるし、ほほのき、こしあぶら等ノ喬木稚樹類ヨク發生シ、えぞにはとこヲ混生ス。草本及羊齒トシテハ、やなぎらん、わらび、のげし、はんごんさう、ひめむかしよもぎ、おほぶき等ヲ生ズ。

## 區劃地

本標準區劃地ハ25平方米ニシテ笹類比較的少ナク腐朽木1本横ハル。今本區劃地及ソノ附近ニ於ケル主要木本ノ位置ヲ圖示センニ Fig. H (92頁) ノ如シ。更ニ又區劃地内ニ於ケル各種植物ノ分布ヲ數的ニ表示センニ第八表ニ於ケルガ如シ。

## A. 主要木本ニツキテ

本區劃地内ニハ喬木1本モナク鬱閉疎開セリ。今區劃地内ニ於ケル喬木稚樹ノ本數ヲアグレバ次表ノ如シ。

種名	本數	種別	本數
うだいかんば	38	ばつこやなぎ	2
ひろほのきはだ	13	ななかまど	2
やまうるし	12	みづなら	1
ほほのき	3	たらのき	1
せんのみ	2		

本表中、うだいかんば38本ハ本區劃地内ニ於ケル優勢種ニシテ、之ニ次ギしころ13本、やまうるし12本等ハ主ナルモノナリ。一般ニ本標準地ニツキ鬱閉ト疎開ト急傾斜地トヲ考慮スレバ、是等ノ

稚樹ガ第二次林ヲ構成スルヤ否ヤハ甚ダ疑問ナルモ、區劃地附近ニハ殘存木多ク、且ツ本區劃地ガ山火ノ被害ヲ免レシ林縁近クニソノ位置ヲ占ムルコトヨリ考察スレバ恐ラクうだいかんば主木トナリ林縁カラノ更新ト相俟ツテ第二次林構成ヘノ過程ヲ辿ルモノナラン。

### B. 灌木並ニ下草ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル主ナル灌木並ニ下草ノ本數次ノ如シ。

種 名	本 數	種 別	本 數
ひいぬつけ	25	さ さ	94
つるしきみ	8	やなぎらん	75
えぞいちご	5	ほんごんさう	3
むしかり	3	えぞにはとこ	9

前表ノ灌木中ハひいぬつけ25本ハ比較的多ク、之ニ次グハえぞにはとこ9本、つるしきみ8本、えぞいちご5本等ナリ。笹ハ割合ニ少ナシト雖モ94本ニ達シ本區劃中最モ優勢ナリ。

笹ニ次グヤなぎらんノ75本ハ數量ニ於テハ大ナルモ未ダ開花結實ニ達セザル幼少ノモノノミナリ。ソノ他ハほんごんさう等ヲ數フルモ一般ニ下草ノ種類少ナシ。

### C. 蔓莖類ニツキテ

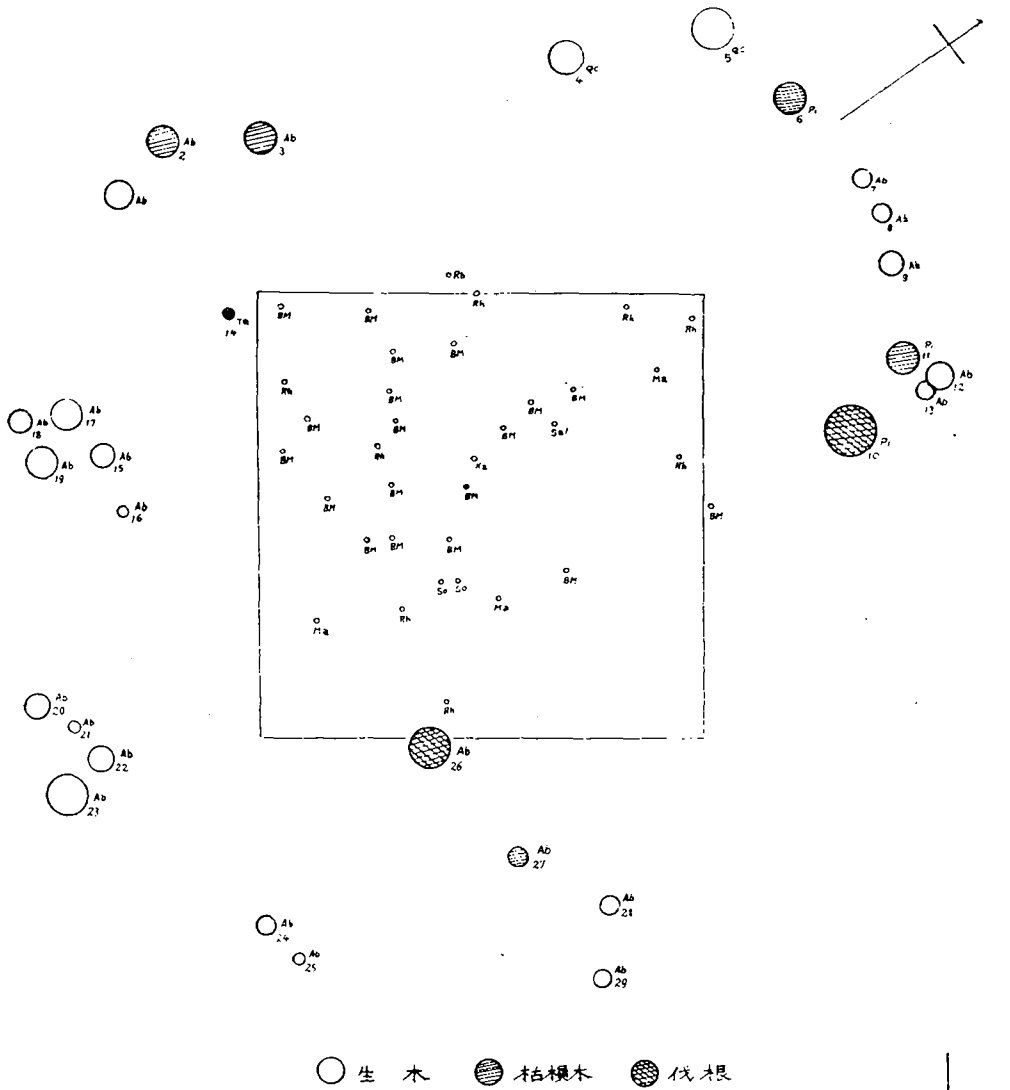
蔓莖類中ソノ主ナルモノハ、いはがらみ11本、つたうるし2本ヲ數フルニ過ギズ。



一回ノ微弱ナル山火跡地  
腐朽木上ノ稚樹だけかんば  
八線ノ澤 (1930年9月9日撮影)



Fig. H



1
90

- |    |      |    |        |     |        |
|----|------|----|--------|-----|--------|
| Ab | としまつ | Ma | ほゝのま   | Ka  | せんのみ   |
| Pi | えぞまつ | BM | うだいかんば | Sal | はつとやなぎ |
| Qc | みづなら | Rh | やまうるし  |     |        |
| Ta | おんこ  | So | なにかまど  |     |        |

92頁圖版調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (糧)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高直徑	伐 採 高	備 考
1	と ど ま つ	Ab	21		
2	同	〃	20		枯損木
3	同	〃	20		同
4	み づ な ら	Qc	44		
5	同	〃	61		
6	え ぞ ま つ	Pi	37		枯損木
7	と ど ま つ	Ab	6		
8	同	〃	6		
9	同	〃	11		
10	え ぞ ま つ	Pi	77	100	伐採木
11	同	〃	43		枯損木
12	と ど ま つ	Ab	13		
13	同	〃	7		
14	お ん こ	Ta	13		枯損木
15	と ど ま つ	Ab	13		
16	同	〃	6		
17	同	〃	28		
18	同	〃	13		
19	同	〃	26		
20	同	〃	34		
21	同	〃	4		
22	同	〃	27		
23	み づ な ら	Qc	54		(圖 Ab)
24	と ど ま つ	Ab	5		
25	同	〃	4		
26	同	〃	54	100	伐採木
27	同	〃	11		
28	同	〃	8		
29	同	〃	20		

類	種名	Q (1m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	うだいかんば	—	—	1	5	—	1	—	1	11	4	—	—
	ひろはのきはだ	—	—	1	—	2	—	1	—	1	—	2	1
	やまうるし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ほほのき	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	ばつこやなぎ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ななかまど	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
本	みづなら	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	たらのき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	せんのき	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—
灌木、笹	えぞにほとこ	—	—	1	—	—	—	1	1	1	1	—	—
	はひいぬつげ	—	—	3	3	1	—	—	1	7	3	1	—
	むしかり	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	つるしきみ	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	2	—
	えぞいちごさ	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1	1
草	さ	3	4	3	4	1	6	3	3	4	4	8	9
	やなぎらん	2	—	2	2	4	5	—	3	1	—	7	3
	かうぞりな	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	はんごんさう	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—
本	のげし	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	いはがらみ	—	1	5	—	—	—	1	—	2	—	—	—
蘆	つたうるし	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	

### 9. 第九標準區劃地

#### 位置及地況

留目ノ澤ノ西側、谷ヨリ上方約20米、海拔約50米ノ地點ニシテ、地圖上ノI點ナリ。I點附近ハ傾斜約20度ノ東向斜面ニシテ、土性ハ黒褐色ノ埴質壤土又ハ砂土ヨリ成リソノ上部ニ約6種ノ腐植土ノ層ヲ有ス。

#### 林況

本標準區劃地並ニソノ附近ハ潤葉樹ニ富メル針潤混喬林ナリシモ往時擇伐ヲ行ヒシ處ニシテ古キ伐根數本殘存ス。

1926年山火ノ被害ヲ受ケ同年擇伐ヲ行ヒ、更ニ1929年ノ山火跡地ナリ。從ツテ標準地附近ニハ喬木割合ニ少ナキモ上部山腹附近ニ殘存木アリ。ソノ主ナルモノハ、だけかんば、うだいかんば、ななかまど、いたや、べにいたや、おひよう等ナリ。溪底流畔ニハながばやなぎ、けやまはんのき等

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
4	4	3	—	1	—	3	—	—	—	—	—	—	38	3	3
2	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	13	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	12	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	1	1
—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
1	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	1	2
—	5	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	25	2	2
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	8	1	1
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	1
—	—	5	1	1	—	10	5	3	3	6	3	5	94	5	5
1	2	—	19	5	—	—	—	7	7	5	—	—	75	4	4
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	2	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	+	1

残存ス。おほいたどり、おにしもつけ、はんどんさう、えぞよもぎ、おほぶき等ノ草本類ハイヅレモ流畔附近ニ於テ多ク生育ス。

#### 區劃地

Fig. I (97頁) ハ25平方米ノ標準區劃地ニシテ、區劃地内ノ主要木本及周圍ニ於ケル伐根枯損木ノ位置ヲ圖示セルモノナリ。更ニ又區劃地内ニ於ケル各種植物ニツキ數量ヲ以テ表示センニ第九表ニ於ケルガ如シ。

#### A. 主要木本ニツキテ

本標準區劃地内ニ於テハ全く喬木ヲ缺キ、木本ハスベテ稚樹ヨリナル。今ソノ本數ヲアグレバ次表ノ如シ。

種 名	本 数	種 別	本 数
うだいかんば	97	みづなら	2
ひろはのきはだ	33	たらのき	2
ばつこやなぎ	3	ほほのき	1

上表中うだいかんば97本ハ最多ニシテ本區劃地内ニ於ケル優勢種ナリ。之ニ次グハシコロニシテソノ本數33本ヲ數フ。みづなら、だいかんばノ稚樹比較的小ナキハ伐採ト山火トニヨリ殘存母樹ノ少ナキニ因ルモノナリ。うだいかんばハソノ生長旺盛ニシテ70種ノ樹高ニ達セルモノアリ、且ツソノ本數大ナルハ地味比較的肥沃ニシテ窪地ナルガ故ナリ。

而シテうだいかんばハ部分的ニ主要林木トナリ、漸次次期ノ林相ニ遷移シ行クモノナルベシ。

#### B. 灌木並ニ下草ニツキテ

灌木並ニ下草ノ本區劃地ニ於ケル分布ハ次表ノ如シ。

種 名	本 数	種 別	本 数
えぞいちご	118	ひめむかしよもぎ	17
むしかり	11	よつばひよどりばな	13
えぞにはとこ	3	おほぶき	6
さ さ	584	う ど	5
はんごんさう	51	ししがしら	5
やなぎらん	47	えぞあざみ	4

前表ニ於テ見ルガ如クささハ最多ニシテソノ本數584本ヲ算シ本區劃地内ノ主要ナル位置ヲ占有セリ。灌木中えぞいちご118本ハ優勢ナルモ未ダ幼少ニシテ結實ニ至ラザルモノノミナリ。ソノ他下草ノ主ナルモノハはんごんさう51本、やなぎらん47本、ひめむかしよもぎ17本、よつばひよどりばな13本等ナリ。尙本區劃地ハおほぶき、及陰性植物ししがしら等ノ若干ヲ含有セリ。

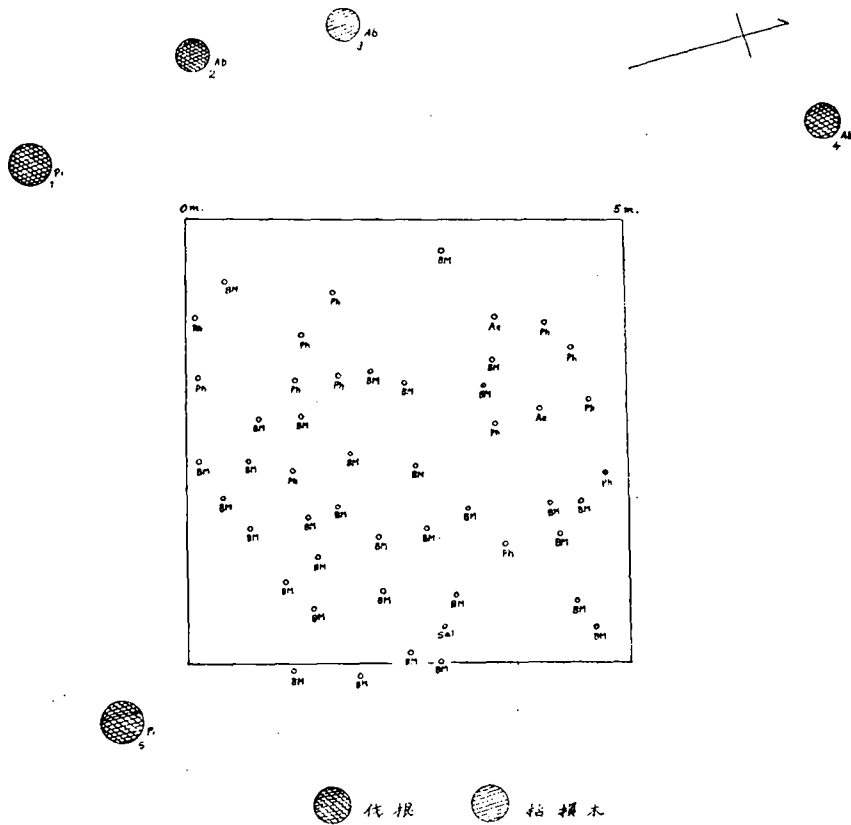
#### C. 蔓莖類ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル蔓莖類ノ數量ハ左ノ如シ。

やまぶだう 11    てうせんどみし 6    いはがらみ 11    つたうるし 2

是等蔓莖類中やまぶだうヲ除ク他ノ三種ハイヅレモ幼少ナリ。やまぶだう11本中3本ハ未ダ結實ニ達セザルモ可成ノ生長ヲナシ區劃地ノ上方約2米四方ニ蔓延セリ。

Fig. I



伐根
  枯損木

Ab	とどまつ	Ph	しころ
Pi	えぞまつ	Ae	たりのき
BM	うだいかんば	Sal	はつこやなぎ

|  
—  
90

上圖調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (釐)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高	直 徑	伐 採 高	備 考
1	え ぞ ま つ	Pi	45		100	伐採木
2	と ど ま つ	Ab	37		100	同
3	同	〃	20			枯損木
4	同	〃	30		150	伐採木
5	え ぞ ま つ	Pi	59		100	同

類	種名	Q (m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	うだいかんば	1	5	5	1	7	2	8	10	7	2	6	4
	ばつこやなぎ	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	ひろはのきはだ	—	1	2	2	3	—	—	2	4	3	—	1
	ほほのき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	みづなら	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
灌木、笹	えぞにはとこり	—	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	むしかこり	—	1	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—
	えぞいちご	8	5	—	—	4	1	3	5	4	8	8	6
	さき	16	8	12	17	8	15	29	20	11	13	9	27
草	やなぎらん	12	1	2	—	2	7	4	—	—	—	2	3
	おほぶき	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	2	—
	うど	—	—	1	—	1	—	—	—	2	—	—	—
	ひめむかしよもぎ	1	2	1	—	1	2	—	2	—	—	1	1
	ごまな	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	のげし	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	はんごんさう	2	3	4	—	1	2	13	4	—	1	2	2
	かうぞりな	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	えぞあざみ	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	よつびよどりばな	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
齒	たんぽほ類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ごんげんすげ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	ししがしら	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蔓	やまぶだう	1	—	1	2	1	—	—	—	2	1	—	—
	つたうるし	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	いはがらみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	てうせんごみし	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	2	—

## 10. 第十標準區劃地

## 位置及地況

留目ノ澤、第九標準區劃地ノ上方約25米ノ地點ニシテ、地圖上ノJ點ナリ。此ノ附近ハ傾斜約25度ノ東北向ノ斜面ニシテ林地比較的濕潤性ナリ。土性ハ第九標準地ト同一ナルモ上部腐植土ノ層厚ク約12種ヲ有ス。

## 林況

標準地ノ周圍ニとどまつ、だけかんば等ノ古キ伐根數本アリ。1926年及1929年ノ二回ノ山火跡地ニ

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
1	2	2	2	1	3	3	6	5	8	5	1	—	97	3	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	1	—	—	—	2	—	1	1	—	4	3	3	33	2	3
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	1	1
13	4	7	2	8	6	7	4	5	2	1	3	4	118	4	5
28	16	17	22	22	36	38	38	31	48	43	33	27	584	5	5
2	1	—	3	4	2	—	—	2	—	—	—	—	47	2	3
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1	1
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	1
1	1	—	1	—	2	—	—	—	1	—	—	—	17	1	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	+	1
3	1	—	5	—	—	—	3	4	—	—	—	1	51	2	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	8	3	13	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	+	1
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	5	1	1
—	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	11	3	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	3	5	11	1	1
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1	1

シテ全ク第九標準區劃地トソノ林況類似スルモ、區劃地ノ上方約10米附近ニ喬木殘存シ、ソノ主ナルモノハみづなら、いたや、ななかまど等ナリ。西北方溪畔ニ近キ處ニハ、ななかまど、おひよう、ほほのき、みづなら等殘存セリ。笹類割合ニ少ナク、標準地附近ノ林地ニハ樺類ノ稚樹最モ多ク、じころ、やまうるし、えぞいちご等生ゼリ。つたうるし、やまぶだう等ノ蔓莖類ヨク繁茂シ、やなぎらん、ながばのしらねわらび等モ亦生ゼリ。

#### 區劃地

本標準區劃地ハ25平方米ニシテ區劃地内ニ倒木1本及伐採高直徑28㎝ノえぞまつノ伐根1株アリ。



(100)

今區劃地内及ソノ附近ノ主要ナル木本ノ位置ヲ圖示センニ Fig. J (101頁) ノ如シ。

更ニ又本區劃地内ノ各種植物ノ分布状態ヲ數的ニ表示センニ第十表ニ於ケルガ如シ。

A. 主要木本ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル木本ハ總テ稚樹ニシテソノ本數ヲアグレバ次表ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
う だ い か ん ば	176	べ に い た や	3
ひ ろ は の き は だ	58	み つ な ら	2
ば つ こ や な ぎ	7	ほ ほ の き	2
せ ん の き	4	た ら の き	2

上表中うだいかんば176本ハ最も多ク明ニ本區劃地ノ代表的優占種ナリ。之ニ次グ主ナルモノハ、しころ58本、ばつこやなぎ7本、せんのみ4本等ナリ。うだいかんばハソノ生長最も良結果ヲ示シ最高80種ノ樹高ヲ有スルモノアリ。然モノノ本數最多ナルハ本區劃地ノ位置及立地ガ第九標準區劃地ヨリ一層うだいかんば發生ニ良好ナル條件ヲ與フルニヨルモノナリ。

B. 灌木並ニ下草ニツキテ

灌木並ニ下草ノ本區劃地ニ於ケル數量ハ次ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
え ぞ い ち ご	115	ひ め む か し よ も ぎ	15
え ぞ に は と こ	9	は ん ご ん さ う	11
は な ひ り の き	8	う	8
む し か り	4	の げ し	5
さ さ	190	か う ぞ り な	4
や な ぎ ら ん	76	え ぞ や ま あ ざ み	3
ながばのしらねわらび	37	た ん ぼ ぼ 類	2

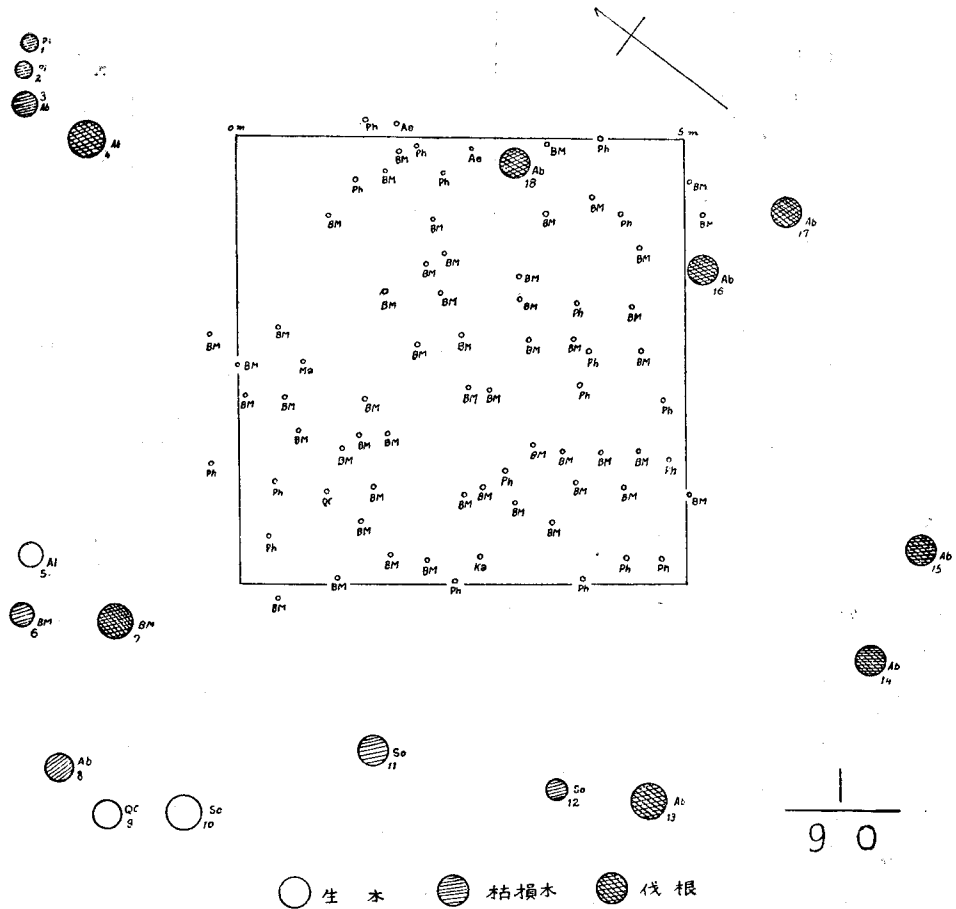
前表中ささハ本區劃地附近ニ比シ比較的少ナクソノ本數190本ナリ。之ニ次グ灌木ノ主ナルモノハえぞいちご115本、えぞにはとこ9本、はなひりのき8本等ナリ。下草トシテハやなぎらん最も多ク76本ニシテ、ながばのしらねわらび37本、ひめむかしよもぎ15本、はんごんさう11本、うど8本等ハ主ナルモノナリ。ながばのしらねわらびノ比較的多数ハ本區劃地稍々濕潤性ナルガタメニシテ又うだいかんばノ稚樹多キト並行シテ考フルコトヲ得。

C. 蔓莖類ニツキテ

蔓莖類ノ本標準區劃地内ニ於ケル分布次ノ如シ。

つたうるし 32 てうせんどみし 8 やまぶだう 17 いはがらみ 3  
是等蔓莖類中つたうるし32本、やまぶだう17本ハ主ナルモイツレモ幼少ナルモノノミナリ。

Fig. J



- |            |          |         |
|------------|----------|---------|
| Ab とびまつ    | Qc みづなら  | Ma はいのみ |
| Pi えぞまつ    | So ないかまど | Ka せんのみ |
| Al けやまはんのみ | Ph しころ   |         |
| BM うだいかんば  | Ae たらのみ  |         |

101頁圖版調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (種)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高	直 徑	伐 採 高	備 考
1	え ぞ ま つ	Pi	5			枯損木
2	同	〃	7			同
3	と ど ま つ	Ab	36			同
4	同	〃	49		100	伐採木
5	けやまはんのき	Al	20			
6	うだいかんば	BM	10			枯損木
7	同	〃	43		90	伐採木
8	と ど ま つ	Ab	15			枯損木
9	みづ な ら	Qc	23			

次頁上部ニツック

第

十

類	種 名	Q (1m <sup>2</sup> ) 番 號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	うだいかんば	1	5	5	7	10	4	2	16	12	17	1	4
	ひろはのきはだき	2	—	2	3	7	1	3	4	4	4	3	1
	せん の き	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ほほのき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	みづな	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	べつこやなぎ	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—
灌 木、 笹	えぞにはとこり	2	1	—	—	—	1	—	1	—	1	2	—
	むしかり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	はなひりのき	—	—	—	—	1	—	—	—	3	—	—	—
笹	えぞいちご	14	7	7	5	—	4	10	9	7	4	4	9
	えぞいさ	7	1	16	7	14	6	9	3	—	7	27	6
草 本、 羊 齒	やなぎらん	5	5	—	2	—	—	3	—	—	1	—	3
	かうぞりな	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	はんごんさ	—	—	—	—	—	5	—	—	—	1	—	—
	のげし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ひめむかしよもぎ	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	1	—
	たんぼほ類	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	えぞよもぎ	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	えぞやまあざみ	—	—	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—
蔓 莖	うがのいねわらび	—	—	1	1	1	—	—	1	—	—	—	—
	つたうるし	—	—	—	—	—	2	1	2	—	—	10	—
	いはらみ	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
蔓 莖	てうせんごみし	1	4	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	やまぶだう	—	—	—	1	1	2	1	—	4	—	1	2

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高	直 徑	伐 採 高	備 考
10	な な か ま ど	So	24			
11	同	ク	15			枯損木
12	同	ク	20			同
13	と ど ま つ	Ab	46		100	伐採木
14	同	ク	20		100	同
15	同	ク	29		100	同
16	同	ク	15		150	同
17	同	ク	34		100	同
18	同	ク	28		100	同

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
23	5	12	2	4	3	15	15	2	3	5	3	—	176	5	5
1	6	1	6	—	—	—	—	—	3	—	2	5	58	2	4
—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	1	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	7	1	1
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3	1	1
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	+	1
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	1	2
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	8	1	1
6	11	10	—	—	—	—	—	1	3	2	1	1	115	4	4
6	2	6	9	—	2	2	6	8	18	4	7	17	190	5	5
4	3	—	3	13	6	6	—	2	6	7	3	4	76	2	4
—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1	4	1	1
—	—	—	—	1	1	—	—	2	—	—	—	1	11	1	1
1	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	2	5	1	1
2	—	—	1	1	—	—	—	3	—	1	—	2	15	1	2
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2	8	1	2
3	3	2	—	—	4	6	6	—	—	1	2	1	37	2	3
—	—	—	2	1	1	3	2	—	—	3	4	1	32	2	3
—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	1	1
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	17	2	3

## 11. 第十一標準區劃地

### 位置及地況

留目ノ澤ノ西側、即チ第九第十標準區劃地ニ續ク山稜地帯ニシテ海拔約100米、地圖上ノK點ナリ。此ノ地點ハ山稜北向ノ急傾斜地ニシテ約35度ノ傾斜ヲ有シ、土性ハ埴質壤土ニシテ腐植土多ク、ソノ厚サ7—10種ナリ。

### 林 況

本標準區劃地ノ南斜面ハ1926年、1929年ノ二回ノ山火跡地ニシテ、喬木殆ント無シ。之ニ反シテ、北面即チ區劃地斜面ハ山火被害ノ程度微弱ナルモ擇伐ヲ行ヒシ箇所ナリ。上木ノ主ナルモノハみづなら、ななかまど、えぞやまさくら、ほほのき等ノ潤葉樹ニシテ、稀ニとどまつノ混生スルアリ。幼木ノ主ナルモノハななかまど、みづなら、えぞやまさくら等ニシテ、こえうらく、むしかり、のりのき、えぞくろうすど、はなひりのき、はひいぬつげ、つるしきみ等ノ灌木生シ、莖莖類ニハつたるし、つるあぢさゐ、いはがらみ、やまぶだう等アリ。ししがしら、つばめおもと、しらねわらび等又ヨク發生ス。又樹下ノ處々ニハとどまつ、えぞまつノ稚樹發生セリ。

### 區 劃 地

本標準區劃地ハ25平方米ニシテ區劃地内及ソノ附近ニ於ケル主要木本ノ位置ヲ圖示センニ Fig. K (106頁) ノ如シ。更ニ又各種植物ノ分布状態ヲ數量ニテ表示センニ第十一表ニ於ケルガ如シ。

#### A. 主要木本ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル喬木樹種ハ、ソノ數少ナキモ、胸高直徑3種以上ノモノニツキテ見ルニ、いたや1本、しろざくら1本、とどまつ2本(枯損木)ヲ數フ。ソノ他せんのみ、とどまつノ老大木ノ伐根2株アリ。更ニ幼木ニツキソノ本數ヲアグレバ下表ノ如シ。

種 名	本 數	種 名	本 數
とどまつ	27	いたや	4
えぞまつ	7	せんのみ	4
ななかまど	42	みづなら	4
しろざくら	12	うだいかんげ	3
べにいたや	8	ひろほのきはだ	3

上表中ななかまどノ42本ハ最多ニシテとどまつ27本、しろざくら12本、べにいたや8本等ハ主ナルモノナリ。

とどまつノ樹高ハ10—50種ノモノ多ク最高60種ニ達セルモノアリ。之等とどまつ、えぞまつヲ除ク他ノ樹種ハソノ樹高イツレモ2米内外ニ達セリ。一般ニ本標準區劃地ハ擇伐後1926年ノ微弱ナル

山火被害ヲウケシノミニシテ、現時ニ於テハななかまど、とどまつヲ主トシ、しろざくら、べにいたヤヲ混生スル第二次林型ヲ示シ針潤混淆林ニ赴ク始相ヲ觀察シ得ベシ。

### B. 灌木並ニ下草ニツキテ

本區劃地内ニ於ケル主ナル灌木並ニ下草ノ本數ヲアグレバ次表ノ如シ

種 名	本 數	種 名	本 數
つるしきみ	117	よつばよどりばな	2
はひいぬつけ	56	むしかり	6
はなひりのき	25	のりのき	2
こえうらく	8	えぞつりばな	2
えぞくろうすご	8	さ さ	401
こみやまかたばみ	42	ししがしら	41
つばめおもと	26	しらねわらびしだ	21
やなぎらん	13	えぞかんすげ	13
ひめむかしよもぎ	5	えぞいちご	3

上表中ささ最モ多クソノ本數401本ヲ示セリ。灌木中つるしきみ117本、はひいぬつけ56本、はなひりのき25本等ハ主ナルモノナリ。下草トシテ主ナルモノハこみやまかたばみ42本、ししがしら41本、つばめおもと26本、しらねわらび21本等ヲ數フ。やなぎらん、ひめむかしよもぎ、よつばよどりばな等ハソノ數少ナク、イヅレモ1929年ノ山火被害アリ山稜近クニ於テ生ゼリ。之ヲ總括シテ見ルニ他ノ區劃地ニ比シ陸地性植物多キハ、ななかまど、とどまつ多キト共ニ山火ノ微弱ナルト擇伐トヨリ林地全ク荒廢セザルニ起因ス。

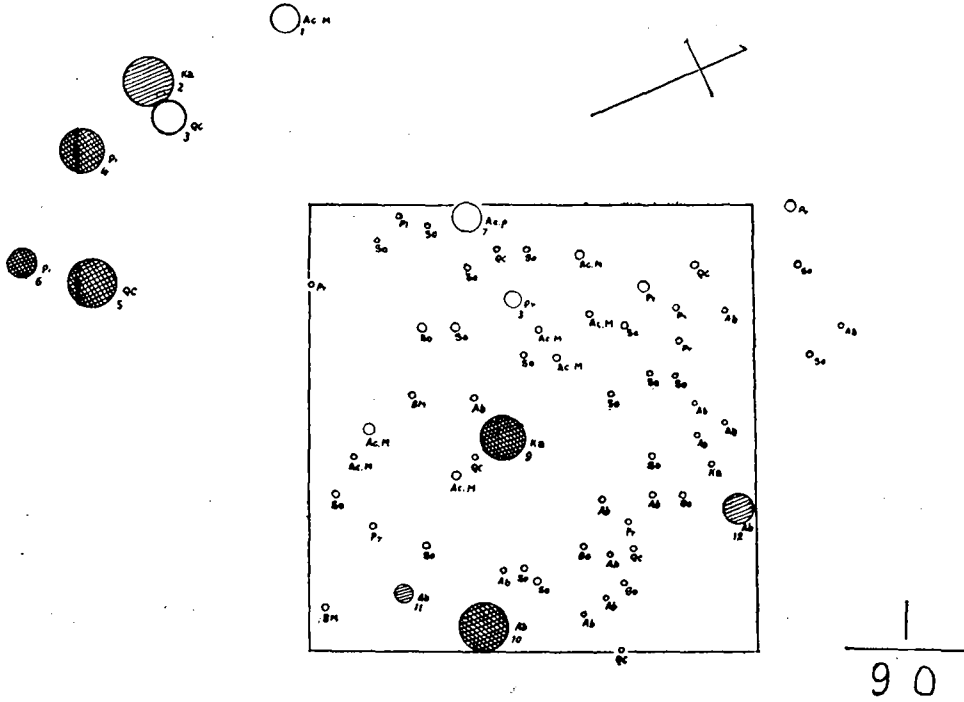
### C. 蔓草類ニツキテ

蔓草類ノ本區劃地ニ於ケル數量次ノ如シ

いはがらみ 108    つたうるし 40    やまぶだう 4

是等蔓草類中いはがらみ 108 本、つたうるし 40 本ハ主ナルモノニシテ區劃地ノ地表一様ニ蔓延セリ。

Fig. K



○ 生木      ◌ 枯横木      ◌ 伏根

Pi えぞまつ  
 Ab とどまつ  
 Ac.p いたや  
 Ac.M べにいたや

Pr しろざくら  
 Qc みづなら  
 Ka せんのみ  
 So なつかまど

106頁圖版調査木ノ胸高又ハ伐採高直徑及伐採高 (概)

番 號	樹 種	略 符	胸高又ハ 伐採高直徑	伐 採 高	備 考
1	べ に い た や	Ac. M	15		
2	せ ん の き	Ka	63		枯損木
3	み づ な ら	Qc	38		
4	え ぞ ま つ	Pi	49	100	伐採木
5	み づ な ら	Qc	76	90	同
6	え ぞ ま つ	Pi	19	100	同
7	い た や	Ac. p	13		
8	し ろ ざ く ら	Pr	4		(圖3)
9	せ ん の き	Ka	60	95	伐採木
10	と ど ま つ	Ab	47	120	同
11	同	〃	8		枯損木
12	同	〃	20		同



類	種名	Q (1m <sup>2</sup> ) 番號											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
木	うだいかんば	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—
	ないなかまど	1	1	—	1	1	1	3	—	1	1	2	1
	いいたいや	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	べにいたや	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	1
	しるざくら	1	—	—	2	1	1	—	—	—	—	2	—
	せんのみ	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	みづな	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
本	ひろはのき	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	とどまつ	—	1	—	—	—	—	1	3	1	—	—	1
	えぞ	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
灌木、 笹	こえうらく	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—	1
	えぞくろうす	2	2	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—
	のりのき	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	むしかり	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—
	えぞつりば	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	はなひりの	—	—	—	1	9	—	—	—	—	3	—	—
	はひいぬつけ	2	3	7	—	1	1	1	2	5	2	—	—
	つるしきみ	3	5	9	4	2	5	6	4	4	—	8	6
	えぞいちご	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	えさ	18	42	34	52	23	8	22	8	31	13	18	6
草	やなぎらん	—	—	—	—	7	—	—	—	—	1	—	—
	ひめかしよもぎ	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—
	よつばひよどりば	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	つばめおもと	—	—	1	2	—	1	2	2	1	—	1	2
	やまぶきしやう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	えぞしやう	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1
	こみやまかた	—	—	—	15	—	5	10	—	—	—	—	—
	う	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羊	かうぞりな	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—
	おほまひづる	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
	えぞあざみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	しらねわら	—	2	—	—	9	—	2	2	—	1	—	—
	ししがしら	—	—	—	3	3	—	1	—	—	2	1	4
藪	えぞかんすけ	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	5	—
	つたうるし	—	—	1	1	1	—	3	2	—	1	—	—
藪	やまぶ	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	いはがら	3	8	10	6	6	6	4	5	8	5	3	6

表

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	S	D	K
—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	6	3	6	2	5	5	—	—	—	2	—	42	3	4
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	—	1	2	—	—	—	1	—	—	—	8	2	2
—	1	—	—	1	—	1	—	—	2	—	—	—	12	2	2
—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	4	1	1
—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
1	2	2	—	1	4	3	2	—	1	4	—	—	27	2	3
—	2	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	7	1	1
—	1	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	8	1	2
—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	8	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	1	1
—	—	2	—	—	—	—	7	—	—	—	3	—	25	2	2
1	7	1	—	1	3	6	4	—	—	—	8	1	56	2	4
3	6	1	6	7	6	4	3	6	4	5	6	4	117	3	5
—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1	—	3	1	1
1	14	11	19	2	6	8	20	21	4	1	3	16	401	5	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	13	1	1
—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	5	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	+	1
—	—	—	3	2	1	—	2	2	3	1	—	—	26	1	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	2	+	1
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	3	9	—	—	—	—	—	—	—	—	42	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	+	1
—	—	—	—	—	—	—	1	—	2	2	—	—	21	1	2
2	—	—	4	5	5	1	—	7	3	—	—	—	41	2	3
—	—	—	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	13	1	1
2	—	3	1	2	3	2	4	3	—	3	5	3	40	2	4
—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	4	1	1
5	4	4	—	—	4	8	5	—	—	3	4	1	108	2	5

### 植生連続ニ對スルー考察

山火ニヨリ森林破壊サレタル場合如何ナル推移階程ヲ經、如何ニシテ安定林型ニ進ムベキカ。之ヲ見ルニ立地的状態、往時該地ノ蒙リシ山火ノ度数、火勢ノ強弱及被害當時ノ林相、竝ニ殘存木林型ニ重大ナル關係アリ。今本演習林ニ於ケル植生連続ノ變化ヲ山地帯及溪谷地帯ニ大別シ之ヲ考究センニ次ノ如シ。

#### 山地帯

山地帯ニ於ケル山火燒跡地ノ第二次林初成ノ階程ニ於テハ、だけかんば、ばつこやなぎノ陽樹主木トナリテ發生ス。勿論コノ初期ノ階程ニ於テハたらのき極メテ普遍的ニ見出サルルモ、コレハ燒跡地ニ生ズル一時的短命ノ樹種ト考察ス。而シテ若シ山火ノ被害數回ニ亙ル場合ニ於テハ全クばつこやなぎニヨリ第二次林初成相構成セラル。又第一回或ハ二回ノ燒跡地ニシテ且ツ土地比較的肥沃ナル箇所ニ於テハしころ時ニうだいかんばノ發生ヲ見ル。其山火二次林初成相ニ混生シヤスキ樹種トシテハ、喬木ニほほのき、みづなら、やまうるし、せんのみ、中層灌木ニえぞにはとこ、むしかり、のりのき等アリ。

笹類ハ一二回ノ山火ニ於テハ最モ優勢ニ繁茂スルモ、之ガ數回ニ亙ル時ニハソノ群落退行シ、被害ノ甚シキ場合ニ於テハ、全ク裸地ヲ生ズルニ至ル。又下草ヲ見ルニ、二次要素トシテ著シキわらび、やなぎらん、えぞいちごノ如キハ林型構成セラルルニツレテ次第ニ減退シ、笹類漸次優勢トナル。而シテ林地稍々とどまつノ稚樹發生ニ適スルニ至リ初メテ是等第二次潤葉樹下ニとどまつノ稚樹發生シ、次第ニソノ勢力ヲ得、遂ニ針潤混淆林ニ遷移スベシ。然レドモ山火後日尙淺キ本研究地ニ於テハ此二次林初成ノ林相ヲ有スルノミニシテ、未ダ安定林型ヘノ途中相ト見ルベキモノナシ。著者等ガ、天鹽第一演習林笹島、神路間ニ於テ山火後、二十一年ノ山腹林地 100 平方米ノ調査ニヨレバ、次表ニ示セル如ク、だけかんばヲ主木トセル潤葉樹林中ニとどまつノ稚樹 5 本アリ。ソノ樹高 60 種ニ達セルモノアルヲ認メタリ。サレド現時ニ於テハとどまつハ潤葉樹類ニ依テ被壓セラルル状態ナルモ、漸次ソノ立地ヲ占有シ、とどまつ主林木トナリだけかんばソノ他ヲ混生スル針潤混淆林型ヲ構成スベシ。

樹種	胸高直徑				計
	2 種以下	2 — 5 種	5 — 10 種	10 — 15 種	
とどまつ	5	—	—	—	5
だけかんば	—	10	10	1	21
けやまほのき	—	4	1	—	5

樹種	胸高直徑	分 布 状 態				計
		2種以下	2—5種	5—10種	10—15種	
ばつこやなぎ		—	—	2	—	2
やまうるし		8	—	—	—	8
ほほのき		2	1	—	—	3
やまぐは		2	1	—	—	3
ひろはのきはだ		1	1	—	—	2

以上綜合シテ見ルニ山火跡地ノ山地帯ニ於ケル植生連續ノ變化ハばつこやなぎ、だけかんば（時ニひろはのきはだ）ノ第二次要素ニ初マリ、立地的條件ニモトヅキとどまつ侵入シ來リ植生ヲ變化支配シ、遂ニとどまつ優勢木トナリ、だけかんば、みづなら、いたやヲ混生シ、笹類ヲ下層トスル針潤混淆林相ニ遷移スルモノナリ。

#### 溪谷地帯

溪谷地帯ハソノ立地的關係ニヨリ土地的極盛相ノ林型異ナル。又一般ニ溪谷地帯ノ林相ハ山地帯ニ比スルニ複雑ナリ。

溪谷下部河岸廣キ低地（原野）ヲ除クニ於テハみづなら（又ハけやまはんのき）—いたや—ニレ林トナリ、溪谷ヲ溯レバみづなら—おひよう—とどまつ林トナリ、更ニ上部ニ至レバ山地帯ノ林地ト全ク同一トナル。一方山火被害溪谷沿ニハ概シテ少ナク、燒跡地トシテノ植生連續ニ好試料ヲ提スル土地少ナシ。みづなら—いたや—ニレ林ニ赴ク箇所ノ第二初成林ハしらかんば、ばつこやなぎ、うだいかんば、しころ等生ジ、みづなら—おひよう—とどまつ林ニ赴ク第二初成林ハだけかんば、みづなら、うだいかんば、ほほのき等生ズ。河岸ニ接シ流畔ニ沿フテハながばやなぎ生ズルコトアリ少シク入りテハけやまはんのきを生ズルコトアリ。一般ヲ通ジ下草ヲ見ルニ山地帯ニ比スレバ比較的殘存要素ニトミ殊ニ流畔ニ於テソノ著シキモノアリ。

### 第三章 山火跡地特殊植物ノ分布

#### 1. 山火跡地特殊植物ノ二次林内ニ於ケル分布

類	種 名	分 布 状 態			備 考
		溪 面	山 腹	山 背	
水	しらかんば	+	+		低地ニ多シ
	だけかんば	+	++	++	二次林要素トシテ最重要ナルモノナリ
	うだいかんば	+	++	+	小群ヲ構成シ殊ニ多少肥沃溪面ニ多シ

類	種 名	分 布 状 態			備 考
		深 面	山 腹	山 背	
本	ひろはのきはだ	+	++	+	肥沃ナル所ニ多シ  {山火後稚樹ノ發生最多ナルモ二次林初生階程 林ノ末期ニ消失スルモノノ如シ
	みづなら	++	+	+	
	ほほのき	+	+	+	
	ばつこやなぎ		++	+	
	やまうるし		+	+	
	たらのき	+	++	++	
灌木、 笹	えぞにほとこ	+	+	+	二次林下層ノ著シキ要素ナリ {數回ノ燒跡ニハ數量ヲ減ズルモ一二回ノ山火 跡ニ夥シク生ズ
	のりのき	+	+	+	
	えぞいちご	+	++	+	
	さ	++	++	++	
草  木、  羊  藪	やなぎらん		+	+	數回ノ山火跡地ニ殊ニ多シ  山腹時ニ山背ニ出ズルモノハ多ク凹地ナリ 笹類ノ間ニ介在ス 數回ノ山火跡地ニ生ズ
	かうぞりな	+	+		
	はんこんさう	++	+		
	のげし		+	+	
	おにのげし		+	+	
	うど	+	+	+	
	よつばひよどりばな	+	++	+	
	ひめむかしよもぎ	+	+	+	
	たんぼほ類	+	+	+	
	わらび		++	+	
おほいたどり	+				
蔓  莖	やまぶだう		+	+	
	いはがらみ		+	+	
	つたうるし		+	+	

2. 山火跡地特殊植物ノ地理的分布

木 本 類

種 名	地 方	樺 太	千 島	本 州	四 國 九 州	琉 球 臺 灣	朝 鮮	支 那	滿 洲
しらかんば		×	×	×			×	×	×
だけかんば		×	×	×	×		×		×
うだいかんば				×					
ひろはのきはだ		×	×	×	×		×	×	×
みづなら		×	×	×	×		×		×
ほほのき				×	×	×		×	
いたやかへて		×	×	×	×		×	×	×
べにいたや				×	×				
せんのみ		×	×	×		×	×	×	×

種名	樺太	千島	本州	四國九州	琉球臺灣	朝鮮	支那	滿洲
げつこやなぎ	×	×	×			×	×	×
ななかまど	×	×	×	×		×		
やまうるし		×	×	×		×	×	×
たらのき	×	×	×	×	×	×		×
計	9	10	13	9	3	10	7	9
%	69	77	100	69	23	77	54	69

種名	樺太	千島	本州	四國九州	琉球臺灣	朝鮮	支那	滿洲	シベリヤ	北米	ヨーロッパ
灌木類											
のりのき	×	×	×	×			×				
えぞにはとこ	×	×	×			×		×			
えぞいちご	×	×	×			×	×	×	×	×	×
蔓莖類											
やまぶだう	×	×	×	×	×	×		×			
いはがらみ			×	×		×					
つたうるし	×	×	×	×			×				
つるあぢさい	×	×	×	×		×					
草本、羊齒類											
やなぎらん	×	×	×			×		×	×	×	×
かうぞりなし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
のげしど	×	×	×	×	×	×		×			
う	×	×	×	×	×	×		×			
ひめむかしよもぎ	×	×	×	×		×		×	×	×	×
たんぼほ類	×	×	×	×	×	×		×			
やまははこ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
わらび	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×
計	8	8	8	7	6	8	3	8	6	6	6
%	100	100	100	88	75	100	38	100	75	75	75

前表ニ示スガ如ク山火跡地ノ特殊植物トシテ木本ハ本州ニ最モ深キ關係ノ樹種ヲ有シ東亞溫帯ノ色彩ヲ帶ベリ。又草本羊齒ヲ見ルニ本州ヲ經朝鮮、滿洲等ニ密接ナル關係ヲ有スルモ、木本ニ比シ著シク普遍的要素ニ富ミ、ヨーロッパ、北米ニモ各々75%ノ關係ヲ保持セリ。殊ニやなぎらん、わらび等ハ歐米ニ於テモ山火跡地ニ屢々生ズル種類ナリ。又灌木トシテのりのき、えぞにはとこ、えぞいちごガ山火跡地ノ主要ナル要素トシテ觀察セラルルハ興深キ事實ナリトス。蔓莖類ハ全部日本要素ト認ムベキ種類ナリ。

## 第四章 山火跡地 = 於ケル植物目録

### Pteridophyta 羊 齒 部

#### Polypodiaceae. ウラボシ科

*Dryopteris Miqueliana* C. Chr.

和名。ならゐしだ。

産地。微弱ナル地表火又ハ樹冠火後5—6年ノ山腹林野 = 生ズルコトアリ。

採集地。八線西山；一線ノ澤附近。

*Dryopteris africana* C. Chr.

和名。みぞしだ。

産地。山腹ノ蔭地 = 生ジ山火跡地 = ハ稀ナリ。

採集地。八線ノ澤。

*Dryopteris dilatata* A. Gray, var. *oblonga* Takeda

和名。ながばのしらねわらび。

産地。山火跡地 = 稀ナルモ樹冠火又ハ微弱ナル地表火後ノ蔭地 = 生ズ。

採集地。八線ノ澤；ケナシボロ；二十線附近。

*Matteuccia Struthiopteris* Todaro

和名。くさそてつ。

産地。低濕林野 = 多ク山火跡地 = 於テハ樹冠火跡地ノ樹蔭濕地 = 生ズルノミ = シテ極メテ稀ナリ。

採集地。二十線附近；一線ノ澤。

*Blechnum Spicant* Wither. var. *nipponica* Miyabe et Kudo

和名。ししがしら。

産地。微弱ナル地表火ノ跡地又ハ山火後5—6年ノ山腹溪畔林野 = 生ズ。

採集地。八線西山；一線ノ澤；ヌボロマツボロ。

*Pteridium aquilinum* Kuhn, var. *japonicum* Nakai

和名。わらび。

産地。乾燥地 = 生ジ山火後山腹山背等 = 極メテ普通ナリ。

採集地。 ケナシボロ；八線西山；一線ノ澤；二十線附近。

### Osmundaceae. ゼンマイ科

*Osmunda japonica* Thunb.

和名。 ぜんまい。

産地。 山火跡地 = 稀ナルモナホ山腹林野 = 存在スルハ山火ノ被害ヲ免レテ残存セルモノナルベシ。

採集地。 一線ノ澤；スボロマツボロ附近。

備考。 研究地域内ニ於テ、ぜんまいノ自生ハ少ナシ。

*Osmunda cinnamomea* L.

和名。 やまどりぜんまい。

産地。 山火後ノ低地 = 生ズ。

採集地。 一線ノ澤。

### Lycopodiaceae. ヒカゲノカツラ科

*Lycopodium obscurum* L. fom. *juniperoideum* Takeda

和名。 たちまんねんすぎ。

産地。 山火後笹類ノ間ニ介在シ山腹山背等ノ比較的陽地ニ生ズ。

採集地。 八線西山；一線ノ澤。

## Spermatophyta. 顕花植物

### GYMNOSPERMAE 裸子部

#### Taxaceae. イチ井科

*Taxus cuspidata* Sieb. et Zucc.

和名。 いちい、おんこ。

産地。 残存木トシテ生ズルノミ。

採集地。 八線西山。



**Pinaceae. マツ科**

*Abies sachalinensis* Fr. Schm.

和名。あかとど。

産地。成木ハ殘存木トシテ存ス。稚樹ハ山火後、約六年位ニシテ山地林野ニ生ズルモノノ如シ。尙又腐朽木上又ハ笹類少ナキ立地並ニ微弱ナ地表火及樹冠火ノ箇所ニ於テハ當年又ハ翌年ニ生ズルコトアリ。

採集地。八線ノ澤；一線ノ澤；ケナシボロ。

*Abies Mayriana* Miyabe et Kudo

和名。あをとどまつ。

産地。同上。

採集地。八線ノ澤；ケナシボロ。

*Picea jezoensis* Carr.

和名。えぞまつ。

産地。殘存木トシテ生ジ、山火跡地ニハ殆ント稀ナリ。

採集地。八線西山；八線ノ澤。

備考。本研究地域内ニ母樹トシテえぞまつ少シ。

*Picea Glehni* Mast.

和名。あかえぞまつ。

産地。殘存木トシテ存シ、稚樹ハ山火後稀ナルモ被害ノ僅少ナル林地ニ於テ腐朽木上又ハ腐植土上ニ見ルコトアリ。

採集地。一線ノ澤；ヌボロマツボロ。

備考。ヌボロマツボロ東岸ニハあかえぞ多キモ西岸ニハ東岸ニ比シ其ノ量少ナシ。

ANGIOSPERMAE. 被子部

Dicotyledoneae. 雙子葉門

Archichlamydeae. 原生花被亞門

**Salicaceae. ヤナギ科**

*Salix Bakko* Kimura

和名。 ばつこやなぎ。

産地。 山火後各地 = ヨリ發生シ殊 = 山腹山背 = 多キヲ見ル。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤；二十線附近。

*Salix sachalinensis* Fr. Schm.

和名。 ながばやなぎ。

産地。 山火跡地 = 稀ニシテ山火被害ヲウケザル溪側、溪畔等 = 殘存ス。

採集地。 八線ノ澤；留目ノ澤。

**Betulaceae. カバノキ科***Betula Ermani* Cham.

和名。 だけかんばん。

産地。 山火後各地 = 發生ス。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤；二十線附近。

*Betula Maximowicziana* Regel

和名。 うだいかんばん。

産地。 山火跡地ナル山腹山背 = 多ク發生シ殊 = 微弱ナル地表火又ハ樹冠火後、腐朽木上 = 極メテ良好 = 發生ス。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ケナシボロ。

*Betula Tauschii* Koidz.

和名。 しらかんばん。

産地。 山火跡地 = 生ジ、低地山麓 = 多ク、時 = 單純林ヲ形成スルコトアリ。

採集地。 ケナシボロ；八線西山；一線ノ澤。

*Alnus hirsuta* Turcz.

和名。 けやまはんのき。

産地。 山火後ノ山腹又ハ山崩附近等 = 生ズ。

採集地。 留目ノ澤；一線ノ澤；スボロマツボロ。

*Alnus fruticosa* Rupr.

和名。 みやまはんのき。

産地。 殘存木トシテ溪畔山腹 = 存シ稚樹ハ山火跡地 = 生ズルコト稀ナリ。

(118)

採集地。 八線ノ澤；二十線附近。

### **Fagaceae. フナ科**

*Quercus crispula* Bl.

和名。 みづなら。

産地。 残存木トシテ生ズルモ又稚樹モ多ク山火跡地ノ各地ニ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山附近；ケナシボロ；一線ノ澤；ヌボロマツボロ。

### **Ulmaceae. ニレ科**

*Ulmus propinqua* Koidz.

和名。 にれ、あかだも。

産地。 残存木トシテ溪畔又ハ山腹ニ存シ、山地跡地ニ稚樹生ズルコト稀ナリ。

採集地。 留目ノ澤；十六線ノ澤；八線ノ澤。

*Ulmus lacinata* Mayr

和名。 おひよう、おひようにれ。

産地。 残存木トシテ溪畔又ハ山腹ニ存シ、山火跡地ニ稚樹生ズルコト稀ナリ。

採集地。 留目ノ澤。

備考。 本研究地域内ニ母樹極メテ少ナシ。

### **Moraceae. クハ科**

*Morus bombycis* Koidz.

和名。 やまぐは。

産地。 一般ニ母樹ノ數少ナク、從ツテ山火跡地ニ稀ナリ。

採集地。 八線ノ澤。

### **Aristolochiaceae. ウマノスズクサ科**

*Asarum Sieboldii* Miq.

和名。 うすばさいしん。

産地。 山火後數年ノ跡地又ハ微弱ナル地表火ノ林野ニ生ゼリ。ソノ數少ナシ。

採集地。 一線ノ澤；八線西山。

**Polygonaceae. タデ科***Polygonum sachalinense* Fr. Schm.

和名。 おほいたどり。

産地。 山火後ノ肥沃ナル溪畔斜面又ハ山腹ノ窪地ニ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；留目ノ澤；ケナシボロ；一線ノ澤。**Ranunculaceae. ウマノアシガタ科***Anemone debilis* Fisch.

和名。 ひめいちげ。

産地。 山火後5—6年ノ林地ニ於テ笹ノ間ニ介在ス。

採集地。 八線ノ澤；八線西山附近。

*Cimicifuga yezoensis* Kudo

和名。 えぞしやうま。

産地。 溪畔低湿地ニ多ク、山火後ノ溪畔等ニモ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；一線ノ澤。

**Magnoliaceae. モクレン科***Magnolia obovata* Sieb. et Zucc.

和名。 ほほのき。

産地。 残存木比較的少ナキモ、萌芽又ハ實生ニヨリ發生セルモノ多シ。山火後各地ニ生ズ。

採集地。 八線西山。

**Saxifragaceae. ユキノシタ科***Hydrangea paniculata* Sieb.

和名。 のりのき、さびた。

産地。 山火後ヨク各地ニ生ズルモ、殊ニ山腹、山背附近ニ多シ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤；ヌボロマツボロ。*Hydrangea petiolaris* Sieb. et Zucc.

和名。 つるあぢさゐ。

(120)

産地。 山火後各地 = 生ズルモ、殊 = 山火後數年ノ林地又ハ樹冠火ノアリシ林地 = 多シ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

*Schizophragma hydrangeoides* Sieb. et Zucc.

和名。 いはがらみ。

産地。 山火後各地 = 生ズ。

採集地。 一線ノ澤；ケナシボロ；八線ノ澤；八線西山。

## Rosaceae. バラ科

*Aruncus sylvester* Kost. var. *americanus* Maxim.

和名。 やまぶきしやうま。

産地。 山火跡地 = 稀ナリ。僅カ = 山腹ノ濕地又ハ溪畔 = アルノミ。

採集地。 八線ノ澤；一線ノ澤；ヌボロマツボロ。

*Filipendula kamtschatica* Maxim.

和名。 おにしもつけ。

産地。 肥沃ナル下部林地 = 多ク、山火後ノ溪畔 = モ生ズ。

採集地。 留口ノ澤；八線ノ澤；ケナシボロ。

*Micromeles alnifolia* Koehne

和名。 あづきなし。

産地。 殘存木トシテ生ジ、山火跡地 = 少ナン。

採集地。 ヌボロマツボロ；八線西山。

備考。 本研究地域内 = ハ母樹少ナン。

*Rosa acicularis* Lindl. var. *Gmelini* C. K. Schn.

和名。 おほたかねばら。

産地。 山腹ノ微弱ナル地表火ノ跡地 = 生ズルコトアリ。

採集地。 ヌボロマツボロ。

*Rosa Idaeus* L.

和名。 えぞいちご。

産地。 山火跡地 = 最モ多シ。殊 = 數回ノ山火燒跡各地 = 著シ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤；ヌボロマツボロ；二十線附近。

*Sorbus commixta* Hedl.

和名。 ななかまど。

産地。 残存木トシテ存スルモ、山火烧跡各地ニ生ズ。

採集地。 八線西山；一線ノ澤；ヌボロマツボロ。

*Spiraea betulaefolia* Pall.

和名。 まるばしもつけ。

産地。 陽向山腹、山稜附近ニ生ゼリ。

採集地。 一線ノ澤。

*Prunus Maximowiczii* Rupr.

和名。 しろざくら。

産地。 山火跡地ニ生ゼリ。

採集地。 八線西山。

**Oxalidaceae. カタバミ科**

*Oxalis Acetosella* L.

和名。 こみやまかたばみ。

産地。 山火後5—6年ノ林地ノ樹蔭ニ生ズルモ、一般ニソノ数少ナシ。

採集地。 一線ノ澤；八線ノ澤。

**Rutaceae. ヘンルウタ科**

*Phellodendron sachalinense* Sarg.

和名。 ひろはのきはだ、しころ。

産地。 山火後多ク各地ニ生ズ。

採集地。 一線ノ澤；ケナシボロ；八線ノ澤；八線西山。

*Skimmia repens* Nakai

和名。 つるしきみ。

産地。 微弱ナル山火後各地ニ普通ニ生ゼリ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；一線ノ澤。

**Euphorbiaceae. トウダイグサ科**

*Daphniphyllum humile* Maxim.

(122)

和名。 えぞゆづりは。

産地。 普通樹林内ニ生ズルモ、樹冠火後ノ林地ニモ殘存ス。

採集地。 八線西山；ヌボロマツボロ。

### Anacardiaceae. ウルシ科

*Rhus trichocarpa* Miq.

和名。 やまうるし。

産地。 山火後ノ山腹附近ニ多シ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Rhus ambigua* Lavelle.

和名。 つたうるし。

産地。 山火後各地ニヨク生ジ、殊ニ微弱ナル地表火又ハ樹冠火ノ跡地ニ於テ著シ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤；ヌボロマツボロ；二十線附近。

### Ilicaceae. モチノキ科

*Ilex radicans* Nakai

和名。 はひいぬつげ。

産地。 山火後笹類ノ間ニ介在シ最モ普通ニ生ズルモ、殘株ヨリ再生スルモノナルベシ。殊ニ山火後5—6年ノ林地ニ於テハ著シク生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；一線ノ澤；ケナシボロ。

### Celastraceae. ツルウメモドキ科

*Evonymus yezoensis* Koidz.

和名。 えぞつりばな。

産地。 山火後萌芽ニヨリ山腹、山背、低地林野ニ發生スルモノ多シ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；一線ノ澤。

### Aceraceae. カヘデ科

*Acer mono* Maxim.

和名。 いたやかへで。

産地。 殘存木トシテ山腹、山背、低地林野ニ存シ、又一回ノ山火跡地ニ稚樹ヨク發生シ、殊ニ樹冠火ノ林地ニ著シ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；一線ノ澤。

*Acer Mayri* G. v. Schw.

和名。 ベにいたや。

産地。 殘存木トシテ山腹、山背、林野ニ存ス。又山火跡地ニ稚樹ヨク發生スルモノノ數少ナシ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

### Balsaminaceae. ホウセンクワ科

*Impatiens Noli-tangere* L.

和名。 きつりふね。

産地。 數回ノ山火跡地ノ筈類少ナキ箇所、即チ山腹ノ窪地又ハ低地ノ肥沃ナル林林ニ生ズルモノノ數少ナシ。

採集地。 ケナシボロ；八線西山。

### Vitaceae. フダウ科

*Vitis Kaempferi* Koch

和名。 やまぶだう。

産地。 山火後各地ニ生ズルモ比較的山腹、山背附近ニ多シ。

採集地。 一線ノ澤；八線西山；八線ノ澤；ケナシボロ；留目ノ澤；ヌボロマツボロ。

### Tiliaceae. シナノキ科

*Tilia japonica* Simk.

和名。 しなのき。

産地。 殘存木トシテ存ス。山火跡地ニハ比較的母樹ノ數少ナシ。

採集地。 八線西山。

### Actinidiaceae. サルナシ科

*Actinidia polygama* Planch.



(124)

和名。 またたび。

産地。 山火跡地ノ笹類割合少ナキ箇所ニ生ズ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Actinidia Kolomikta* Maxim.

和名。 みやままたたび。

産地。 山火跡地ニ生ズルモ残根ヨリ成長セルモノ多シ。

採集地。 八線西山。

### Violaceae. スミレ科

*Viola Selkirkii* Pursh

和名。 みやますみれ。

産地。 山火跡地ニ稀ナリ。山火後數年ノ林地ニ生ズ。

採集地。 八線西山。

*Viola sachalinensis* H. d. Boiss.

和名。 あいぬたちつぼすみれ。

産地。 山火跡地ニ生ズルコトアリ。

採集地。 八線西山；二十線附近。

### Oenotheraceae. アカバナ科

*Epilobium angustifolium* L.

和名。 やなぎらん。

産地。 山火跡地ニ最モ普通ニ生ジ殊ニ數回ノ山火跡地ニ著シ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；ヌボロマツボロ；一線ノ澤。

*Epilobium glandulosum* Lehm.

和名。 からふとあかばな。

産地。 山火跡地ノ山腹林野ニ生ズルコトアリ。

採集地。 八線西山。

### Araliaceae. タラノキ科

*Acanthopanax sciadophylloides* Fr. et Sav.

和名。 こしあぶら。

産地。 山火後各地 = 生ズルモ比較的山腹、山背附近 = 多シ。

採集地。 八線西山；八線ノ澤；一線ノ澤。

*Aralia elata* Seem.

和名。 たらのみ。

産地。 山火後最モ普通 = 生ズルモノニシテ、殊 = 數回ノ山火跡地ノ山腹、山背 = 於テ群落ヲナス。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Aralia cordata* Thunb.

和名。 うど。

産地。 山火後ノ山腹附近 = 多ク生ズ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Kalopanax pictum* Nakai

和名。 はりぎり、せんのみ。

産地。 殘存木トシテ存シ、又稚樹ハ山火後各地 = 生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

## Cornaceae. ミツキ科

*Cornus controversa* Hemsl.

和名。 みづき。

産地。 殘存木トシテ存シ、稚樹モ亦山火跡地 = 生ズ。

採集地。 八線西山；八線ノ澤。

*Cornus canadensis* L.

和名。 ごぜんたちばな。

産地。 山火跡地 = 少ナキモ、尙存在スルハ山火ノ被害ヲ免レシモノナラン。

採集地。 八線西山；一線ノ澤；スボロマツボロ。

## Metachlamydeae. 後生花被亞門

### Rhodoraceae. シヤクナギ科

*Menziesia pentandra* Maxim.

和名。こえうらく。

産地。山火跡地ニハ稀ナリ。

採集地。八線西山；一線ノ澤。

*Leucothoe Grayana* Maxim.

和名。はなひりのき。

産地。山火跡地ノ山腹、山背ニ最モ普通ニ生ズルモ、殘存株ニ基ヅクモノ多シ。

採集地。八線西山；八線ノ澤；一線ノ澤。

*Vaccinium Smallii* A. Gray

和名。おほばすのき。

産地。山火跡地ノ山腹、山背ニ稀ニ生ズ。殘存株ニ基ヅクモノ多シ。

採集地。八線ノ澤。

*Vaccinium Chamissonis* Bong.

和名。えぞくろうすご。

産地。混淆林内ニ生ズ。山火後數年ノ林地ニモ發生スルモ、殘存株ニ依ルモノノ如シ。

採集地。八線西山；二十線附近。

**Oleaceae. モクセイ科**

*Fraxinus mandshurica* Rupr.

和名。やちだも。

産地。殘存木トシテ溪畔、低地ニ生ズ。山火跡地ニ少ナシ。

採集地。八線ノ澤；ケナンボロ。

**Gentianaceae. リンダウ科**

*Crawfordia japonica* Sieb. et Zucc.

和名。つるりんだう。

産地。山火跡地ニ稀ナリ。山火ノ被害甚シカラザリシ林地ニ殘存ス。

採集地。八線ノ澤；八線西山。

*Gentiana axillariflora* Lévl. et Vnt.

和名。えぞりんだう。

産地。 山火後林野ニ生ズルコトアリ。

採集地。 十二線間寒別川附近。

### Asclepiadaceae. ガガイモ科

*Cynanchum caudatum* Maxim.

和名。 いけま。

産地。 伐採跡地ニヨク生ズルモ、樹冠火後山腹林野ニモ生ズルコトアリ。

採集地。 八線ノ澤。

### Caprifoliaceae. ニンダウ科

*Sambucus Buergeriana* Bl. var. *Miqueli* Nakai

和名。 えぞにはとこ。

産地。 山火後各地ニ生ズ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；八線ノ澤。

*Viburnum furcatum* Bl.

和名。 むしかり、おほかめのき。

産地。 山火跡地ニ最モ普通ニ生ズルモ、山火被害ヲ免レンシ殘株ヨリ發生セルモノモ多シ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；留目ノ澤；ケナシボロ ヌボロマツボロ。

*Viburnum Wrightii* Miq.

和名。 みやまがますみ。

産地。 山火後山腹、山背ニ稀ニ生ズ。

採集地。 八線西山。

### Asteraceae. キク科

*Aster Glehni* Fr. Schm.

和名。 ごまな。

産地。 山火後笹類少ナキ溪畔、低地林野ニモ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Anaphalis margaritacea* Benth. et Hook.

和名。 やまははこ。

(128)

産地。 山火跡地ナル山腹、山背及山崩附近等笹類ノ發生少ナキ所ニヨク發生ス。

採集地。 八線西山附近。

*Artemisia vulgaris* L. var. *kamtschatica* Bess.

和名。 えぞよもぎ。

産地。 山火後笹類少ナキ低地、殊ニ路邊ニヨク發生ス。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

*Cacalia kamtschatica* kudo

和名。 みみかうもり。

産地。 低地溪畔ノ樹蔭ニ生ジ、殊ニ砂金採掘跡地ニヨク生ズルモ、山火跡地ニハ稀ニシテ溪畔ニ於テ見ルノミナリ。

採集地。 八線ノ澤；二十線附近。

*Cacalia hastata* L. var. *pubescens* Ledeb.

和名。 おほよぶすまさう。

産地。 山火跡地ニ稀ナルモ、樹冠火ノアリシ低地又ハ溪畔ニ生ズ。

採集地。 八線ノ澤。

*Cirsium Albrechti* Kudo

和名。 えぞやまあざみ。

産地。 山火後山腹ニ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

*Cirsium Weyrichii* Maxim.

和名。 えぞあざみ。

産地。 山火後低地、山腹附近ニ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；一線ノ澤。

*Eupatorium sachalinense* Makino

和名。 よつばひよどりばな。

産地。 山火後ノ山腹、窪地附近ニ最モ多ク、殊ニ笹類ノ少ナキ數回ノ山火跡地ニ著シ。

採集地。 八線西山；一線ノ澤；ケナシボロ。

*Erigeron canadense* L.

和名。 ひめむかしよもぎ。

産地。 數回ノ山火跡地ノ裸出地ニ著シク發生ス。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Petasites japonicus* Miq. var. *giganteus* Makino

和名。 おほぶき。

産地。 山火後ノ低地又ハ山腹ノ窪地ニ生ジ、稀ニ數回ノ山火後ノ山背裸出地ニモ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

*Picris japonica* Thunb.

和名。 かうぞりな。

産地。 山火後各地ニ生ズルモ殊ニ陽地ニ於テ著シ。

採集地。 ケナシボロ；八線西山；八線ノ澤。

*Senecio palmatus* Pall.

和名。 はんごんさう。

産地。 山火後、低地、溪畔又ハ山腹ノ窪地ニ多ク生ジ、殊ニ肥沃ナル低地ニ於テ著シ。

採集地。 八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Senecio vulgaris* L.

和名。 のぼろぎく。

産地。 各地ニ生ズルモ、山腹、山背ノ笹類少ナキ焼跡地ニモ生ズ。

採集地。 八線西山。

*Sonchus asper* Hill

和名。 おにのげし。

産地。 數回ノ山火跡地ニ多ク殊ニ山背ノ笹類ナキ裸出地ニ生ズ。

採集地。 ケナシボロ；八線西山。

*Sonchus oleraceus* L.

和名。 のげし。

産地。 數回ノ山火跡地ニ生ジ、殊ニ裸出地ニ多ク生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ケナシボロ；一線ノ澤。

*Solidago Virgaurea* L.

和名。 あきのきりんさう。

産地。 山火跡地、各地ニ生ジ、山火後ノ山崩附近ニ殊ニ多ク生ズ。

採集地。 八線西山附近。

*Lactuca Raddeana* Maxim.

(130)

和名。 やまにがな。

産地。 山火後各地 = 生ジ、山腹ノ陰地 = モ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

*Taraxacum officinale* L.

和名。 せいやうたんぽぽ。

産地。 山火後各地 = 生ジ、山頂ノ笹類ナキ裸出地 = モ生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

## Monocotyledoneae 單子葉門

### Poaceae. イチゴツナギ科

*Calamagrostis Langsdorffii* Trin.

和名。 いはのがりやす。

産地。 一般 = 低濕溪畔等 = 多ク生ズルモ、山火後山腹窪地 = モ生ズ。

採集地。 留目ノ澤；一線ノ澤。

*Calamagrostis sachalinensis* Fr. Schm.

和名。 ひめのがりやす。

産地。 山火跡地 = 生ジ、山火後數年ノ急傾斜地 = 殊 = 多ク、又山崩附近 = 著シ。

採集地。 八線西山。

*Sasa paniculata* Makino et Shibata, var. *paniculata* Nakai

和名。 ねまがりだけ。(くまいざさ)。

産地。 山火後各地 = 生ジ最モ優勢ナリ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ヌボロマツボロ。

*Sasa kurilensis* Makino et Shibata, var. *cernua* Nakai

和名。 おくやまざさ、(ねまがり)。

産地。 山火後各地 = 密生ス。

採集地。 八線ノ澤；八線西山；ケナシボロ；ヌボロマツボロ。

*Sasa Tatewakiana* Makino

和名。 えぞみやまざさ。

産地。 山火跡地 = 生ズルコトアリ。

採集地。 東八線。

### Cyperaceae. カヤツリグサ科

*Carex dispalata* Boott

和名。 かさすげ。

産地。 擇伐後山火跡地ノ5—6年ノ低濕林地ニ生ズ。

採集地。 八線ノ澤。

*Carex sachalinensis* Fr. Schm.

和名。 ごんげんすげ。

産地。 山腹樹林ニ生ズルハ普通ナルモ山火後ニハ稀ニ生ズルノミ。

採集地。 八線ノ澤。

*Carex drymophylla* Turcz.

和名。 えぞかさすげ。

産地。 低濕地ニ生ジ、山火跡地ニ稀ナリ。

採集地。 八線ノ澤。

### Araceae. テンナンセウ科

*Lysichiton camtschatcense* Schott

和名。 みづばせう。

産地。 山火後生ズルコト極メテ稀ナルモ、樹冠火又ハ微弱ナル地表火ノ低濕地ニ生ゼルハソノ被害ヲ免レタルモノナラン。

採集地。 八線ノ澤。

### Liliaceae. ユリ科

*Clintonia udensis* Trautv. et Mey.

和名。 つばめおもと。

産地。 山火跡地ニ稀ナルモ、微弱ナル山火後、數年ノ樹蔭地ニ生ズルコトアリ。

採集地。 八線西山。

*Heloniopsis orientalis* Tanaka

和名。 せうぜうばかま。



(132)

産地。 山腹溪畔林野等 = 生ジ、山火跡地 = 稀ナリ。

採集地。 一線ノ澤。

*Lilium medeoloides* A. Gray

和名。 くるまゆり。

産地。 山火後、山腹又ハ低地ノ陽向地 = 生ズルモノノ數少ナシ。

採集地。 ヌボロマツボロ；東八線附近。

*Majanthemum dilatatum* Nels. et Macbr.

和名。 おほまひづるさう。

産地。 山火後5—6年ノ林地又ハ微弱ナル山火後ノ林野 = 生ズ。

採集地。 八線ノ澤；八線西山。

*Paris hexaphylla* Cham.

和名。 くるまばつくばねさう。

産地。 山火跡地 = 稀ナリ。樹冠火ノアリシ樹蔭 = 生ズルコトアリ。

採集地。 八線ノ澤。

## **Orchidaceae. ラン科**

*Epipactis papillosa* Fr. et Sav.

和名。 えぞすすらん。

産地。 山火後、山腹林野ノ笹類ノ間 = 介在シ生ズルモノノ數僅少ナリ。

採集地。 八線西山；二十線附近。

## **参 考 文 献**

- 1) Bowman, I. : Forest physiography. (1911)
- 2) Braun-Blanquet : Pflanzensoziologie. (1928)
- 3) Clements, F. E. : Plant physiology and Ecology. (1907)
- 4) Clements : Plant Succession. (1916)
- 5) Clements and Weaver : Experimental Vegetation. (1924)
- 6) Demmon, E. I. : Fires and Forest Growth, in American Forest and Forest Life, Vol. 35. No. 5. (1929)
- 7) Dengler, A. : Oekologie des Waldes. (1930)
- 8) Fretsch, F. E. : The Heath Association on Hindhead Common, 1910—1926. in Journal of Ecology, Vol. XV. No. 2. pp. 344—371. (1927)

- 9) Goto, Shuzo. : Untersuchungen über die natürliche Waldverjungung bei *Larix dahurica* Turcz. (1927)
- 10) 本多静六 : 日本森林植物帯論、造林學前編ノ三、(1916)
- 11) 本多静六 : 總論及森林分布ノ原因、造林學前編ノ一、(1916)
- 12) 本多静六 : 北海道天然林ノ更生状態ニ就テ、林學會雜誌、XI,—10. pp. 10—25. (1929)
- 13) 原田 泰 : 大雪山麓ノ森林帯ニ就テ、生態學的研究、北海道林業會報、XXIII,—3—4—5. (1925)
- 14) Johnstone, M. A. : Plant Ecology. (1928)
- 15) 河田 杰 : 森林生態學、(1927—1929)
- 16) 河田 杰 : 生態的ニ見タル我國ノ森林、林學會雜誌、X,—10. pp. 13—32. (1928)
- 17) 河田 杰 : 北海道ノ環境ト森林ノ取扱トニ就テ、北海道林業會報、n. 327. pp. 122—139. (1928)
- 18) Kudo, Y. : The Vegetation of Yezo, in Jap. Journ. Bot. II. pp. 209—292. (1925)
- 19) 工藤祐舜 : 訂正日本有用樹木分類學、(1930)
- 20) 鑄木徳二 : 森林立地學、(1928)
- 21) Ludwig : Pflanzengeographie, pp. 31—99. (1929)
- 22) Mc Dougall : Plant Ecology, pp. 154—161, pp. 240—269. (1927)
- 23) Markgraf, F. : Praktikum der Vegetationskunde, pp. 5—34. (1926)
- 24) Molisch, H. : Die Lebensdauer der Pflanzen. (1928)
- 25) 牧野富太郎、根本莞爾 : 日本植物總覽、(1925)
- 26) 森 爲三 : 朝鮮植物名彙、朝鮮總督府、(1922)
- 27) 三浦道哉 : 滿蒙植物目錄、(1925)
- 28) 宮部金吾、工藤祐舜 : 北海道主要樹木圖譜、(1920—1931)
- 29) 新島善直 : 原生林ニツイテ、北海道林業會報、n. 285. pp. 420—434. (1926)
- 30) 新島善直 : 新編森林保護學、上卷、pp. 43—68. (1928)
- 31) 新島善直 : 森林生態學ト造林トノ關係、造林學特別講義、(1931)
- 32) 中野治房 : 植物群落ト其遷移、(1930)
- 33) 中野信二 : 樽前山麓ノえぞまつ林ニ就テ、林學會雜誌、XI—6. pp. 16—40. (1929)
- 34) 中村賢太郎 : 天然林ノ本質ニ關スル考察、林學會雜誌、XI—7. pp. 1—12. (1929)
- 35) 農學會 : 土壤ノ分類及命名並ニ土性調査及作圖ニ關スル調査報告、(1926)
- 36) Perry, J. : Those "Harmless" Surface Fires, in American Forest and Forest Life, XXXII—393. (1926)
- 37) Rehder, A. : Manual of Cultivated Trees and Shrubs. (1927)
- 38) Rübél, E. : Pflanzen-Gesellschaften der Erde. (1930)
- 39) 白澤保美 : 日本森林樹木圖譜、(1911)
- 40) Schneider, C. K. : Handbuch der Laubholzkunde, Vol. I. (1906). Vol. II. (1912)
- 41) Tansley : Study of the Vegetation of the English Chalk. Early stages of Redevelopment of Woody Vegetation on Chalk Grassland, in Journal of Ecology, Vol. X. No. 1. pp. 168—177. (1922)
- 42) Tansley : Practical Plant Ecology. (1923)
- 43) Tansley and Chipp : Aims and Methods in Study of Vegetation. (1926)
- 44) Tkatschenko : Die Abäumung der Holzschläge, ihre Beziehung zur Naturverjungung und ihre Abhängigkeit von der Wald- und Standortverhältnissen, in Forstwissenschaftliches Centralblatt, Hft. 4. pp. 109—117;

- Heft 5. pp. 169—177. (1929)
- 45) 館脇 操：北大天鹽演習林内、はひまつノ下降地點ニ就テ、北海道林業會報、n. 300. pp. 748—752. (1927)
  - 46) 館脇 操：天鹽演習林植物目錄、北大演習林研究報告第五卷、(1928)
  - 47) 館脇 操：札幌近郊森林群落生態、林學會雜誌、XII.—11. pp. 13—22. ; XII.—12. pp. 23—31. (1930)
  - 48) 朝鮮總督府：金剛山植物調査書、(1918)
  - 49) 植村恒三郎：樺太及北海道ニ生育スルえぞまつ及とどまつノ天然更新ニ就テノ根本的考察、林學會雜誌、X.—6. pp. 1—21. (1928)
  - 50) 植村恒三郎：天然林ニ於ケル樹種ノ交代關係ト忌地ニ就テ、林學會雜誌、XII.—7. pp. 1—5. (1930)
  - 51) Watt, A. S. : On the Ecology of British Beechwoods with Special Reference to Their Regeneration, in Journal of Ecology, Vol. XIII. No. 1. pp. 27—73. (1925)
  - 52) Warming, E. : Oecology of Plants. (1909)
  - 53) 北大演習林：天鹽第二演習林概要、(1929)
  - 54) 天鹽第二演習林派出所：山火被害調査書、(1926—1929)

**The Plant Succession of the Forest after the Fires  
in the Teshio Second Experimental Forest**

By

**Misao Tatewaki and Kamesaburo Iwama**

R É S U M É

The present study on the plant succession of the forest after the fires in the Teshio Second Experimental Forest is based on the research made in 1929 and 1930. The locality under consideration is on the western side of the river Toikambetsu, a branch of the river Teshio, and situated between long.  $141^{\circ} 57'$  and  $142^{\circ} 10'$  E. and between lat.  $44^{\circ} 54'$  and  $45^{\circ} 6'$  N., and is 50—200 m. above the sea-level. This paper consists of four parts as follow : —

1. The general physiognomy of the forest vegetation along the river Toikambetsu and the record of the forest-fires.
2. The investigation of the plant communities after the forest-fires by the quadrat- and belt-system.
3. The distribution of characteristic plants growing in the secondary forest after the fires.
4. A list of the plants collected in the secondary forest.

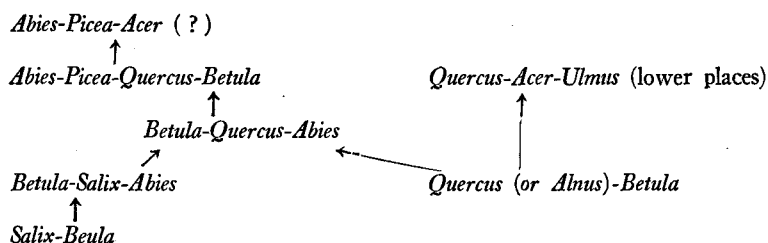
I. The forest along the river Toikambetsu is divided into six associations, namely : —

1. *Salix sachalinensis*-*Salix yezoensis*-Association. (along the river)
2. *Picea Glehni*-Consociation. (in the boggy place)
3. *Alnus japonica*-Consociation. (in the swampy place)
4. *Picea Glehni*-Consociation. (on the mountain side).
5. *Abies-Quercus-Ulmus*-Association. (along the valley).
6. *Abies-Quercus-Betula-Acer*-Association. (on the mountain side).

Among the above mentioned, the *Abies-Quercus-Betula-Acer*-Association and *Picea Glehni*-consociation (No. 4.) are the most important. The former seems to be the climax at present, developed mostly in the mountain region on the western side of the river Toikambetsu. On the other hand, the latter, stretched over the eastern side, is considered to be the edaphic climax caused by the weathering of the serpentine basis.

II. According to the stages of development in the secondary forest, 11 places were selected for the quadrat- und belt- system. As the results of the investigation, *Salix Bakko* and *Betula Ermani* (or *Betula*

*Tauschii*) are found to be codominant in the primary phase after the forest-fires. *Aralia elata* maintains suborbinate rank. Along the valley, *Quercus crispula*, *Alnus hirsuta* and *Betula Maximowiczii* are found mixed with them. *Phellodendron sachalinense* occurs locally in rich soils. *Sasa* is the exclusive dominant species of the under layer, but the growth of *Sasa* is sometimes suppressed by the repeated fires. *Epilobium angustifolium*, *Erigeron canadense*, etc. are usually met with. In addition to them, *Rubus Idaeus* occurs very abundantly where the vigorous growth of *Sasa* is not found. The following is a diagram of the developmental stages of the secondary forest after the fires on the western side along the river Toikambetsu :



III. 27 species are enumerated as the characteristic plants, and their distributions and habitats are described.

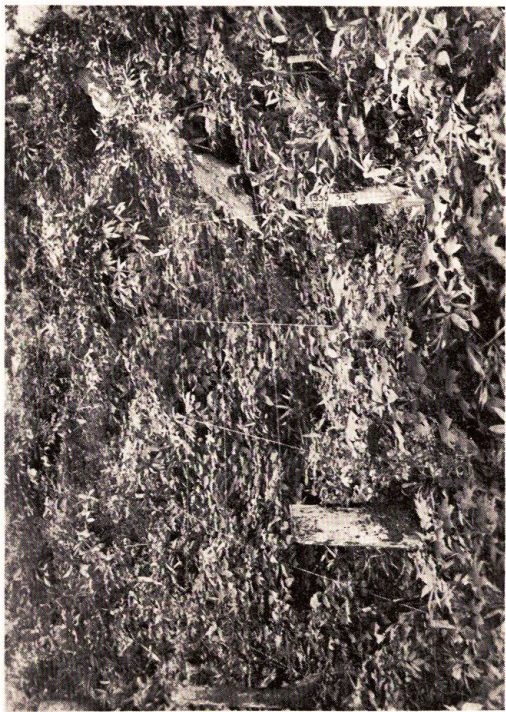
IV. The plants collected in the secondary forest are composed of 111 species belonging to 83 genera and 42 families.

## 圖 版 説 明

### 第 一 圖 版

1. 第十標準區劃地、二回山火跡地ノ植生状態。  
うだいかんば、せんのき、えぞいちご、ささ等混生ス。  
(1930年9月9日撮影)
2. 第十一標準區劃地、一回ノ微弱ナル山火後、斜面ニ於ケル更新状態。幼樹ニハななかまど、みつなら、しろざくら、とどまつ、えぞまつ等アリ。  
(1930年9月9日撮影)
3. 八線ノ澤流畔附近ニ於ケル樹林。みつなら、だげかんば、いたや、せんのき、しころ、やちだも、けやまはんのき、こしあぶら、とどまつ等ヨリ成ル。  
(1930年8月30日撮影)
4. 第四標準區劃地東南ノ植生状態。  
四回ノ山火跡地ニシテ種類比較的少ク、たらのき、えぞにはとこ、せんのき、やまうるし等生シ、よつばひよどりばな、はんごんさう、うど等混生ス。  
(1930年9月9日撮影)

第一圖版



1



2



3



4

## 第二圖版

5. 八線西山、山稜深出地附近ニ於ケル植生状態。  
四同ノ山火跡地ニシテ笹類少ク、やなぎらん、ひめむかしよもぎ、ふき等ヲヨク生ズ。  
(1930年9月9日撮影)
6. 留目ノ澤ニ於ケルいはのがりやす(中央)、おにしもつけ、おほいたどり等、及ながげやなぎノ残存木。  
(1930年9月9日撮影)
7. ケナシボロ、バツタノ澤上流、山腹附近(四同山火跡地)、えぞいちご群落中ニ於ケルほほのき、えぞにはとこノ自生状態。  
(1930年9月9日撮影)
8. ケナシボロ、バツタノ澤山腹附近(四同ノ燒跡地)ニ於ケルわらびノ群生。  
(1930年9月9日撮影)



第二圖版



5



6



7



8

### 第三圖版

9. 第四標準區劃地。向ツテ左斜面ハ四同山火被害地、右斜面ハみづなら、しなのき、とどまつ、いちね等ノ殘存木ヲ有スル一同山火跡地。

(1930年9月9日撮影)

10. 第六標準區劃地。微弱ナル一同山火跡地ニ於ケル優勢ナル下層群落笹ヲ示ス。殘存木ニハみづなら、とどまつ、だけかんば、べにいたや等アリ。

(1930年9月8日撮影)

11. 第八標準區劃地(一同山火跡地)トソノ附近ノ林相。  
(えぞまつ、とどまつ、みづなら等ヨリ成ル。)

(1930年9月8日撮影)

12. 第九標準區劃地。二同山火跡地ノ植生状態。うだいかんば、えぞいちご、やまぶどう等混生ス。

(1930年9月9日撮影)

第三圖版



9



10



11



12